Giving Shape to Ideas

bizhub 36

ユーザーズガイド　スキャン機能編



もくじ

1 はじめに

2 スキャン機能を使用する前に

3 操作パネル / 液晶画面

4 基本情報の登録

5 E-mail 送信する

6 ファイル送信する

11 スキャン機能で困ったとき

12 付録

13 索引

1 はじめに

1　はじめに

1.1　ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、本機の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

1.1.1　マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[すぐに使える操作ガイド]	すぐに本製品をご利用いただけるよう、使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー機能編]	コピーの機能や本機の設定について記載しています。 ・ 原稿、コピー用紙の仕様 ・ コピー機能 ・ 本機のメンテナンス ・ トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド プリンター機能編]	プリンター機能について記載しています。 ・ プリンター設定および操作 ・ プリンタートラブルの対処方法
[ユーザーズガイド スキャン機能編]	スキャン機能について記載しています。 ・ スキャン設定および操作 ・ スキャントラブルの対処方法
[ユーザーズガイド ファクス機能編]	ファクス機能について記載しています。 ・ ファクス設定および操作 ・ ファクストラブルの対処方法
[ユーザーズガイド 管理者機能編]	本機管理者が使用する機能や設定について記載しています。 ・ **操作パネル**での設定 ・ PageScope Web Connection での設定
[商標 / ライセンスについて]	商標およびライセンスについて記載しています。 ・ 商標、著作権について

1.1.2　ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機を初めてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、トラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。トラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービス実施店にご連絡ください。

1.2　ページの見かた

1.2.1　本文中の記号について

本書では、様々な情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告
- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意
- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要
本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

✔　このチェック記号は、手順の前提となる条件や機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

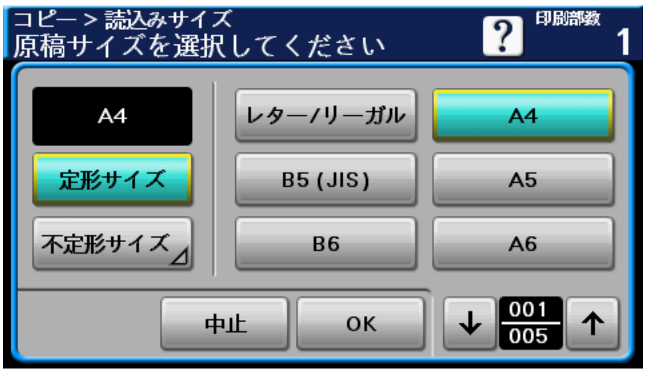
1　このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2　このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

➔　この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

➔　この記号は、目的のメニューにアクセスする**操作パネル**の遷移を表します。



目的の画面を表示しています。

参照
参照先を表しています。

必要に応じてごらんください。

キー記号について

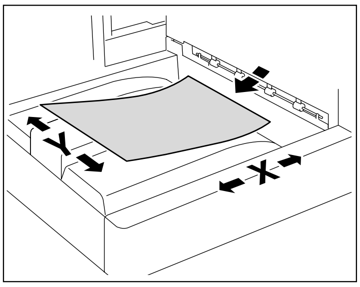
[ ]
タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。

文中の太字
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2　原稿と用紙の表示について

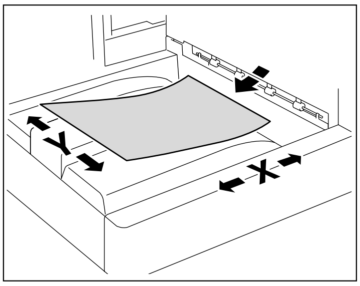
原稿と用紙の大きさ

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

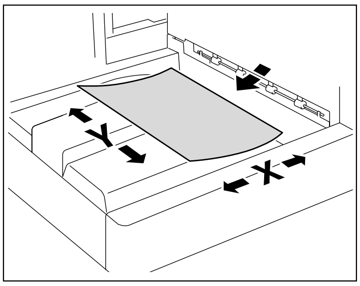


原稿と用紙の表示

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを と表示します。



幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを と表示します。



2 スキャン機能を使用する前に

2 スキャン機能を使用する前に

本機のスキャン機能を使用する前に知っておいていただきたいことを説明します。

2.1 知っておいていただきたいこと

⚠ 注意
- **電源スイッチ**を OFF/ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと正常に機能しないことがあります。

2.1.1 スキャン機能について

機能の種類

本機では、スキャンした画像をネットワークを通じて送信できます。また、ネットワーク上のコンピューターのアプリケーションを使用し、スキャンを行うことができます。このユーザーズガイドで紹介している機能は以下のとおりです。

機能	送信方法
ネットワークスキャン機能	· E-mail 送信 · FTP 送信 · SMB 送信 · WebDAV 送信 · Web サービス
ローカルスキャン機能	· USB メモリー保存 · HDD 保存
アプリケーションスキャン機能	· スキャナードライバー · Web サービス

ネットワークスキャン / アプリケーションスキャン機能使用時の注意

ネットワークスキャン機能およびアプリケーションスキャン機能を使用するためには、以下の環境が必要です。

- 本機がネットワークに接続されている<必須>

TCP/IP ネットワークの環境下で使用できます。はじめにネットワークに接続するためのケーブルを接続します。

詳しくは、4-2 ページをごらんください。また、ネットワーク上で使用するためには本機の IP アドレスなどの設定が必要です。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。

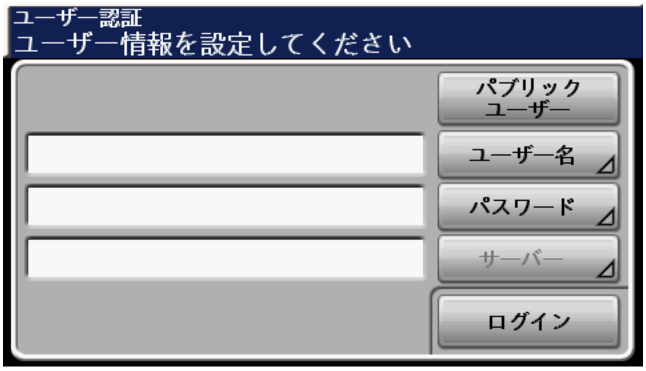
2.1.2　ユーザーの認証

本機の使用にあたって、部門名やユーザー名、パスワードを入力するよう設定されている機器があります。使用できる部門名やユーザー名は管理者に確認してください。

参考
- 誤ったパスワードを連続 3 回入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者におたずねください。
- オプションの**認証装置** AU-201 を使用して認証を行っている場合のログイン方法は、[ユーザーズガイド コピー機能編] をごらんください。

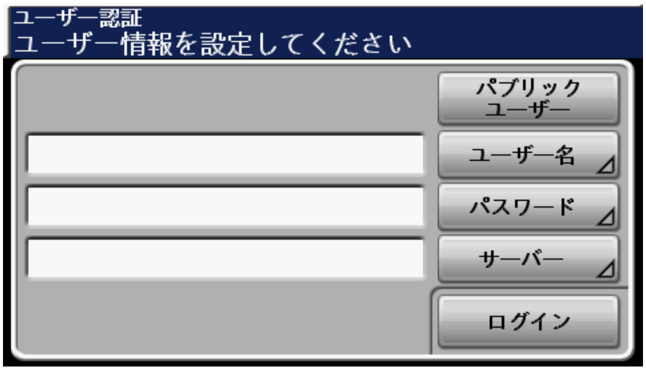
デバイス認証

ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] または ID を押します。



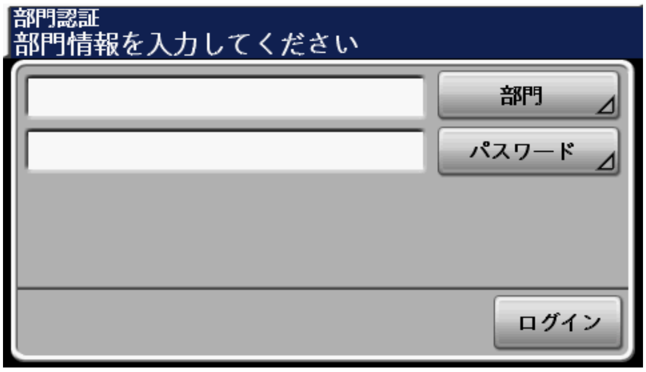
外部サーバー認証

ユーザー名、パスワード、サーバーを指定し、[ログイン] または ID を押します。



部門認証

部門とパスワードを入力し、[ログイン] または ID を押します。



2.1.3　ファイル名の制限

保存する文書のデータに名前をつけることができます。

参考

- 名称の長さは半角で 30 文字までです。
- 名称は保存したあとから変更することもできます。
- 名称は保存時に指定できますが、指定せずに保存したときはあらかじめ設定された名称が付けられます。

名称を指定しないで保存した場合、名称は以下の内容を組み合わせて付けられます。
「SMFP110511152300」を例に説明します。

項目	説明
S	保存したときのモードを表しています。 S：スキャン（E-mail 送信 / ファイル送信） F：ファクス P：プリンター
MFP	データを読込んだデバイス（機器）の名称です。［管理者設定］▸▸［管理者登録］▸▸［マシン登録］で、［装置名］に入力されている名称が表示されます。名称を変更する場合は、10 文字以内で設定します。
110511152300	読込みを行った年（西暦の下 2 桁）、月日、時間、分を続けて表示します。同じ時刻（分）に複数枚を読込んだ場合は、最後の 2 桁に連番が付きます。
_0001	複数ページのデータを読込んだとき、ページを表します。この数字はファイル名の画面では表示されませんが、送信時に、自動的にファイル名の一部として付けられます。FTP 送信時などにサーバーのファイル名受付の条件がある場合、この部分も考慮して名称を付けてください。
.TIF	指定したデータ形式の拡張子です。この文字はファイル名の画面では表示されませんが、送信時に自動的にファイル名の一部として付けられます。

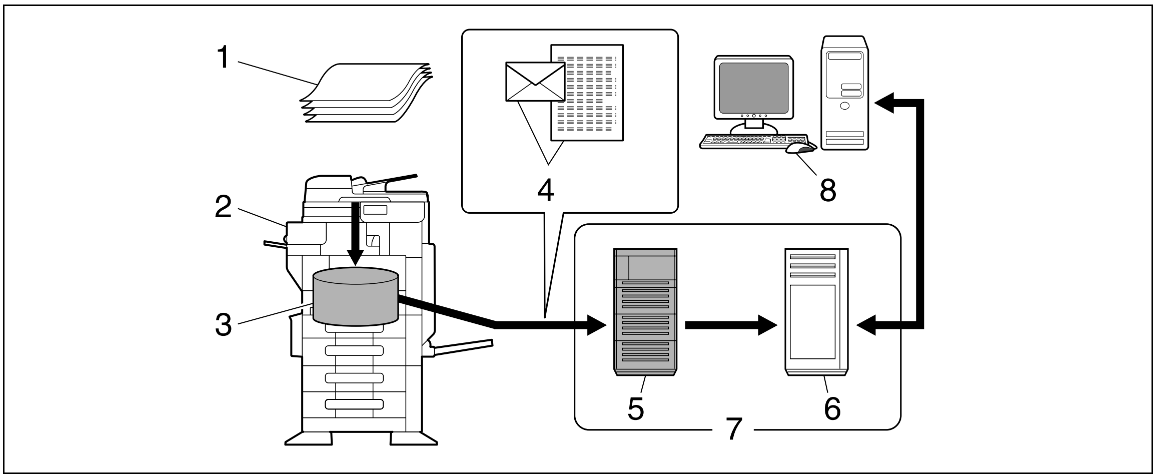
2.2 概要

2.2.1 ネットワークスキャン機能でできること

本機の ADF または**原稿ガラス**から原稿の画像を読取ることを「スキャンする」といいます。スキャン機能ではデータを一時的に本体内部のメモリーに保存することで、ネットワークを通じた送信が可能です。

E-mail 送信

スキャンしたデータを指定した電子メールアドレスに送信できます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。

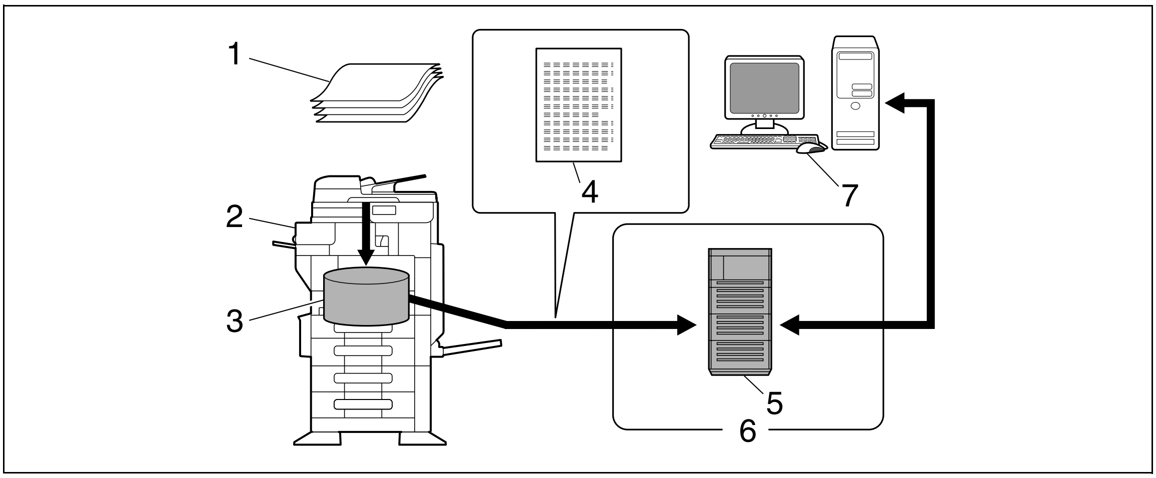


1. 原稿
2. 本体
3. メモリー
4. 電子メール + スキャンデータ
5. SMTP サーバー
6. POP サーバー
7. イントラネット / インターネット
8. メール受信

FTP 送信

スキャンしたデータを指定した FTP サーバーにアップロードします。本機のタッチパネルで FTP サーバーのアドレスやログインパスワードを入力します。

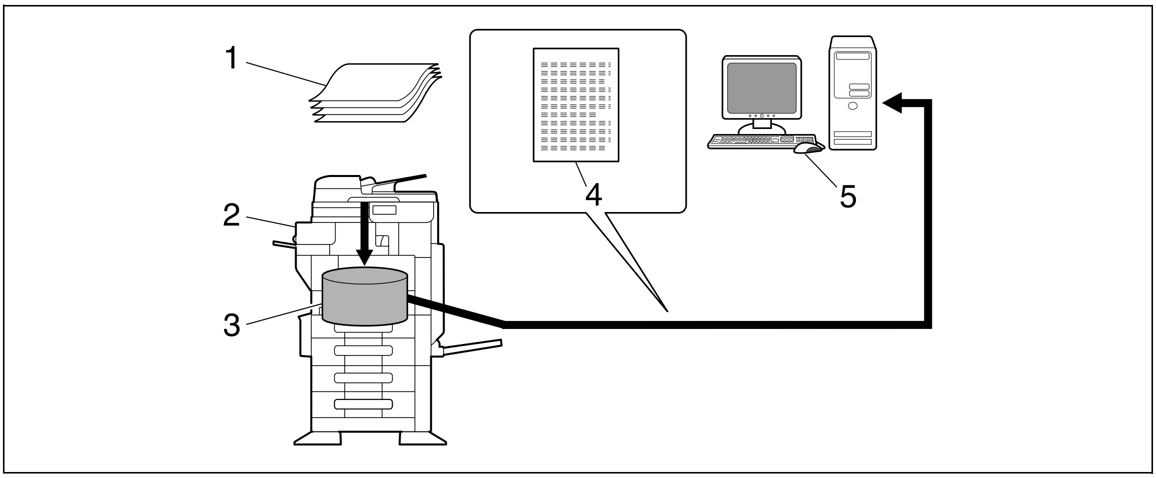
FTP サーバーにアップロードしたデータはネットワーク上のコンピューターからダウンロードできます。



1. 原稿
2. 本体
3. メモリー
4. スキャンデータ
5. FTP サーバー
6. イントラネット / インターネット
7. ダウンロード

SMB 送信

スキャンしたデータを指定したコンピューターの共有フォルダーに送信できます。本機のタッチパネルで対象となるホスト名やファイルパスなどを入力します。

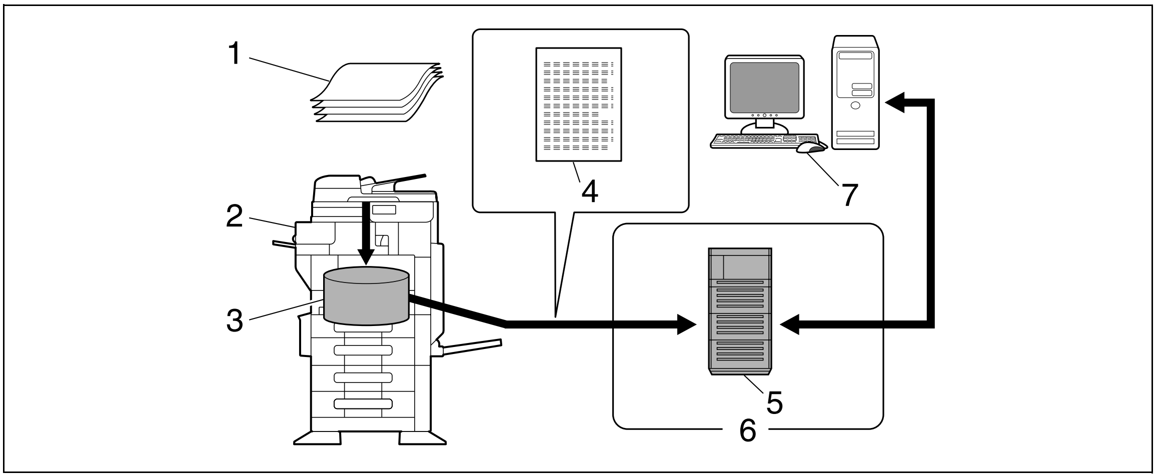


1. 原稿
2. 本体
3. メモリー
4. スキャンデータ
5. 共有フォルダーに保存

WebDAV 送信

スキャンしたデータを指定したサーバーにアップロードします。本機のタッチパネルでサーバーのアドレスやログインパスワードを入力します。

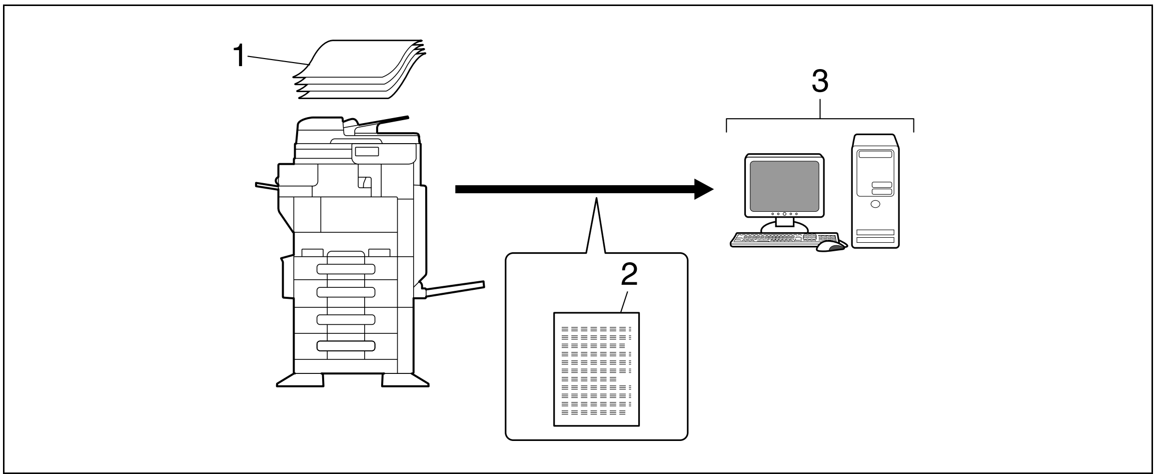
サーバーにアップロードしたデータはネットワーク上のコンピューターからダウンロードできます。



1. 原稿
2. 本体
3. メモリー
4. スキャンデータ
5. サーバー
6. イントラネット / インターネット
7. ダウンロード

Web サービス

ネットワーク上のコンピューター（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2）が本機を認識した状態でドライバーをインストールすると、本機から目的別にスキャンを行い、コンピューターに送信できます。

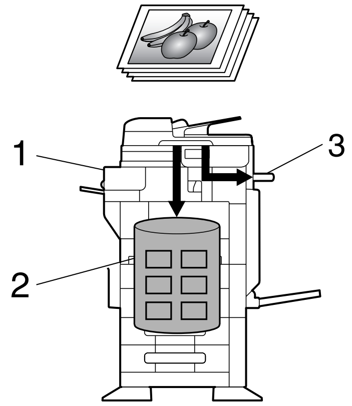


1. 原稿
2. スキャンデータ
3. コンピューター（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2）

2.2.2 ローカルスキャン機能でできること

USB メモリー保存、HDD 保存

スキャンしたデータを、本体内部の**ハードディスク**や外部メモリーに保存し、データの再利用ができます。
保存時に本機のタッチパネルでファイル名を入力できます。

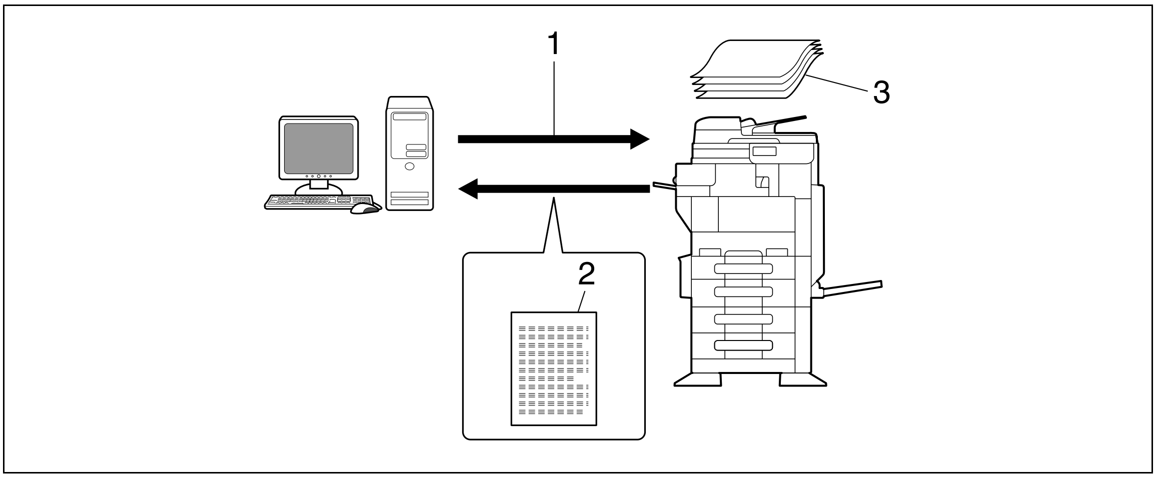


1. 本体
2. ハードディスク
3. 外部メモリー

2.2.3 アプリケーションスキャン機能でできること

スキャナードライバー

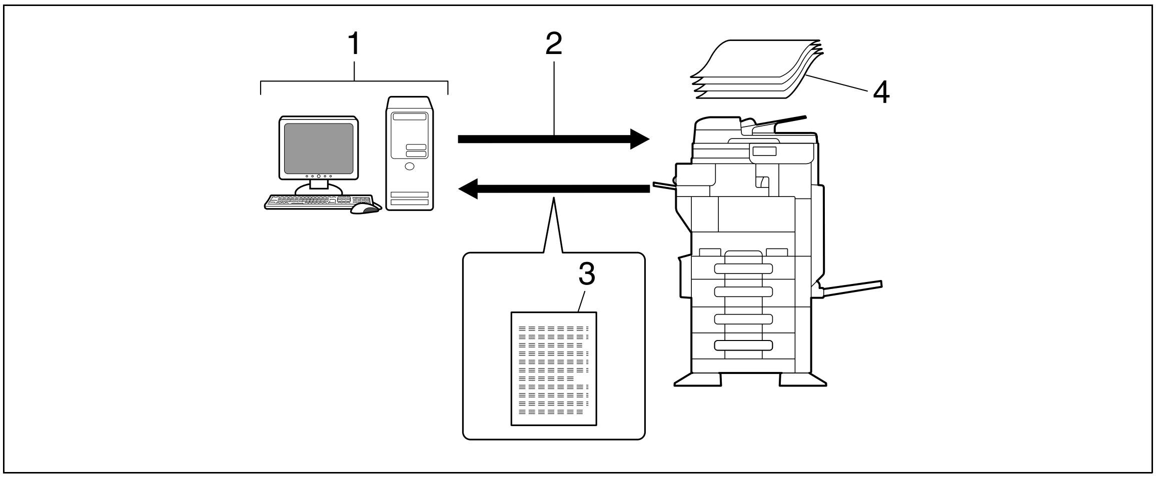
ネットワーク上のコンピューターにスキャナードライバーをインストールすると、コンピューターのアプリケーションを使ってスキャンを行うことができます。スキャンの設定および操作は、TWAIN または WIA 対応のアプリケーションで行います。



1. スキャンの指示
2. スキャンデータ
3. 原稿

Web サービス

ネットワーク上のコンピューター（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2）が本機を認識した状態でドライバーをインストールすると、コンピューターのアプリケーションを使ってスキャンを行うことができます。



1. コンピューター（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2）
2. スキャンの指示
3. スキャンデータ
4. 原稿

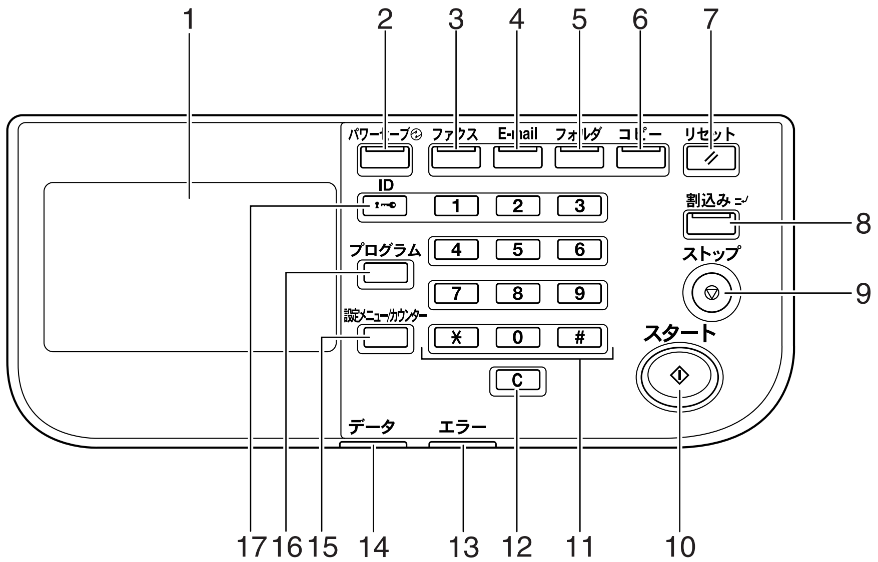
3 操作パネル / 液晶画面

3 操作パネル / 液晶画面

本機を操作するパネルと液晶画面（タッチパネル）のはたらきについて説明します。

3.1 操作パネル

操作パネルのキーについて説明します。



No.	名称	説明
1	**タッチパネル**	各設定画面やメッセージが表示されます。**タッチパネル**に直接タッチして各設定を行うことができます。
2	**パワーセーブ**	スリープモードに切換わります。スリープモード時はランプが緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。スリープモード時に**パワーセーブ**を押すと、スリープモードは解除されます。
3	**ファクス**	ファクス機能に切換わります。ファクス機能中は**ファクス**が緑色に点灯します。 FAX キット FK-509 が装着され、ファクス機能が有効な場合に使用します。 ファクス機能について詳しくは、［ユーザーズガイド ファクス機能編］をごらんください。
4	**E-mail**	E-mail 送信機能に切換わります。E-mail 送信機能中は **E-mail** が緑色に点灯します。
5	**フォルダ**	ファイル送信機能に切換わります。ファイル送信機能中は**フォルダ**が緑色に点灯します。
6	**コピー**	コピー機能に切換わります。コピー機能中は**コピー**が緑色に点灯します。 コピー機能について詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
7	**リセット**	**操作パネル**、または**タッチパネル**で入力した設定（登録した設定は除く）をリセットできます。
8	**割込み**	割込み機能に切換わります。割込み機能中は**割込み**が緑色に点灯します。割込み機能中に**割込み**を押すと割込み機能を解除できます。
9	**ストップ**	コピー、スキャン、印刷中に動作を一時停止できます。
10	**スタート**	コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始できます。

No.	名称	説明
11	**テンキー**	部数の設定ができます。倍率の入力ができます。各種の設定値の入力ができます。
12	C（クリア）	**テンキー**で入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）を取消すことができます。
13	**エラーランプ**	エラー発生時はオレンジ色に点滅します。サービス実施店への連絡が必要なエラー発生時は、オレンジ色に点灯します。
14	**データランプ**	印刷ジョブを受信中は、青色に点滅します。印刷ジョブが印刷待ち、および印刷中は、青色に点灯します。
15	**設定メニュー / カウンター**	［設定メニュー］画面に切換わります。 ［設定メニュー］画面では、［ユニバーサル設定］、［セールスカウンター］、［宛先登録］、［ユーザー設定］、［管理者設定］の各設定や確認ができます。
16	**プログラム**	目的のコピー / ファクス / スキャン機能の条件を登録（書込み）したり、登録した条件を呼出すことができます。
17	**ID**	ユーザー認証または部門認証を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門認証）を入力したあとに **ID** を押すと本機が使用できるようになります。 また、ログイン状態からログアウトし、認証画面に戻ります。

⚠ 注意

- タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

3.2 タッチパネル

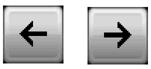
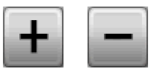
3.2.1 全体の画面構成

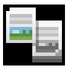
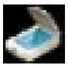


No.	名称	説明
1	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。このエリアで各種機能を設定します。キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切換わります。
2	アイコン表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンを表示します。
3	トナー残量表示	トナー残量を表示します。
4	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順などを表示します。

タッチパネルに表示されるアイコン

アイコン表示エリアには、本機の状態を示すアイコンが表示されることがあります。表示されるアイコンの種類は以下のとおりです。

アイコン	説明
	画面が複数ある場合、ページを切換えます。 [↑] と [↓] の間の数値は、画面の「現在のページ数 / 総ページ数」を示しています。
	複数のタブがある場合、タブの表示を切換えます。
	設定値を増減します。
	設定値を増減します。
	エラー発生時に表示されます。アイコンを押すと、エラー画面が表示されます。
	表示中の機能や設定のヘルプが表示されます。
	本機に登録されている宛先が表示されます。短縮宛先やグループ宛先を指定できます。

アイコン	説明
	コピー動作中に表示されます。
	原稿の読込み動作中に表示されます。
	印刷動作中に表示されます。
	ファクス（G3）回線の使用中に表示されます。
	タイマー送信機能により送信予約したジョブがあるときに表示されます。
	強制メモリー受信機能や PC-FAX 受信機能により本機の SSD に保存された文書があるときに表示されます。
	本機から送信しているときに表示されます。
	本機が受信しているときに表示されます。
	セキュリティー強化モードが設定されているときに表示されます。
	外部メモリーが接続されているときに表示されます。
	サービスエンジニアによって交換する部品が交換時期に達したときに表示されます。サービス実施店にご連絡ください。

3.2.2　ジョブ

ジョブ画面では、本機の実行中ジョブおよび実行済みジョブを一覧表示し、内容の確認を行うことができます。

✔ 1 つのジョブの実行中でも、別のジョブを登録できます。スキャンジョブは最大 30 件まで登録できます。
✔ 履歴画面を表示している場合は［実行中］を押すと、実行中のジョブ画面が表示されます。
✔ 実行中のジョブ画面を表示している場合は［履歴］を押すと、履歴画面が表示されます。
✔ ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［通信履歴非表示］が［する］に設定されている場合は、履歴は表示されません。

➔ ホーム画面で［ジョブ］を押します。



<［印刷］の実行中リスト>

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。

<［印刷］の履歴リスト>

印刷されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［結果］：ジョブの実行結果を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［詳細］	選択したジョブの番号、種別、ユーザー名、結果、ジョブ名、登録時間、完了時間、原稿枚数、印刷部数を確認できます。

<［送信］の実行中リスト>

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。

<［送信］の履歴リスト>

ファクスの送信またはスキャン送信されたジョブの履歴が表示されます。

ファクスの受信後に転送された場合にも、［送信］の履歴リストに表示されます。

［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［個人情報非表示］が［する］に設定されている場合は、［詳細］の宛先は表示されません。

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［結果］：ジョブの実行結果を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［詳細］	選択したジョブの番号、種別、ユーザー名、結果、宛先、登録時間、完了時間、原稿枚数を確認できます。

<［受信］の実行中リスト>

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。

<［受信］の履歴リスト>

ファクスを受信、転送されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［結果］：ジョブの実行結果を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［詳細］	選択したジョブの番号、種別、ユーザー名、結果、登録時間、完了時間、原稿枚数を確認できます。

＜［保存］の実行中リスト＞

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。

＜［保存］の履歴リスト＞

ハードディスクや USB メモリーへ保存されたジョブの履歴が表示されます。

ファクスを強制メモリー受信や PC-FAX 受信した場合も、［保存］の履歴リストに表示されます。

項目	説明
リスト項目	［番号］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［ユーザー名］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［結果］：ジョブの実行結果を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（3 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［詳細］	選択したジョブの番号、種別、ユーザー名、結果、ジョブ名、登録時間、完了時間、原稿枚数を確認できます。

4 基本情報の登録

4 基本情報の登録

スキャン機能を使用する前に必要な設定や登録について説明します。

4.1 はじめて使用する場合

初めて使用するときは、以下の登録が必要です。

4.1.1 必要な環境と設備

各種機能を使用するために必要な環境と設備は以下のとおりです。

機能	環境と設備
ネットワークスキャン機能	・ ネットワークケーブルの接続 ・ ネットワークの設定
アプリケーションスキャン機能	・ ネットワークケーブルの接続 ・ ネットワークの設定 ・ スキャナードライバーのインストール

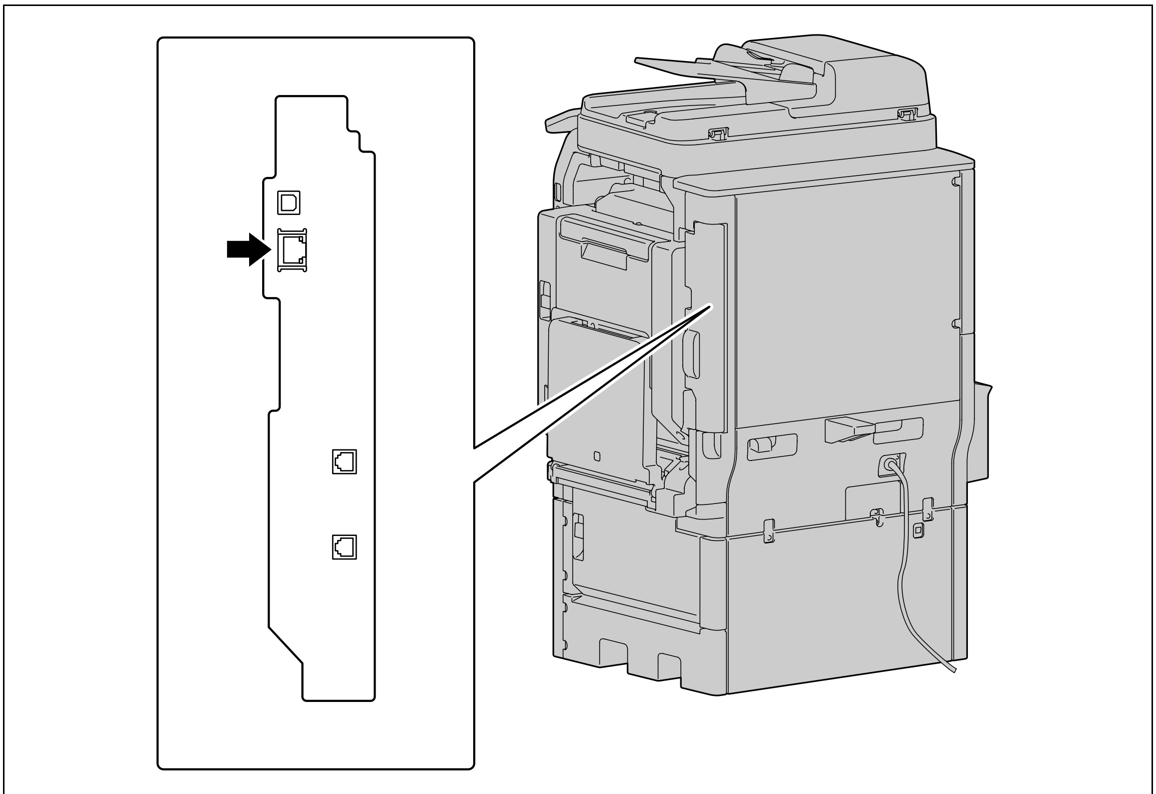
4.1.2 ネットワークケーブルの接続と設定

ネットワークスキャン機能、アプリケーションスキャン機能のようにイメージデータをネットワーク経由で送信する場合、ネットワークケーブルの接続と設定が必要です。

ネットワークケーブルの接続

本機の Ethernet コネクタに、ネットワークに接続された UTP ケーブル（カテゴリー 5 以上推奨）を接続します。

1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。



ネットワークの設定

IP アドレスの割り当てや SMTP サーバーの設定などが必要です。詳しい操作の手順は［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

本機の E-mail アドレスの設定

スキャンしたデータを E-mail 送信する場合は、本体に E-mail アドレスを登録する必要があります。この E-mail アドレスはデータを送受信するときに使用します。通常は管理者の E-mail アドレスを使用することをおすすめします。

マシン登録の E-mail アドレスが設定されていない場合は E-mail 送信ごとに From アドレスを入力する必要があります。アドレスの入力がないときは E-mail 送信はできません。

参考

- ユーザー認証を設定しているときは、ユーザーごとに設定した E-mail アドレスが From アドレスとなります。

参照

本機の E-mail アドレスの設定は、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

4.2　宛先登録

スキャンしたデータの送信先（宛先）を登録します。登録方法は以下の種類があります。

- 本機の**操作パネル**から設定する
- ネットワーク上のコンピューターから PageScope Web Connection を使う

参考

- ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［登録宛先変更］が［禁止］に設定されている場合は、**操作パネル**から登録することはできません。また、PageScope Web Connection のユーザーモードからも登録することはできません。

4.2.1　短縮宛先

短縮宛先には以下の種類があります。

- E-mail
- FTP
- SMB
- WebDAV
- Fax
- I-Fax

参考

- 短縮宛先は、最大 2000 件の宛先を登録できます。
- E-mail、SMB は、本機の**操作パネル**から登録する方法と PageScope Web Connection から登録する方法があります。短縮宛先の登録方法は、9-2 ページ、10-13 ページをごらんください。
- FTP、WebDAV は、PageScope Web Connection でのみ登録できます。短縮宛先の登録方法は、10-13 ページをごらんください。
- Web サービスでは短縮宛先は登録できません。［ファイル送信］▸▸［直接入力］タブ ▸▸［Web サービス設定］を選択して表示される宛先を指定してください。

4.2.2　グループ宛先

短縮宛先を組み合わせてグループ宛先として登録できます。複数の宛先に同時に送信するときなどに便利です。

参考

- グループ宛先は、100 グループ（1 グループに短縮宛先を最大 500 件）を登録できます。
- グループ宛先の登録は PageScope Web Connection で行います。グループ宛先の登録方法は、10-16 ページをごらんください。
- スキャン宛先とファクス宛先の組み合わせで登録することはできません。

4.2.3　プログラム宛先

送信先や読込みの設定などをまとめてひとつのプログラムとして設定します。いつも同じ条件でスキャン、送信する場合などに便利です。

参考

- プログラム宛先は最大 400 件登録することができます。
- プログラム宛先の登録は、本機の**操作パネル**から登録する方法と PageScope Web Connection から登録する方法があります。プログラム宛先の登録方法は、9-4 ページ、10-17 ページをごらんください。

4.3 TWAIN または WIA 対応のアプリケーションソフトを使用する場合

ネットワーク上のコンピューターから TWAIN または WIA 対応のアプリケーションソフトを使用し、スキャンを行います。ここでは、コンピューター側で事前に必要となる設定について説明します。

4.3.1 TWAIN または WIA 対応のアプリケーションソフトを使用するために必要な設定

TWAIN または WIA 対応のアプリケーションソフトを使用するために必要な設定は以下のとおりです。

- コンピューターにスキャナードライバーをインストールする
- 本機の IP アドレスを設定する

参照

ネットワーク接続の場合は、本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておく必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。

4.3.2 インストーラーの動作環境

TWAIN

< Windows >

OS	Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008(32 bit) Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2(64 bit)
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリーリソースが十分であること。

参考

- TWAIN ドライバーを 64 bit OS へインストールする場合、32bit 互換モードで動作し、32bit 対応アプリケーションでのみ使用可となります。

< Macintosh >

OS	Mac OS X(10.3.9、10.4、10.5、10.6、10.7)
CPU	PowerPC、Intel プロセッサー(Intel プロセッサーは、Mac OS X 10.4/10.5/10.6/10.7 のみ)
メモリー	OS が推奨するメモリー容量

WIA

< Windows >

OS	Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008(32 bit) Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2(64 bit)
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリーリソースが十分であること。

4.3.3 スキャナードライバーのインストール

Windows のインストール

✔ スキャナードライバーをインストールするときは、管理者権限が必要です。
✔ スキャナードライバーのインストールはネットワーク接続でのみ行えます。
✔ スキャナードライバーをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

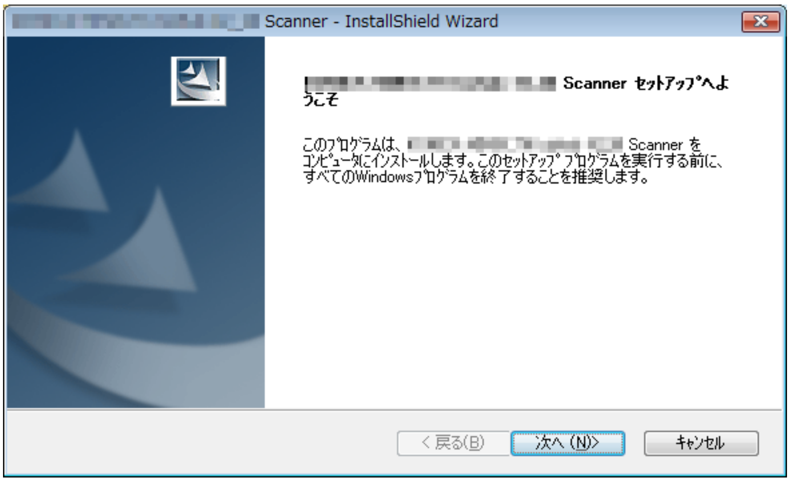
1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

→ インストールプログラムが起動するのを確認します。
→ インストールプログラムが起動しない場合は、CD-ROM 内の［AutoRun.exe］をダブルクリックします。
→ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合、［ユーザーアカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［許可］または［続行］をクリックします。
→ 言語が表示されているボックスでインストールプログラムの表示言語を変更できます。

2 ［スキャナー］をクリックします。

スキャナードライバーのインストーラーが起動します。

3 ［次へ］をクリックします。

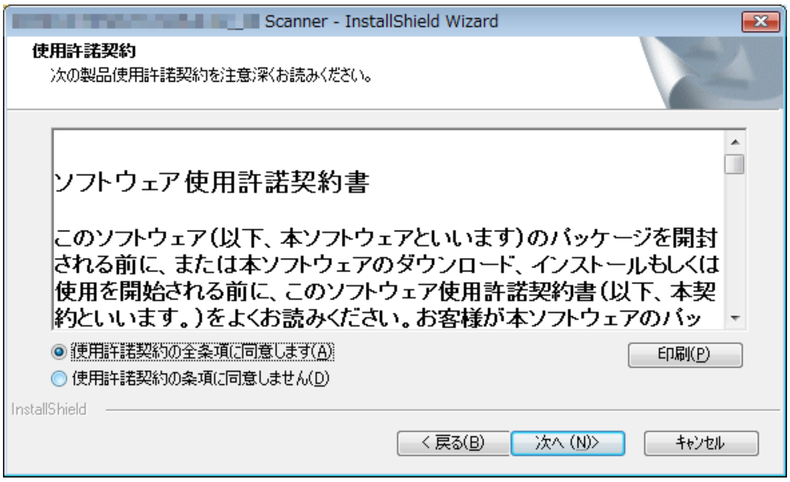


4 ［ソフトウェア使用許諾契約書］画面が表示されますので、［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択して［次へ］をクリックします。

➔ 同意していただけない場合は、インストールできません。

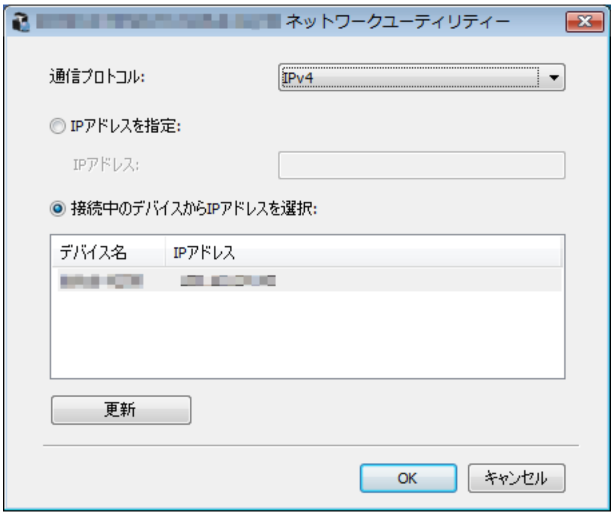
➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバーソフトウェアをインストールします］をクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 で［Windows ロゴテスト］、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

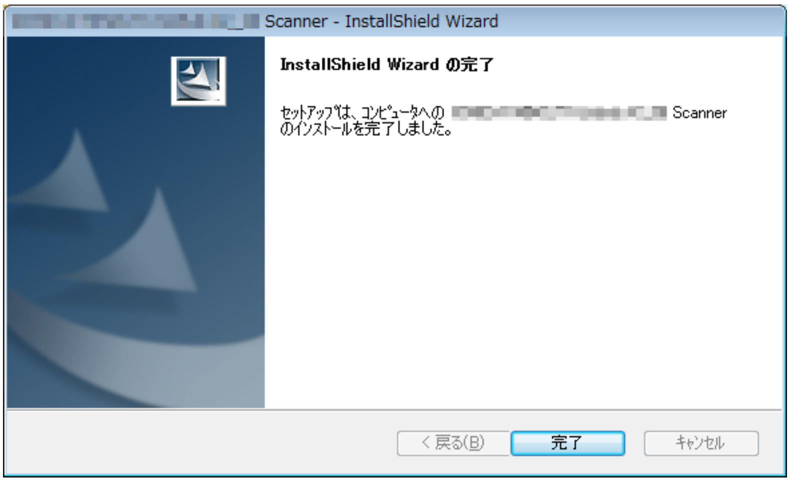


5 ［接続中のデバイスから IP アドレスを選択］リストから本機を選択して、［OK］をクリックします。

➔ 本機がリストに検出されない場合は、［更新］をクリックしてください。または、［IP アドレスを指定］をチェックし、［IP アドレス］ボックスに本機の IP アドレスを入力してください。



6 インストールが完了しました。［完了］をクリックするとインストーラーが終了します。



7 ［終了］をクリックして、インストールプログラムを終了します。

8 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、スキャナードライバーのインストールが完了しました。

Macintosh のインストール

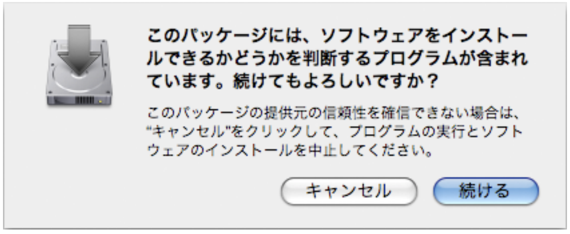
✔ スキャナードライバーをインストールするときは、管理者権限が必要です。
✔ スキャナードライバーのインストールはネットワーク接続でのみ行えます。
✔ スキャナードライバーをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、[Drivers] フォルダー ►► [Mac] フォルダー ►► [Scanner] フォルダー内の [KONICA MINOLTA bizhub 42_36 Scanner.pkg] をダブルクリックします。

スキャナードライバーのインストーラーが起動します。

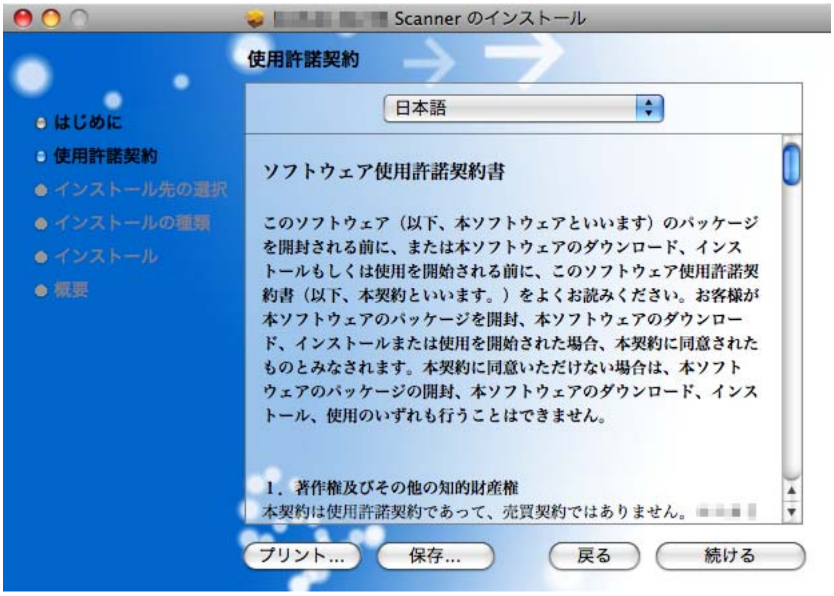
3 [続ける] をクリックします。



4 [続ける] をクリックします。

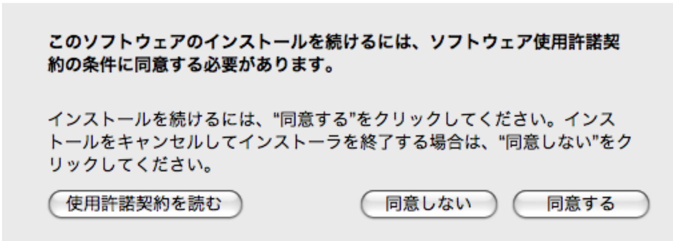


5　使用許諾契約画面で内容を確認し、［続ける］をクリックします。



6　同意する場合は、確認画面で［同意する］をクリックします。

➔ 同意していただけない場合は、インストールできません。



7　インストール先の選択画面で内容を確認し、［続ける］をクリックします。

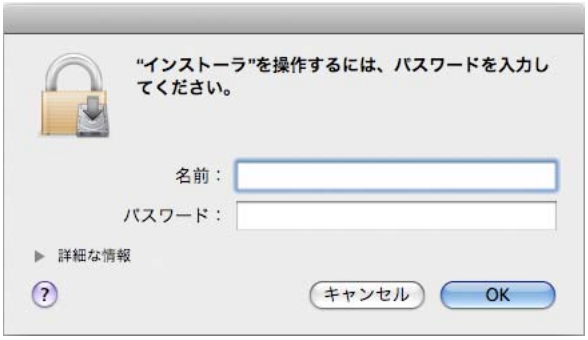


8　標準インストール画面または簡易インストール画面で［インストール］をクリックします。



9　認証画面で、管理者の名前とパスワードをダイアログボックスに入力し、［OK］をクリックします。

→ OS X 10.7 の場合は、認証画面で、管理者の名前とパスワードをダイアログボックスに入力し、［ソフトウェアをインストール］をクリックします。



10　インストールが完了しました。［閉じる］をクリックするとインストーラーが終了します。



11　Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、スキャナードライバーのインストールが完了しました。

4.3.4 スキャナードライバーのアンインストール

Windows のアンインストール（インストーラーによるアンインストール）

スキャナードライバーをインストーラーでインストールした場合は、インストーラーでも削除できます。

1 Drivers CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- ➔ インストールプログラムが起動するのを確認します。
- ➔ インストールプログラムが起動しない場合は、CD-ROM 内の［AutoRun.exe］をダブルクリックします。
- ➔ Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合、［ユーザーアカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［許可］または［続行］をクリックします。
- ➔ 言語が表示されているボックスでインストールプログラムの表示言語を変更できます。

2 ［スキャナー］をクリックします。
スキャナードライバーのインストーラーが起動します。

3 セットアップの内容を選択する画面で［削除］を選択して［次へ］をクリックします。

4 削除確認画面で［はい］をクリックします。
- ➔ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

5 再起動する画面が表示されたら［完了］をクリックし、再起動します。

6 Drivers CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、スキャナードライバーのアンインストールが完了しました。

Windows のアンインストール（アンインストールプログラムによるアンインストール）

スキャナードライバーをインストーラーでインストールした場合は、スキャナードライバーの削除機能が組み込まれています。

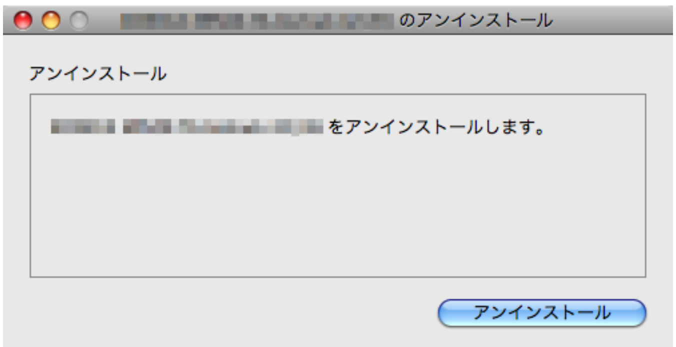
1 ［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）▸▸［KONICA MINOLTA］▸▸［bizhub 42_36］▸▸［スキャナー］▸▸［アンインストール］をクリックします。
- ➔ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

2 再起動する画面が表示されたら［完了］をクリックし、再起動します。

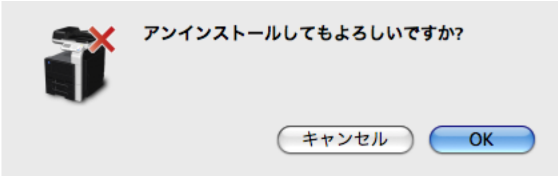
Macintosh のアンインストール

1 ハードディスクから［ライブラリ］フォルダー ▸▸［Applications Support］フォルダー ▸▸［KONICA MINOLTA］▸▸［bizhub 42_36］フォルダー内の［KONICA MINOLTA bizhub 42_36 Uninstaller.app］をダブルクリックします。

2 ［アンインストール］をクリックします。



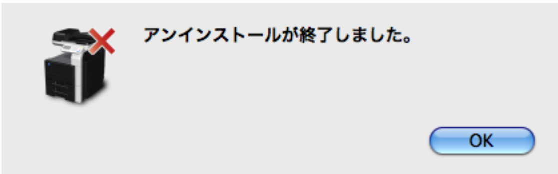
3　［OK］をクリックします。



4　認証画面で、管理者の名前とパスワードをダイアログボックスに入力し、［OK］をクリックします。



5　［OK］をクリックします。



4.4 Web サービスを使用する場合

ネットワーク上のコンピューター（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2）からスキャンの指示をしたり、本機から目的別にスキャンを行い、コンピューターに送信できます。ここでは、コンピューター側で事前に必要となる設定について説明します。

4.4.1 Web サービスを使用するために必要な設定

Web サービスを使用するために必要な設定は以下のとおりです。

- コンピューターに本機をインストールする
- 本機で Web サービスを行うための設定をする

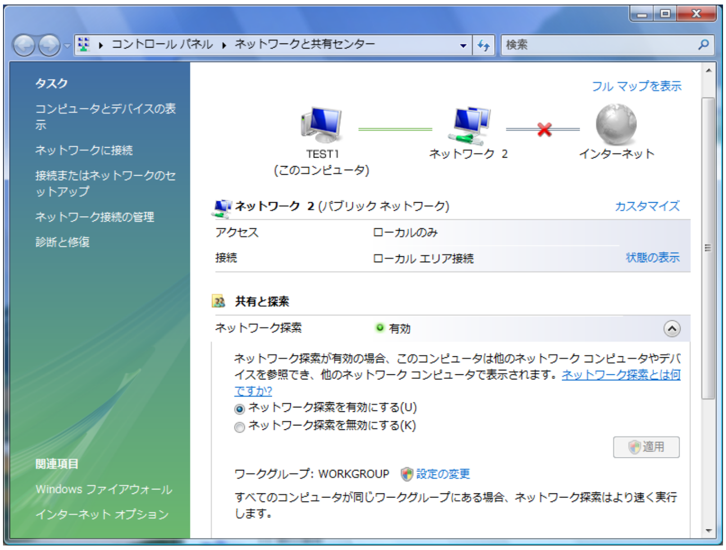
参考

- 本機での Web サービスの設定は、管理者設定で行います。詳しくは［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

4.4.2 コンピューターに本機をインストールする

インストール前の確認

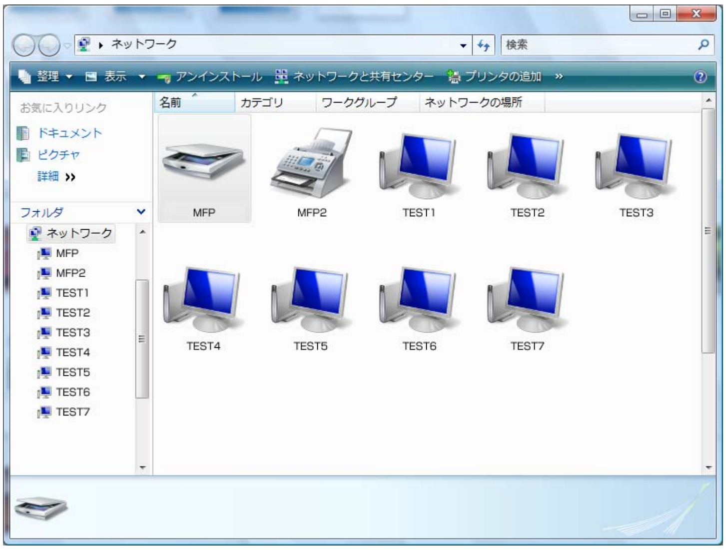
インストールの前に、［コントロールパネル］▸▸［ネットワークと共有センター］で、［ネットワーク探索］が有効に設定されていることを確認してください。



インストールの手順

1　［スタート］から［ネットワーク］を選択します。

ネットワークに接続されている機器が表示されます。



2　本機のスキャナーアイコンを右クリックし、［インストール］を選択します。

➔ コンピューター側の設定によっては、UAC（User Account Control）画面が表示されることがあります。内容を確認し、続行してください。

➔ 本機で Web サービスのスキャン機能とプリント機能の両方が有効に設定されている場合、本機はプリンターアイコンで表示されます。

➔ ドライバーソフトウェアが自動的にインストールされます。確認画面が表示されたら［閉じる］をクリックします。

3　本機の**操作パネル**で、［ファイル送信］▸▸［直接入力］タブ ▸▸［Web サービス設定］を選択し、接続先が表示されていることを確認します。

5 E-mail 送信する

5　E-mail 送信する

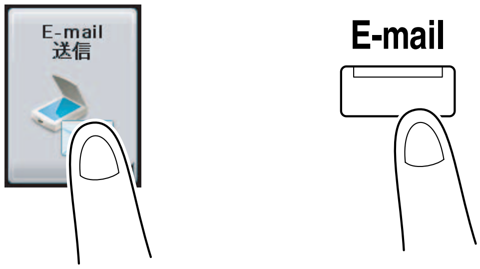
スキャンしたデータを E-mail 送信する方法と設定できる機能について説明しています。

5.1　操作の流れ

5.1.1　E-mail 送信

E-mail 送信機能を使う場合の手順の流れを説明します。

ホーム画面の［E-mail 送信］または**操作パネル**の
E-mail を押す



↓

宛先を指定する

登録宛先から（p. 5-12）



直接入力から（p. 5-10）



送信履歴から（p. 5-11）

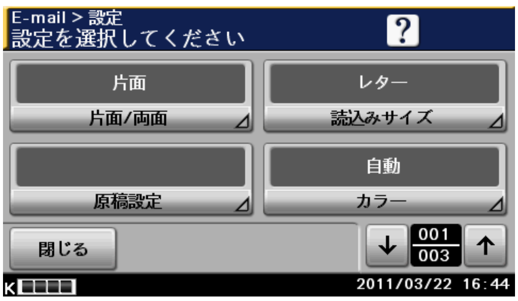


LDAP 検索から（p. 5-12）



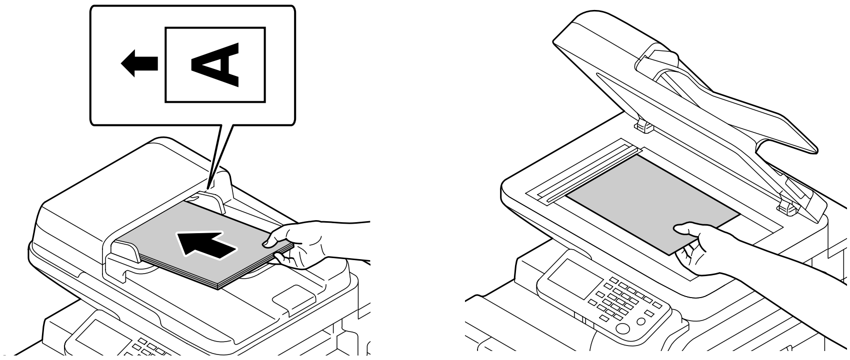
↓

設定（p. 5-15）を行う



↓

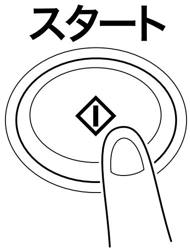
原稿をセットする



・ 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す



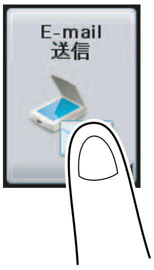
参考

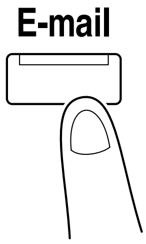
- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、5-15 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、**スタート**を押します。送信を中止する場合は、［中止］を押します。

5.1.2 プログラム宛先の呼び出し

プログラム宛先を使う場合の手順の流れを説明します。

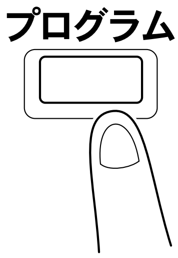
ホーム画面の［E-mail 送信］または
操作パネルの **E-mail** を押す





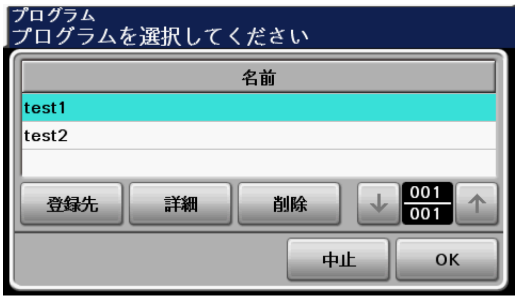
↓

プログラムを押す



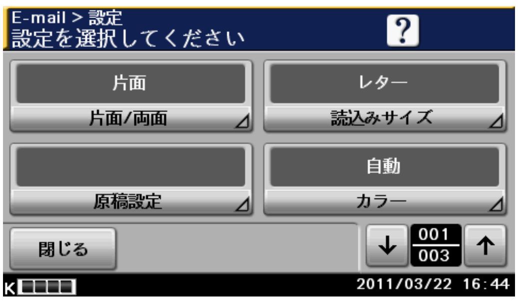
↓

プログラム宛先を選択し、［OK］を押す



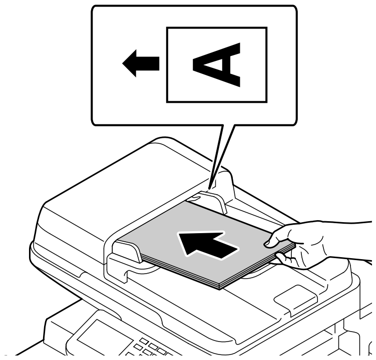
↓

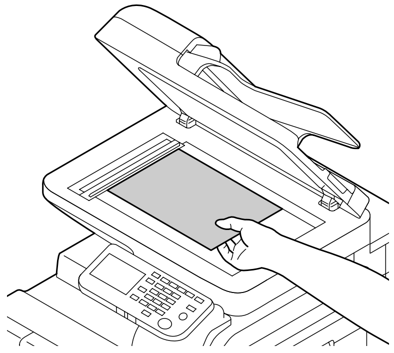
設定（p. 5-15）を行う



↓

原稿をセットする

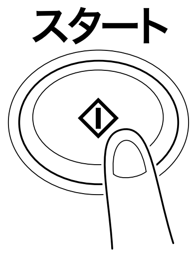




- 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す



参考

- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、5-15 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、**スタート**を押します。送信を中止する場合は、［中止］を押します。

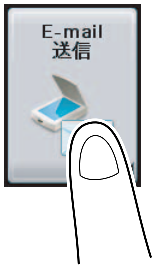
参照

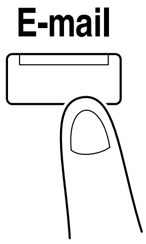
プログラム宛先登録の内容と手順は 9-4 ページ、10-17 ページをごらんください。

5.1.3 同報送信

同時に複数の宛先に E-mail 送信する場合の手順の流れを説明します。

ホーム画面の［E-mail 送信］または**操作パネル**の**E-mail** を押す





↓

宛先を複数件指定する

登録宛先から（p. 5-12）　直接入力から（p. 5-10）　送信履歴から（p. 5-11）　LDAP 検索から（p. 5-12）



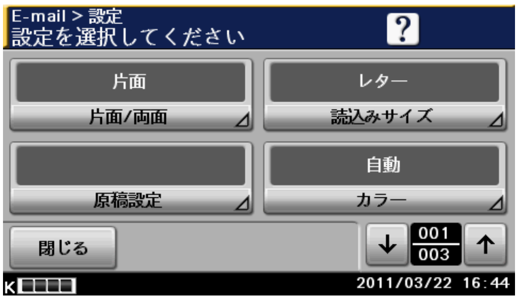






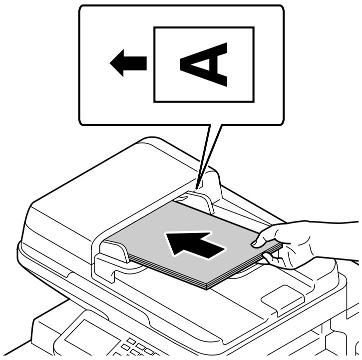
↓

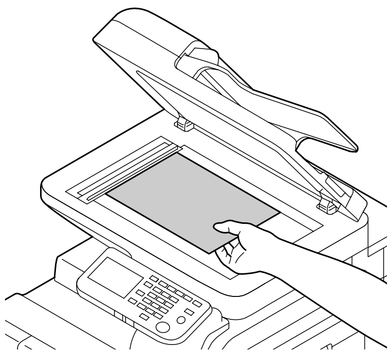
設定（p. 5-15）を行う



↓

原稿をセットする

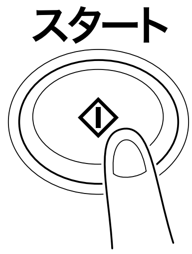




- 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す



参考

- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、5-15 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、**スタート**を押します。送信を中止する場合は、［中止］を押します。

5.2 E-mail 送信画面

5.2.1 画面構成の説明

ホーム画面の［E-mail 送信］または**操作パネル**の **E-mail** を押すと、以下の画面が表示されます。



No.	項目	説明	参照先
1	常用	常用（よく使用する宛先）に設定されている宛先から送信先を選択します。	p. 5-9
2	直接入力	登録されていない宛先を直接入力して指定します。	p. 5-10
3	履歴	送信履歴から送信先を選択します。	p. 5-11
4	アドレス帳	あらかじめ登録された宛先から送信先を選択します。	p. 5-12
5	ホーム	ホーム画面に戻ります。	
6	設定	E-mail 送信に関する設定を行います。	p. 5-15
7	設定内容	指定した宛先と E-mail 送信設定の内容を確認します。	p. 5-25

5.3 常用

常用に設定されている宛先を選択できます。



5.4　　直接入力

登録されていない送信先を直接入力することで指定できます。



参考

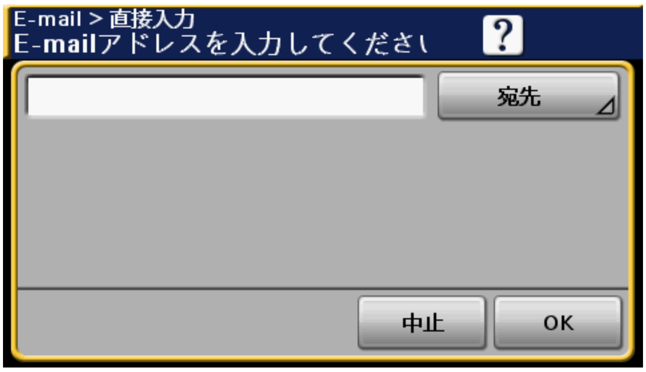
- ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［手動宛先入力］が［禁止］に設定されている場合は、直接入力して指定することはできません。

参照

手動宛先入力については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

5.4.1　　E-mail

E-mail アドレスを入力します。（半角 320 文字以内）



5.5 履歴

過去に送信した宛先から、最新の 5 件が表示されています。この履歴から宛先を選択できます。



参考
- 直接入力して指定した宛先のみ履歴に残ります。
- 同報送信ジョブは履歴に表示されません。
- 本機の**電源スイッチ**を OFF にすると、履歴は消去されます。
- ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［通信履歴非表示］が［する］に設定されている場合は、履歴から指定することはできません。

参照
通信履歴非表示については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

5.6 アドレス帳

登録されている宛先を選択できます。



参考

- ［かな］を押すと、検索文字タブを「かな」表示に切換えることができます。
- ［グループ］を押すと、登録されているグループ宛先が表示されます。

参照

短縮宛先の登録については、9-2 ページ、10-13 ページをごらんください。

グループ宛先の登録については、10-16 ページをごらんください。

5.6.1 LDAP



参考

- 検索した宛先を短縮宛先に追加する場合は、宛先を選択して［保存］を押します。
- 表示されている宛先の情報を確認したい場合は、宛先を選択して［詳細］を押します。
- LDAP 検索して指定するには、PageScope Web Connection から LDAP サーバーを登録する必要があります。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

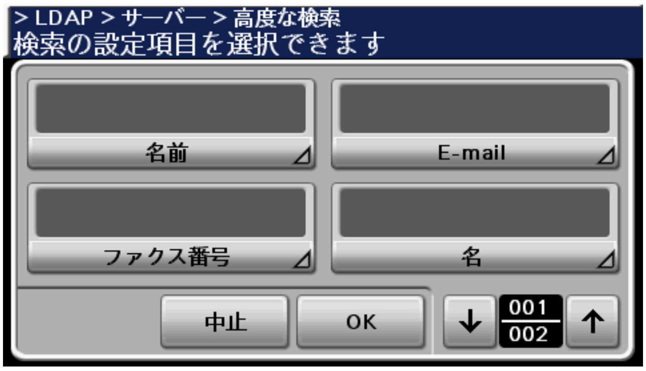
検索

検索するキーワードを入力し、[OK] を押すと、指定した LDAP サーバー内で該当するアドレスが検索されます。



高度な検索

複数の検索条件を設定し、目的のアドレスを検索します。



項目	説明
[名前]	名前を入力します。
[E-mail]	E-mail アドレスを入力します。
[ファクス番号]	ファクス番号を入力します。
[名]	名を入力します。
[姓]	姓を入力します。
[都市名]	都市名を入力します。
[会社名]	会社名を入力します。
[組織名]	組織名を入力します。
[含む] / [同じ] / [始まる] / [終わる]	入力した検索条件の設定を含む / 同じ / 始まる / 終わるから選択できます。

5.6.2 検索

送信したい宛先を検索することができます。登録宛先を検索するには、以下の方法があります。

種別

宛先登録時に設定した宛先種類別に検索できます。



名前

宛先の名前を入力して検索します。名前を入力して［OK］を押すと、検索結果の一覧が表示されます。



5.7 設定

［設定］を押すと、スキャン時の詳しい内容を設定できます。

5.7.1 片面 / 両面

ADF を使用する場合、原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするか選択します。



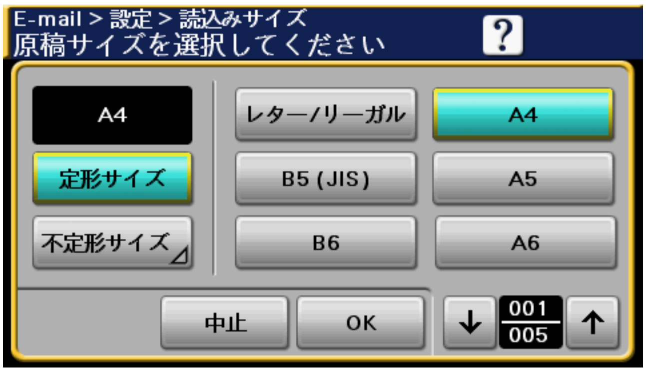
項目	説明
［片面］	原稿の片面をスキャンします。
［両面］	原稿の両面をスキャンします。
［表紙 + 両面］	原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンします。

5.7.2 読込みサイズ

スキャンする用紙サイズを設定します。

［定形サイズ］

A4、B5（JIS）など決まったサイズでスキャンする場合はサイズを選択します。



[不定形サイズ]

規格サイズにはない不定形サイズの寸法を入力して設定します。

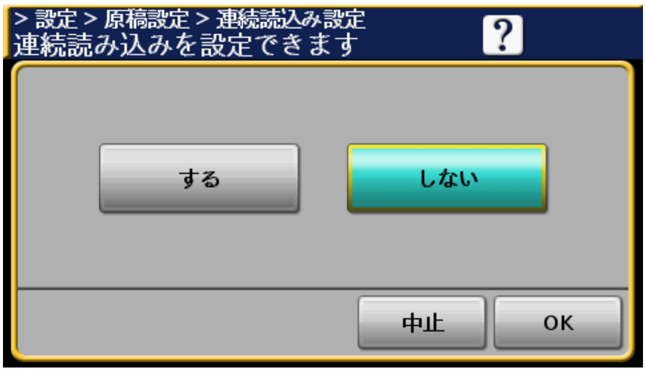
- X 方向：30.0 ～ 356.0 mm の範囲で設定します。
- Y 方向：30.0 ～ 216.0 mm の範囲で設定します。



5.7.3 原稿設定

連続読込み設定

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合や、**原稿ガラス**上にセットする場合、片面原稿や両面原稿が混在している場合など読込みを数回に分割することができます。



原稿セット方向

原稿の上下の位置を選択します。スキャンしたあとに上下が正しくなるよう、データを処理します。



項目	説明
[上]	原稿の上辺を上向きにセットします。
[下]	原稿の上辺を下向きにセットします。
[左]	原稿の上辺を左向きにセットします。
[右]	原稿の上辺を右向きにセットします。

原稿とじしろ

原稿についているパンチ穴あけやステープルどめなどのとじしろの位置を指定します。また、両面原稿をスキャンするとき、とじしろの位置が逆にならないよう補正します。



項目	説明
[左とじ]	原稿の左側にとじしろがある場合に設定します。
[上とじ]	原稿の上側にとじしろがある場合に設定します。
[自動]	297 mm 以下のサイズは長辺をとじる、297 mm を超えるサイズは短辺をとじる、と判断します。

5.7.4 カラー

カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを設定します。



項目	説明
[自動]	原稿の色を自動的に判別し、原稿に合わせてスキャンします。
[フルカラー]	フルカラーでスキャンします。
[グレースケール]	白黒写真などのハーフトーンが多いときに選択します。
[白黒 2 値]	線画など、白黒の境がはっきりしているときに選択します。

カラーは［ファイル形式］の設定によって指定できない場合があります。［ファイル形式］と［カラー］の設定の組み合わせは以下のとおりです。

	[自動]	[フルカラー]	[グレースケール]	[白黒 2 値]
[PDF]	○	○	○	○
[コンパクト PDF]	○	○	○	−
[TIFF]	○	○	○	○
[JPEG]	○	○	○	−
[XPS]	○	○	○	○

5.7.5 原稿画質

原稿の内容に合わせて選択します。選択できる画質は以下のとおりです。



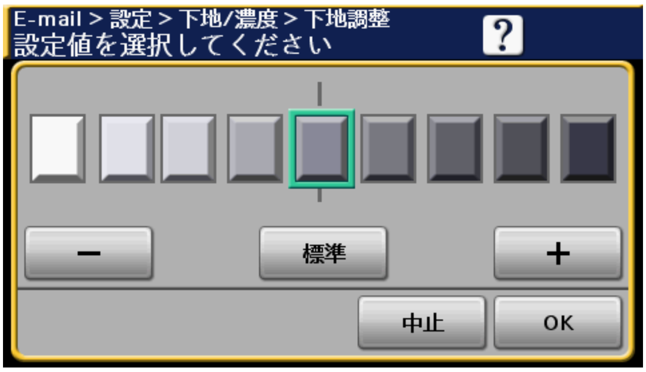
項目	説明
[文字]	文字だけで構成されている原稿です。
[文字 / 写真]	文字と写真（ハーフトーン）が混ざっている原稿です。
[写真]	写真（ハーフトーン）だけの原稿です。

5.7.6 下地 / 濃度

下地調整

スキャン時に原稿の下地の濃さを調整します。

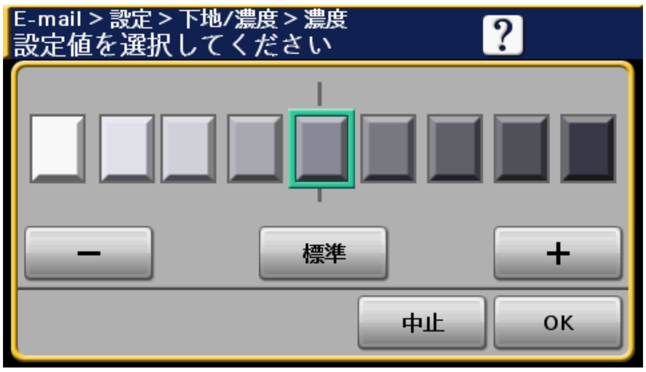
- 下地の濃さを調整するときは［－］または［＋］を押します。
- ［標準］を押すと設定が初期値に戻ります。



濃度

スキャン時の濃さを調整します。

- 濃さを調整するときは［－］または［＋］を押します。
- ［標準］を押すと設定が初期値に戻ります。



シャープネス

スキャン時に、文字などの境界をくっきりさせることができます。



5.7.7 解像度

スキャンする解像度を選択します。



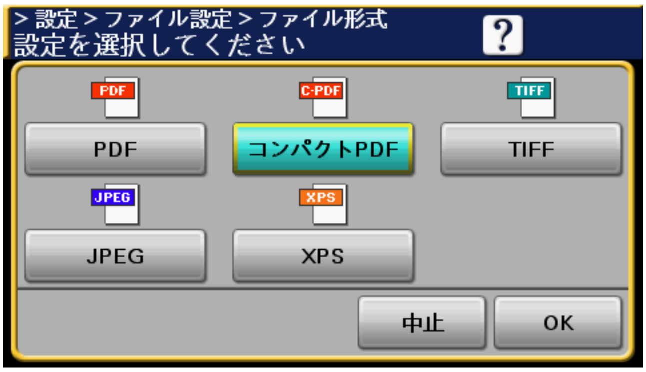
参考

- ［ファイル形式］が［コンパクト PDF］の場合、［300 × 300 dpi］に設定されます。

5.7.8 ファイル設定

ファイル形式

スキャンしたデータを保存するファイル形式を選択します。



選択できるファイル形式は以下のとおりです。

項目	説明
［PDF］	PDF 形式で保存します。
［コンパクト PDF］	PDF 形式よりも圧縮したデータで保存します。
［TIFF］	TIFF 形式で保存します。
［JPEG］	JPEG 形式で保存します。
［XPS］	XPS 形式で保存します。

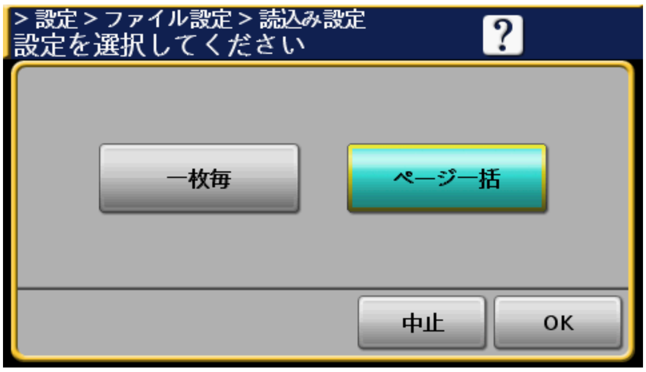
保存するファイル形式によって［カラー］の設定が［自動］に変更される場合があります。［ファイル形式］と［カラー］の設定の組み合わせは以下のとおりです。

	［自動］	［フルカラー］	［グレースケール］	［白黒 2 値］
［PDF］	○	○	○	○
［コンパクト PDF］	○	○	○	−
［TIFF］	○	○	○	○
［JPEG］	○	○	○	−
［XPS］	○	○	○	○

参考
- ［JPEG］を選択した場合、［読込み設定］は［一枚毎］が自動的に選択されます。
- ［コンパクト PDF］を選択した場合、［解像度］は［300 × 300 dpi］に設定されます。
- ［PDF］または［コンパクト PDF］を選択した場合、［PDF 暗号化設定］を設定できます。詳しくは、5-21 ページをごらんください。

読込み設定

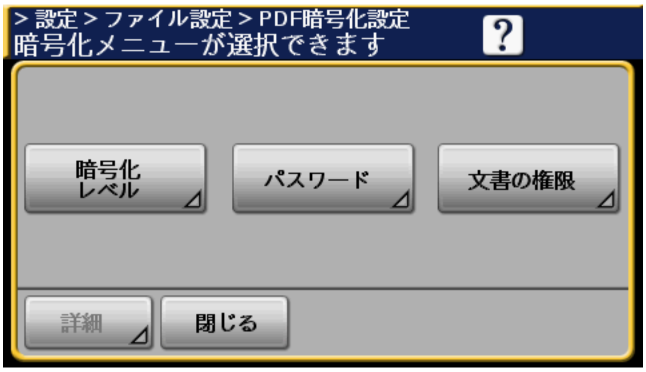
複数ページをスキャンして送信するときのデータのまとめかたを指定できます。



項目	説明
［一枚毎］	1 ページごとに分割してファイルを作成します。
［ページ一括］	スキャンした全ての原稿をまとめてひとつのファイルを作成します。ファイル形式で［JPEG］と同時に選択できません。

PDF 暗号化設定

ファイル形式で［PDF］または［コンパクト PDF］を選択したときは暗号化のレベルを設定できます。



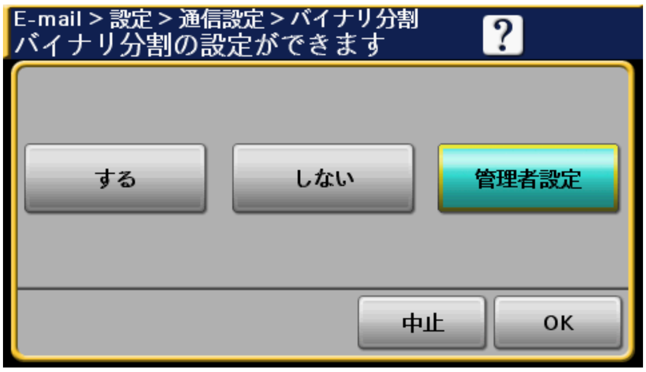
項目		説明
［暗号化レベル］	［はい］	暗号化を有効にします。設定後、［低］、［中］、［高］でレベルを設定します。
	［いいえ］	暗号化を設定しません。
［パスワード］		暗号化されたデータを開くときに必要なパスワードを入力します（入力範囲：半角 32 文字以内）。
［文書の権限］		文書の権限を変更するために必要なパスワードを入力します（入力範囲：半角 32 文字以内）。

項目		説明
［詳細］	［暗号化レベル］で［はい］が選択され、［文書の権限］でパスワードが設定されている場合に表示します。	
	［印刷許可レベル］	データの印刷の許可 / 禁止を選択します。暗号化レベルを［中］または［高］に設定した場合は、［低解像度のみ許可］が表示されます。
	［変更許可レベル］	データの署名、入力、注釈などの文書変更に関する許可 / 禁止と、許可する場合の許可レベルを設定します。 ［暗号化レベル］が［低］の場合は、レベル 2、3、5 が表示されます。［暗号化レベル］が［中］または［高］の場合は、レベル 1、2、3、4 が表示されます。 ［レベル 1］：ページの挿入 / 削除 / 回転 ［レベル 2］：注釈の作成、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドに署名 ［レベル 3］：ページの抽出を除くすべての操作 ［レベル 4］：フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドに署名 ［レベル 5］：ページレイアウト、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールド署名
	［文書と画像抽出］	文書中の文字や画像のコピーの許可 / 禁止を選択します。

5.7.9 通信設定

バイナリ分割

送信するデータを分割するかしないか設定します。

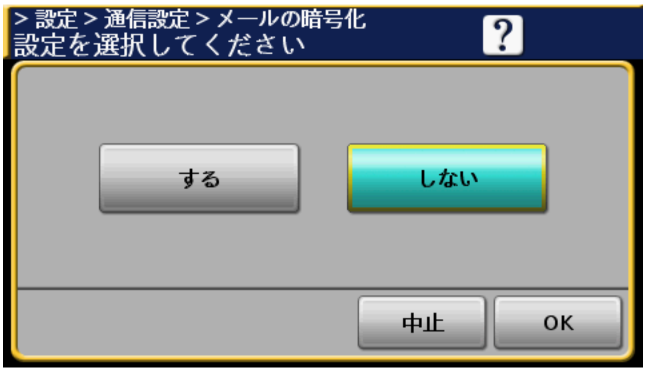


参考

- ［管理者設定］を選択した場合は、［管理者設定］▸▸［イーサネット］▸▸［バイナリ分割］による設定が優先されます。

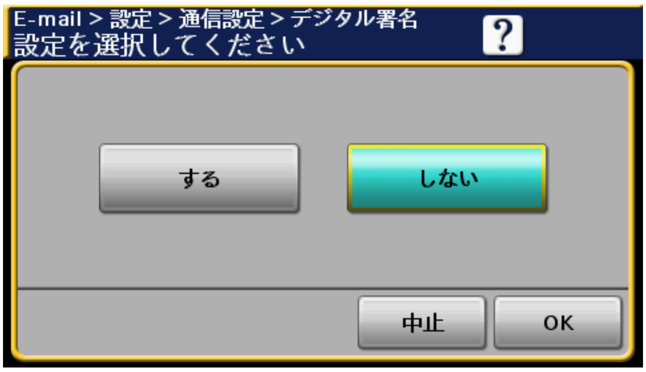
メールの暗号化

送信する E-mail の暗号化を行うかどうかを設定します。



デジタル署名

送信する E-mail にデジタル署名を付加するかどうかを設定します。



参考

- S/MIME 通信設定の内容によって、選択できない場合や常に署名するように設定されている場合があります。

参照

S/MIME 通信設定については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。

E-mail

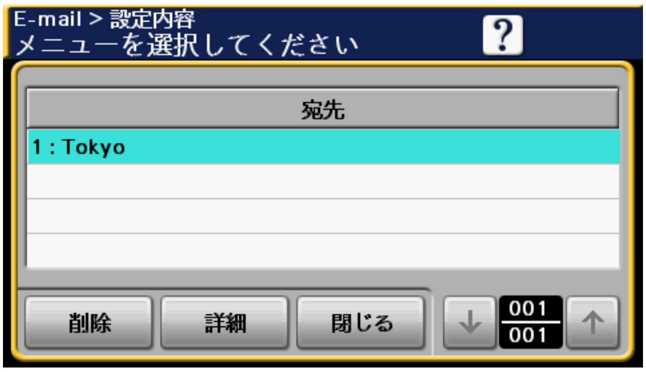
E-mail 送信時のファイル名、件名、From、本文を設定します。



項目	説明	
[ファイル名]	初期表示	保存されるファイルの名称が表示されます。
	設定	[ファイル名] を押すと内容を変更できます。入力できるのは半角 30 文字までです。
[件名]	初期表示	PageScope Web Connection の [宛先] ▶▶ [題名] ▶▶ [題名一覧] でデフォルト E-mail 設定されている場合は、設定されている題名が表示されます。 PageScope Web Connection の [宛先] ▶▶ [題名] ▶▶ [題名一覧] でデフォルト E-mail 設定されていない場合は、「Message from (装置名)」が表示されます。
	設定	[件名] を押すと、件名リストが表示されます。 いちばん上の項目を選択して、[直接入力] を押すと内容が変更できます。入力できるのは半角 64 文字までです。 2 行目以降は PageScope Web Connection の [宛先] ▶▶ [題名] ▶▶ [題名一覧] で登録された件名が表示されます。
[From]	初期表示	[管理者設定] ▶▶ [管理者登録] ▶▶ [マシン登録] ▶▶ [アドレス] が設定されている場合は、設定された E-mail アドレスが表示されます。 ユーザー認証を行っている場合は、ユーザー登録されている E-mail アドレスが表示されます。 どちらも E-mail アドレスが設定されていない場合は、空白となります。
	設定	[From] を押すと、発信アドレスを変更できます。 [管理者アドレス]、[ユーザー宛先] から選択するか、直接入力します。入力できるのは半角 320 文字までです。 [管理者アドレス]:[管理者設定] ▶▶ [管理者登録] ▶▶ [管理者登録] ▶▶ [E-mail アドレス] で E-mail アドレスが登録されている場合は選択できます。 [ユーザー宛先]:ユーザー認証を行っている場合は、選択できます。
[本文]	初期表示	PageScope Web Connection の [宛先] ▶▶ [本文] ▶▶ [本文一覧] でデフォルト E-mail 設定されている場合は、設定されている本文が表示されます。 PageScope Web Connection の [宛先] ▶▶ [本文] ▶▶ [本文一覧] でデフォルト E-mail 設定されていない場合は、空白となります。
	設定	[本文] を押すと、本文リストが表示されます。 いちばん上の項目を選択して、[直接入力] を押すと内容が変更できます。入力できるのは半角 256 文字までです。 2 行目以降は PageScope Web Connection の [宛先] ▶▶ [本文] ▶▶ [本文一覧] で登録された本文が表示されます。 [詳細] を押すと、本文の内容を確認できます。

5.8 設定内容

E-mail 送信画面で［設定内容］を押すと、指定した宛先と E-mail 送信設定内容の確認ができます。
宛先を削除する場合は、削除したい宛先を選択して［削除］を押します。



6 ファイル送信する

6 ファイル送信する

スキャンしたデータをファイル送信する方法と設定できる機能について説明しています。

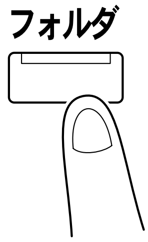
6.1 操作の流れ

6.1.1 ファイル送信

ファイル送信機能を使う場合の手順の流れを説明します。

ホーム画面の［ファイル送信］または**操作パネル**の**フォルダ**を押す





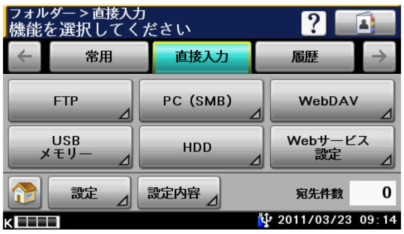
↓

宛先を指定する

登録宛先から（p. 6-16）



直接入力から（p. 6-10）

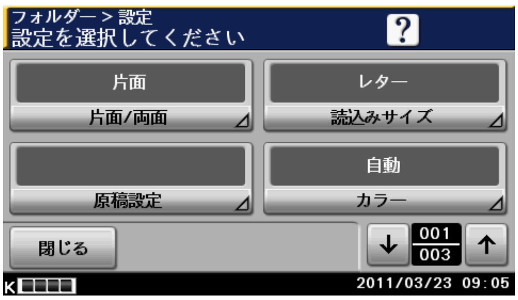


送信履歴から（p. 6-15）



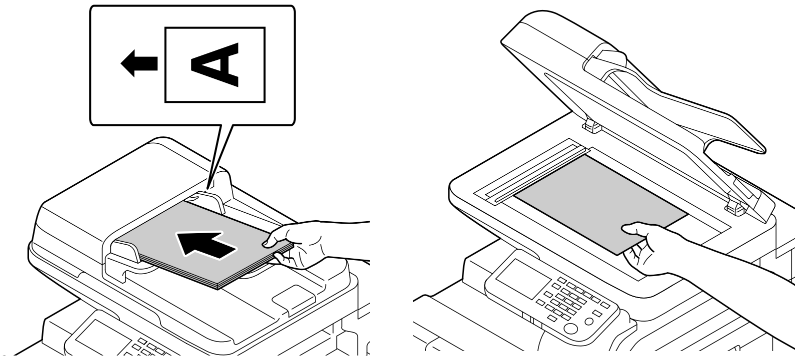
↓

設定（p. 6-17）を行う



↓

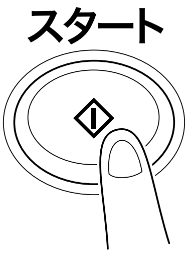
原稿をセットする



・ 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す



参考

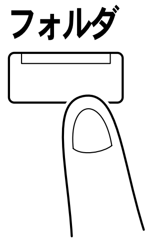
- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、6-17 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、**スタート**を押します。送信を中止する場合は、[中止] を押します。

6.1.2 プログラム宛先の呼び出し

プログラム宛先を使う場合の手順の流れを説明します。

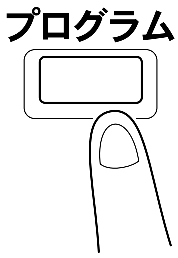
ホーム画面の［ファイル送信］または**操作パネル**の**フォルダ**を押す





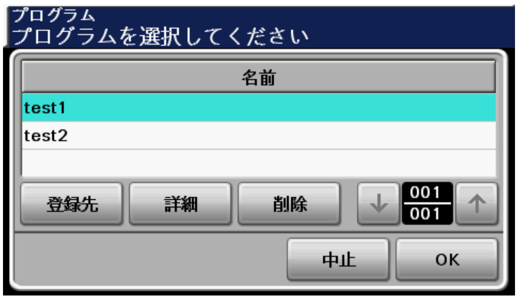
↓

プログラムを押す



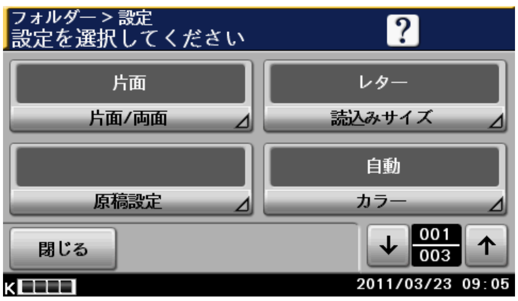
↓

プログラム宛先を選択し、［OK］を押す



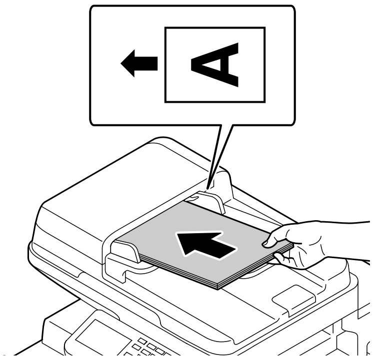
↓

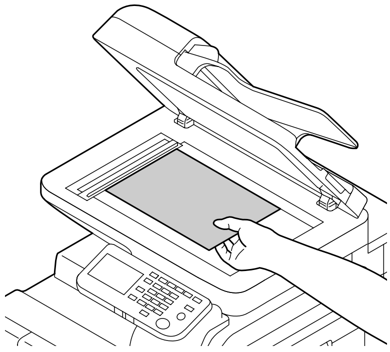
設定（p. 6-17）を行う



↓

原稿をセットする

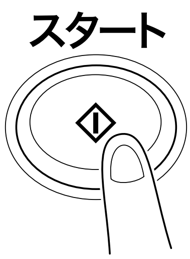




・ 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す



参考

- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、6-17 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、**スタート**を押します。送信を中止する場合は、［中止］を押します。

参照

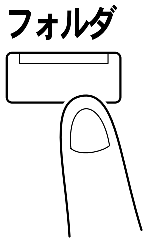
プログラム宛先登録の内容と手順は 9-4 ページ、10-17 ページをごらんください。

6.1.3 同報送信

同時に複数の宛先にファイル送信する場合の手順の流れを説明します。

ホーム画面の［ファイル送信］または操作パネルのフォルダを押す





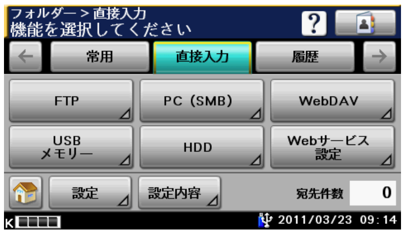
↓

宛先を指定する

登録宛先から（p. 6-16）



直接入力から（p. 6-10）

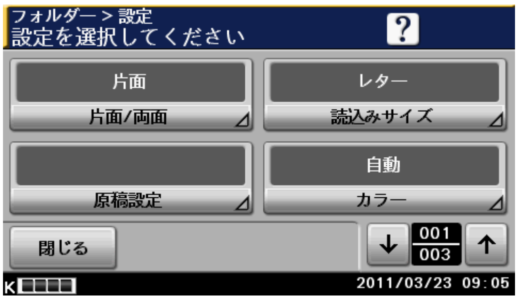


送信履歴から（p. 6-15）



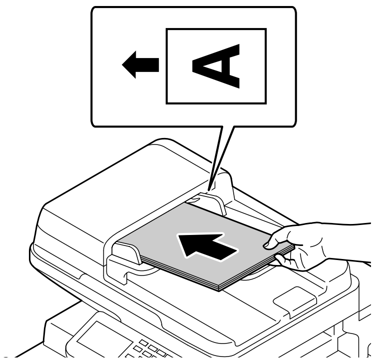
↓

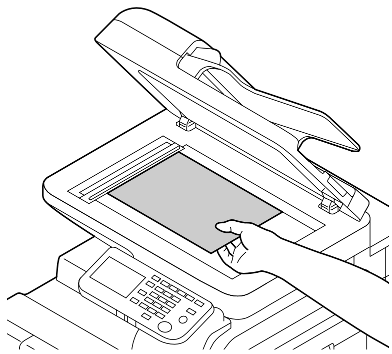
設定（p. 6-17）を行う



↓

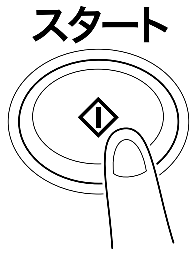
原稿をセットする





- 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし、なおかつ▼マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

↓

スタートを押す 

参考

- 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、6-17 ページをごらんください。
- 原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、スタートを押します。送信を中止する場合は、［中止］を押します。

6.2 ファイル送信画面

6.2.1 画面構成の説明

ホーム画面の［ファイル送信］または**操作パネルのフォルダ**を押すと、以下の画面が表示されます。



No.	項目	説明	参照先
1	常用	常用（よく使用する宛先）に設定されている宛先から送信先を選択します。	p. 6-9
2	直接入力	登録されていない宛先を直接入力して指定します。	p. 6-10
3	履歴	送信履歴から送信先を選択します。	p. 6-15
4	アドレス帳	あらかじめ登録された宛先から送信先を選択します。	p. 6-16
5	ホーム	ホーム画面に戻ります。	
6	設定	ファイル送信に関する設定を行います。	p. 6-17
7	設定内容	指定した宛先とファイル送信設定の内容を確認します。	p. 6-26

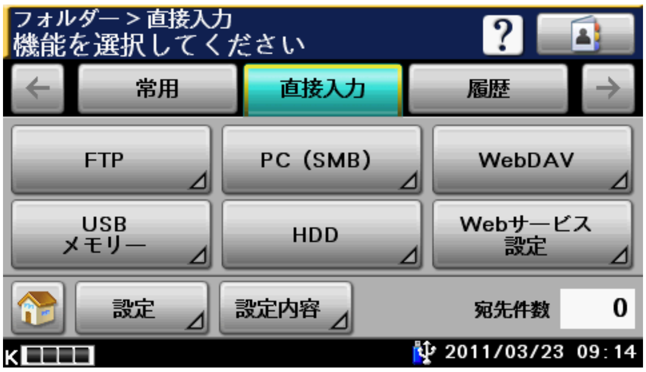
6.3 常用

常用に設定されている宛先を選択できます。



6.4 直接入力

登録されていない送信先を直接入力することで指定できます。



参考

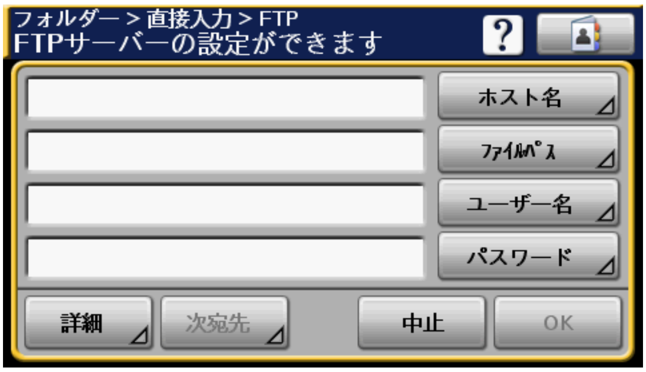
- ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［手動宛先入力］が［禁止］に設定されている場合は、直接入力して指定することはできません。

参照

手動宛先入力については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

6.4.1 FTP

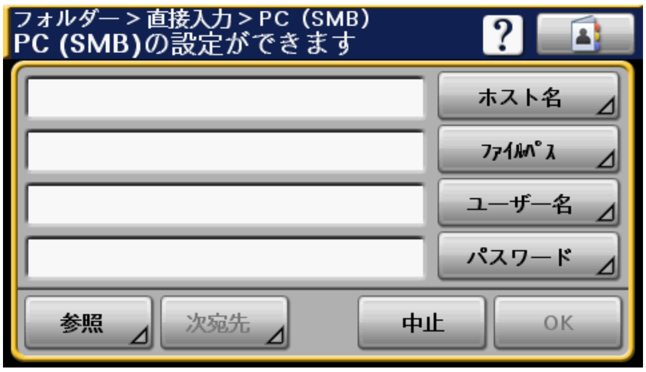
FTP の宛先を指定します。



項目		説明
［ホスト名］		送信先のホスト名または IP アドレスを指定します。
［ファイルパス］		送信先のフォルダーのパスを指定します。
［ユーザー名］		ログインするユーザー名を入力します。
［パスワード］		ログインパスワードを入力します。
［詳細］	［Pasv］	PASV モードを使用するかどうかを設定します。
	［プロキシ］	プロキシーサーバーを使用するかどうかを設定します。
	［ポート番号］	ポート番号を入力します。（入力範囲：1 ～ 65535）
［次宛先］		続けて他の宛先を指定するときに押します。

6.4.2 PC（SMB）

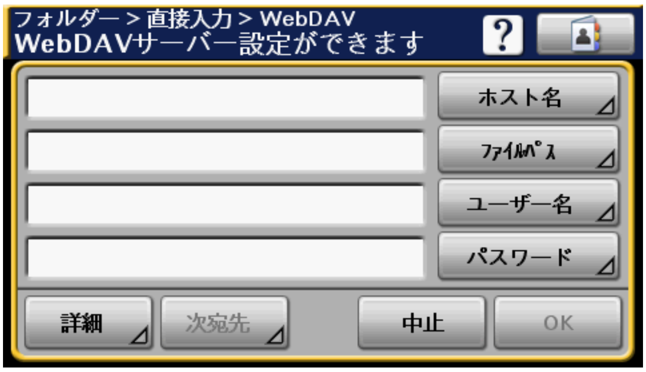
PC（SMB）の宛先を指定します。



項目	説明
[ホスト名]	送信先のホスト名（大文字で入力）または IP アドレスを指定します。
[ファイルパス]	送信先のフォルダーのパスを入力します。
[ユーザー名]	ログインするユーザー名を入力します。
[パスワード]	ログインパスワードを入力します。
[参照]	接続先のコンピューターのフォルダー構成を確認できます。送信先のフォルダーを直接指定することもできます。
[次宛先]	続けて他の宛先を指定するときに押します。

6.4.3 WebDAV

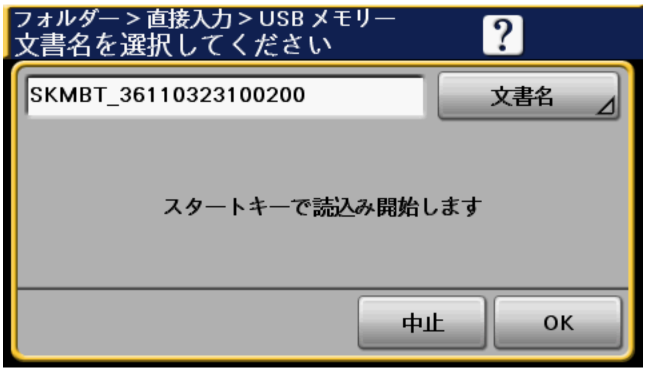
WebDAV の宛先を指定します。



項目		説明
[ホスト名]		送信先のホスト名または IP アドレスを指定します。
[ファイルパス]		送信先のフォルダーのパスを指定します。
[ユーザー名]		ログインするユーザー名を入力します。
[パスワード]		ログインパスワードを入力します。
[詳細]	[ポート番号]	ポート番号を入力します。（入力範囲：1 ～ 65535）
	[プロキシ]	プロキシーサーバーを使用するかどうかを設定します。
	[SSL 設定]	送信に SSL を使用するかどうかを設定します。
[次宛先]		続けて他の宛先を指定するときに押します。

6.4.4 USB メモリー

USB メモリーに送信するファイルの文書名を指定します。



参考

- USB メモリーが差し込まれていないときは表示されません。
- USB メモリーで宛先に指定できるのは 1 件だけです。
- ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［外部メモリ保存禁止］が［禁止］に設定されている場合は、［USB メモリー］を指定できません。［外部メモリ保存禁止］について詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

使用できる外部メモリー

本機で使用できる外部メモリーの条件は以下のとおりです。

- USB（1.1/2.0）インターフェース対応の USB フラッシュメモリー
- FAT32 形式でフォーマットされていること
- セキュリティー機能が付加されていないか、またはセキュリティー機能を OFF できること
- メモリー容量が 8GB 未満であること
- コンピューター上で複数のドライブとして認識されないもの

参考

- 条件を満たした外部メモリーでも、動作しない場合があります。

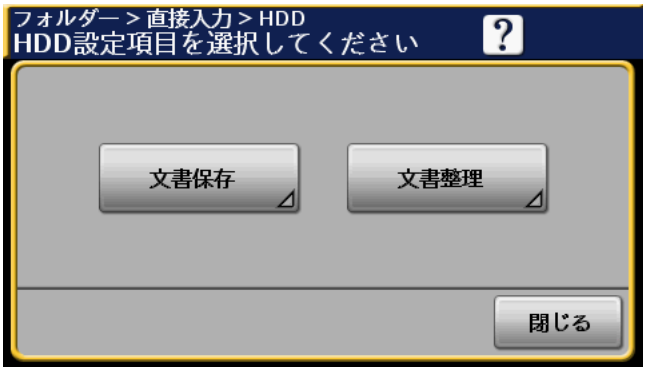
外部メモリーの接続

参考

- 外部メモリーへの保存中や文書の印刷中には、外部メモリーを抜かないでください。
- USB フラッシュメモリー以外の USB 機器（ハードディスク、USB マウスなど）は使用しないでください。
- 外部メモリーを差し込んだ直後に抜かないでください。

6.4.5 HDD

HDD に送信するファイルの文書名を指定します。



項目		説明
[文書保存]		ファイル名を入力します。 ユーザー認証をしている場合は [共有] または [個人] を選択します。
[文書整理]	[詳細]	選択した文書の登録時間 / ユーザー名 / 文書名 / ページ数を確認できます。
	[削除]	選択した文書を削除します。

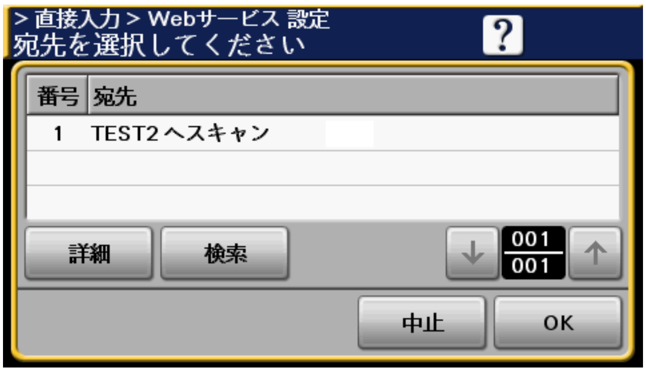
参考

- HDD で宛先に指定できるのは 1 件だけです。
- HDD に保存したスキャンデータは PageScope Web Connection からコピーすることでコンピューターに保存できます。詳しくは、10-11 ページをごらんください。

6.4.6 Web サービス設定

あらかじめ登録したネットワーク上のコンピューターにスキャンしたデータを送信します。

本機を Web サービススキャナーとして登録しているネットワーク上のコンピューターが送信先として表示されます。宛先を選択してください。



項目	説明
[詳細]	送信先の宛先と URL が表示されます。
[検索]	送信先の名称に含まれるキーワードを入力し、送信先を検索します。

参考

- Web サービスで宛先に指定できるのは 1 件だけです。
- Web サービススキャンをする場合、解像度と読込みサイズは設定できないことがあります。

参照

事前に必要な設定については、4-14 ページをごらんください。

コンピューターからスキャンを本機に指示して、データを保存することもできます。詳しい手順は 7-6 ページをごらんください。

6.5 履歴

過去に送信した宛先から、最新の 5 件が表示されています。この履歴から宛先を選択できます。



参考

- 直接入力して指定した宛先のみ履歴に残ります。
- 同報送信ジョブは履歴に表示されません。
- 本機の**電源スイッチ**を OFF にすると、履歴は消去されます。
- Web サービスを使用して送信した場合は、履歴に表示されません。
- ［管理者設定］▸▸［セキュリティ設定］▸▸［セキュリティ詳細］▸▸［通信履歴非表示］が［する］に設定されている場合は、履歴から指定することはできません。

参照

通信履歴非表示については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

6.6 アドレス帳

登録されている宛先を選択できます。



参考

- ［かな］を押すと、検索文字タブを「かな」表示に切換えることができます。
- ［グループ］を押すと、登録されているグループ宛先が表示されます。

参照

短縮宛先の登録については、9-2 ページ、10-13 ページをごらんください。

グループ宛先の登録については、10-16 ページをごらんください。

6.6.1 検索

送信したい宛先を検索することができます。登録宛先を検索するには、以下の方法があります。

種別

宛先登録時に設定した宛先種類別に検索できます。



名前

宛先の名前を入力して検索します。名前を入力して［OK］を押すと、検索結果の一覧が表示されます。

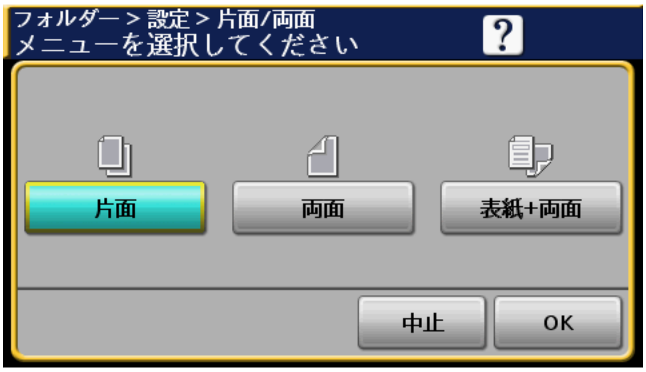


6.7 設定

［設定］を押すと、スキャン時の詳しい内容を設定できます。

6.7.1 片面 / 両面

ADF を使用する場合、原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするか選択します。



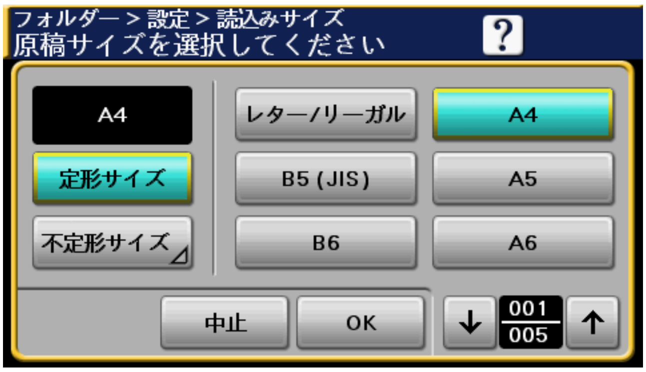
項目	説明
［片面］	原稿の片面をスキャンします。
［両面］	原稿の両面をスキャンします。
［表紙 + 両面］	原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンします。

6.7.2 読込みサイズ

スキャンする用紙サイズを設定します。

［定形サイズ］

A4、B5（JIS）など決まったサイズでスキャンする場合はサイズを選択します。



[不定形サイズ]

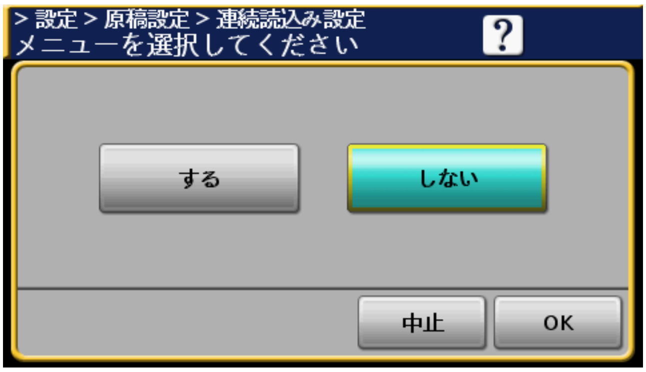
規格サイズにはない不定形サイズの寸法を入力して設定します。
- X 方向：30.0 ～ 356.0 mm の範囲で設定します。
- Y 方向：30.0 ～ 216.0 mm の範囲で設定します。



6.7.3 原稿設定

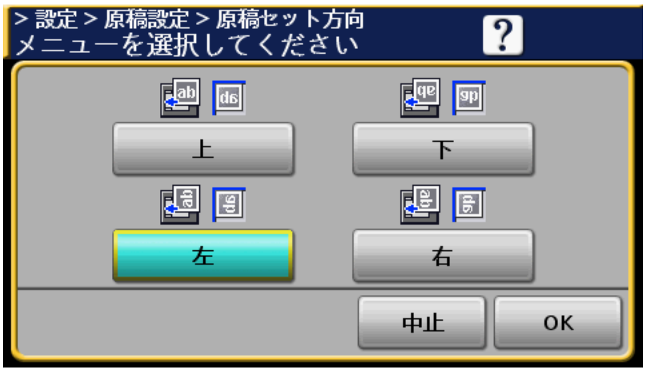
連続読込み設定

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合や、**原稿ガラス**上にセットする場合、片面原稿や両面原稿が混在している場合など読込みを数回に分割することができます。



原稿セット方向

原稿の上下の位置を選択します。スキャンしたあとに上下が正しくなるよう、データを処理します。



項目	説明
[上]	原稿の上辺を上向きにセットします。
[下]	原稿の上辺を下向きにセットします。
[左]	原稿の上辺を左向きにセットします。
[右]	原稿の上辺を右向きにセットします。

原稿とじしろ

原稿についているパンチ穴あけやステープルどめなどのとじしろの位置を指定します。また、両面原稿をスキャンするとき、とじしろの位置が逆にならないよう補正します。



項目	説明
[左とじ]	原稿の左側にとじしろがある場合に設定します。
[上とじ]	原稿の上側にとじしろがある場合に設定します。
[自動]	297 mm 以下のサイズは長辺をとじる、297 mm を超えるサイズは短辺をとじる、と判断します。

6.7.4 カラー

カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを設定します。



項目	説明
[自動]	原稿の色を自動的に判別し、原稿に合わせてスキャンします。
[フルカラー]	フルカラーでスキャンします。
[グレースケール]	白黒写真などのハーフトーンが多いときに選択します。
[白黒 2 値]	線画など、白黒の境がはっきりしているときに選択します。

カラーは[ファイル形式]の設定によって指定できない場合があります。[ファイル形式]と[カラー]の設定の組み合わせは以下のとおりです。

	[自動]	[フルカラー]	[グレースケール]	[白黒 2 値]
[PDF]	○	○	○	○
[コンパクト PDF]	○	○	○	−
[TIFF]	○	○	○	○
[JPEG]	○	○	○	−
[XPS]	○	○	○	○

6.7.5 原稿画質

原稿の内容に合わせて選択します。選択できる画質は以下のとおりです。



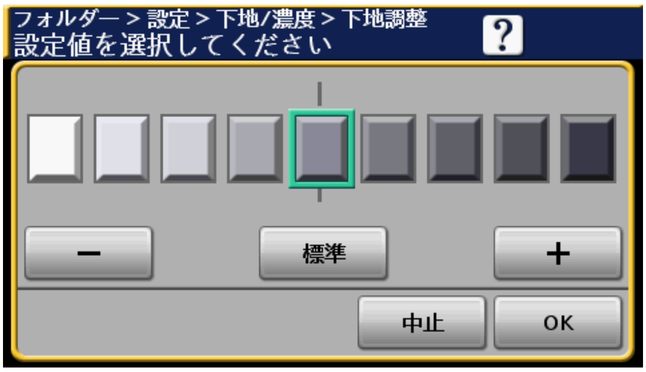
項目	説明
[文字]	文字だけで構成されている原稿です。
[文字 / 写真]	文字と写真(ハーフトーン)が混ざっている原稿です。
[写真]	写真(ハーフトーン)だけの原稿です。

6.7.6 下地 / 濃度

下地調整

スキャン時に原稿の下地の濃さを調整します。

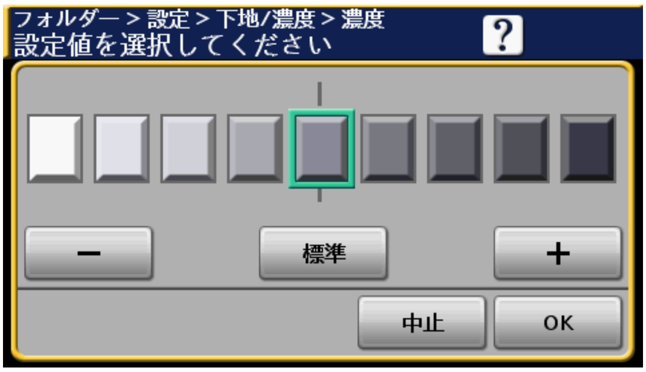
- 下地の濃さを調整するときは［－］または［＋］を押します。
- ［標準］を押すと設定が初期値に戻ります。



濃度

スキャン時の濃さを調整します。

- 濃さを調整するときは［－］または［＋］を押します。
- ［標準］を押すと設定が初期値に戻ります。



シャープネス

スキャン時に、文字などの境界をくっきりさせることができます。



6.7.7 解像度

スキャンする解像度を選択します。



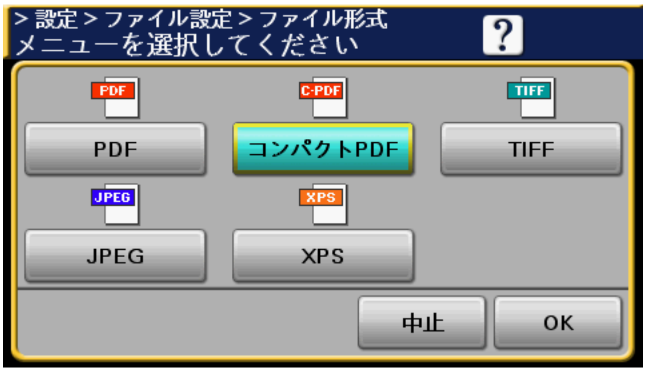
参考

- ［ファイル形式］が［コンパクト PDF］の場合、［300 × 300 dpi］に設定されます。

6.7.8 ファイル設定

ファイル形式

スキャンしたデータを保存するファイル形式を選択します。



選択できるファイル形式は以下のとおりです。

項目	説明
［PDF］	PDF 形式で保存します。
［コンパクト PDF］	PDF 形式よりも圧縮したデータで保存します。
［TIFF］	TIFF 形式で保存します。
［JPEG］	JPEG 形式で保存します。
［XPS］	XPS 形式で保存します。

保存するファイル形式によって［カラー］の設定が［自動］に変更される場合があります。［ファイル形式］と［カラー］の設定の組み合わせは以下のとおりです。

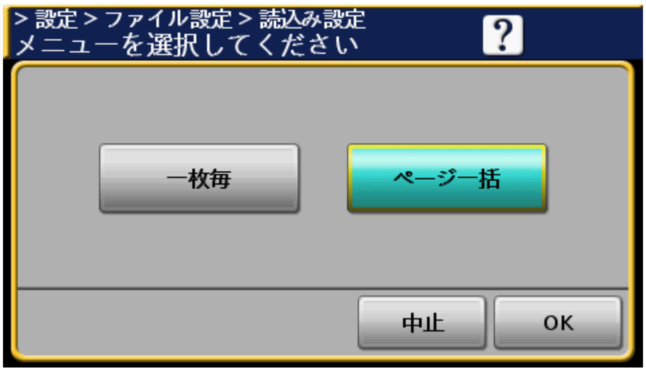
	［自動］	［フルカラー］	［グレースケール］	［白黒 2 値］
［PDF］	○	○	○	○
［コンパクト PDF］	○	○	○	−
［TIFF］	○	○	○	○
［JPEG］	○	○	○	−
［XPS］	○	○	○	○

参考

- ［JPEG］を選択した場合、［読込み設定］は［一枚毎］が自動的に選択されます。
- ［コンパクト PDF］を選択した場合、［解像度］は［300 × 300 dpi］に設定されます。
- ［PDF］または［コンパクト PDF］を選択した場合、［PDF 暗号化設定］を設定できます。詳しくは、6-23 ページをごらんください。

読込み設定

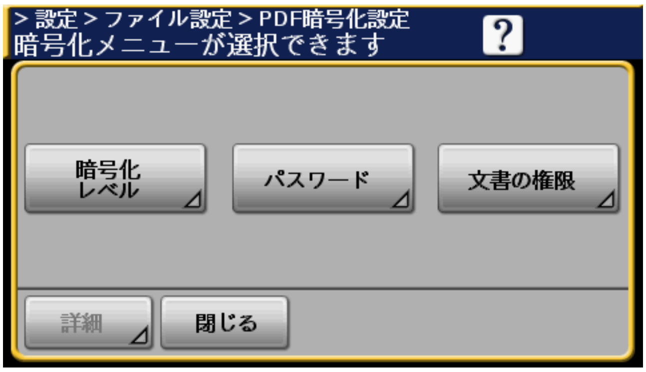
複数ページをスキャンして送信するときのデータのまとめかたを指定できます。



項目	説明
［一枚毎］	1 ページごとに分割してファイルを作成します。
［ページ一括］	スキャンした全ての原稿をまとめてひとつのファイルを作成します。ファイル形式で［JPEG］と同時に選択できません。

PDF 暗号化設定

ファイル形式で［PDF］または［コンパクト PDF］を選択したときは暗号化のレベルを設定できます。

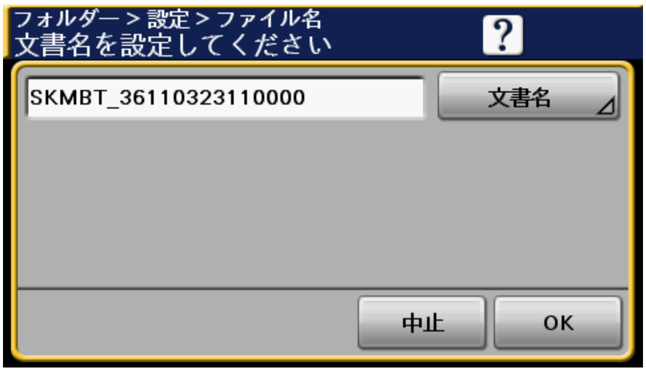


項目		説明
［暗号化レベル］	［はい］	暗号化を有効にします。設定後、［低］、［中］、［高］でレベルを設定します。
	［いいえ］	暗号化を設定しません。
［パスワード］		暗号化されたデータを開くときに必要なパスワードを入力します（入力範囲：半角 32 文字以内）。
［文書の権限］		文書の権限を変更するために必要なパスワードを入力します（入力範囲：半角 32 文字以内）。

項目		説明
［詳細］	［暗号化レベル］で［はい］が選択され、［文書の権限］でパスワードが設定されている場合に表示します。	
	［印刷許可レベル］	データの印刷の許可 / 禁止を選択します。暗号化レベルを［中］または［高］に設定した場合は、［低解像度のみ許可］が表示されます。
	［変更許可レベル］	データの署名、入力、注釈などの文書変更に関する許可 / 禁止と、許可する場合の許可レベルを設定します。 ［暗号化レベル］が［低］の場合は、レベル 2、3、5 が表示されます。［暗号化レベル］が［中］または［高］の場合は、レベル 1、2、3、4 が表示されます。 ［レベル 1］：ページの挿入 / 削除 / 回転 ［レベル 2］：注釈の作成、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドに署名 ［レベル 3］：ページの抽出を除くすべての操作 ［レベル 4］：フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドに署名 ［レベル 5］：ページレイアウト、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールド署名
	［文書と画像抽出］	文書中の文字や画像のコピーの許可 / 禁止を選択します。

6.7.9 ファイル名

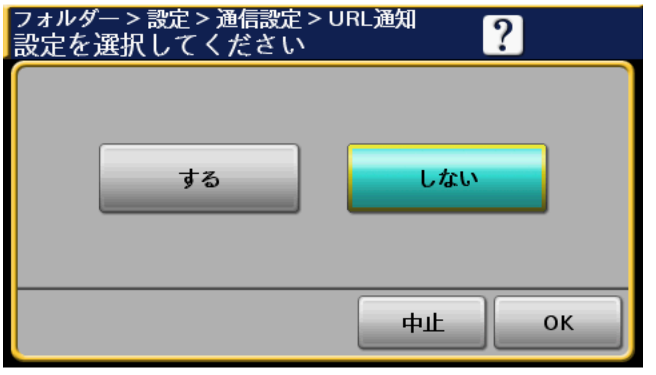
ファイル名を入力します。



6.7.10 通信設定

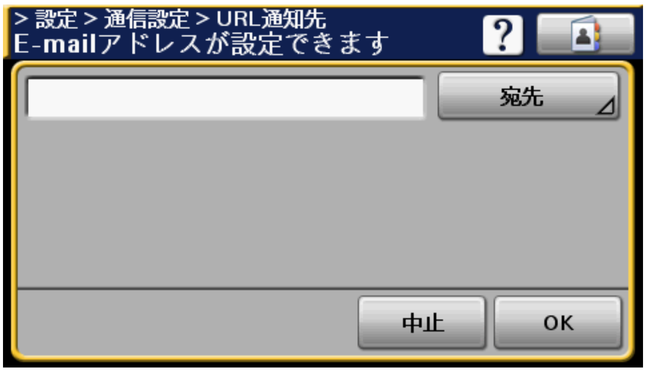
URL 通知

ジョブの終了を E-mail で通知するかしないか設定します。



URL 通知先

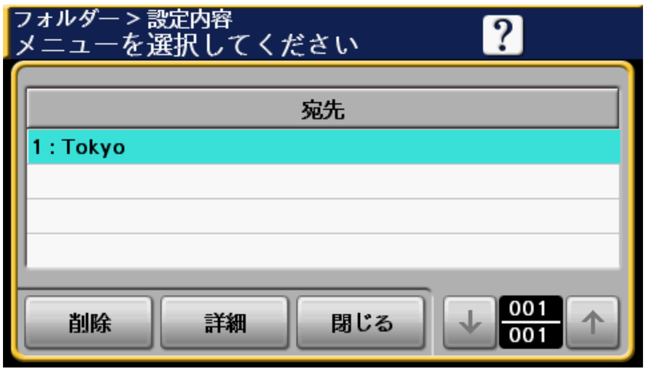
ジョブの終了を通知する E-mail アドレスを設定します。



6.8 設定内容

ファイル送信画面で［設定内容］を押すと、指定した宛先とファイル送信設定内容の確認できます。

宛先を削除する場合は、削除したい宛先を選択して［削除］を押します。



7 アプリケーションスキャン機能

7 アプリケーションスキャン機能

コンピューターからスキャンの指示を本機に行い、スキャンしたデータを受信できます。

7.1 TWAIN 対応アプリケーション

ここでは、基本的なスキャンの手順について説明します。

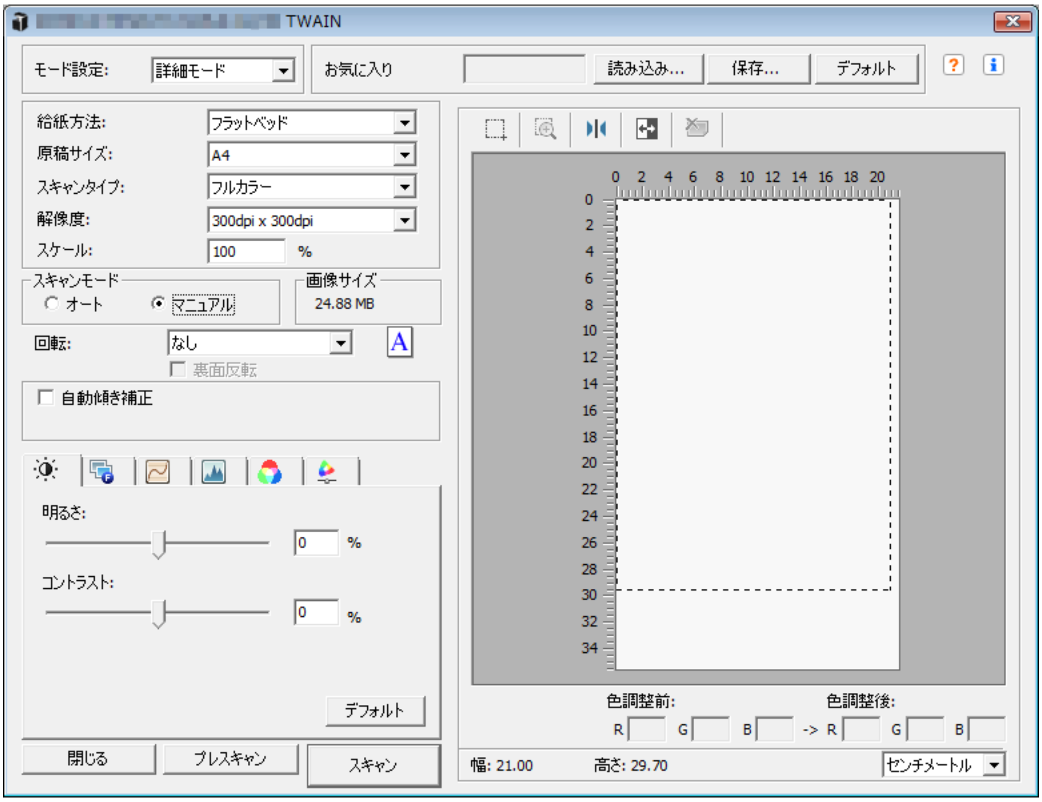
参照

事前に必要な設定については、4-5 ページをごらんください。

1 スキャンデータを取り込む TWAIN 対応のアプリケーションソフトを起動します。

2 アプリケーションソフトの設定に従って、スキャナードライバーを起動します。

3 スキャンの内容を設定し、[スキャン] をクリックします。



簡易モード

項目	説明
ヘルプアイコン	ヘルプを表示します。
バージョン情報アイコン	ドライバーのバージョン情報を表示します。
スキャン目的	原稿種類を選択します。
スキャンタイプ	スキャンする画像の形式を指定できます。フルカラー、グレー、白黒から選択します。
解像度	150dpi × 150dpi、300dpi × 300dpi、600dpi × 600dpi、1200dpi × 1200dpi、2400dpi × 2400dpi、4800dpi × 4800dpi から選択します。
自動色調整	自動的に色を補正するかしないか設定します。

項目	説明
自動傾き補正	原稿の傾き補正を設定します。
給紙方法	**原稿ガラス**（フラットベッド）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。 ADF からスキャンするときは、片面か両面かを選択します。
原稿サイズ	原稿サイズを指定します。
回転	スキャンする画像の向きを設定します。 ［裏面反転］にチェックをすると、裏面を 180°回転してスキャンします（この設定は、［給紙方法］が［ADF（両面）］のときに設定可能です）。
画像サイズ	スキャン画像のデータサイズを表示します。
閉じる	TWAIN ドライバーのウィンドウを閉じます。
プレスキャン	プレビュー画像の読み込みを開始します。
スキャン	スキャンを開始します。
クリアアイコン	プレビュー画像を消去します。
プレビューウィンドウ	プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。
色調整前 / 色調整後（RGB）	プレビューウィンドウ上にカーソルを移動すると、カーソル位置の補正前後の色調が表示されます。
幅 / 高さ	指定領域の幅 / 高さが、選択した単位で表示されます。

詳細モード

項目	説明
読み込み	保存した設定ファイル（dat ファイル）を読み込みます。
保存	現在の設定を設定ファイル（dat ファイル）として保存します。
デフォルト	すべての設定を初期値に戻します。
ヘルプアイコン	ヘルプを表示します。
バージョン情報アイコン	ドライバーのバージョン情報を表示します。
給紙方法	**原稿ガラス**（フラットベッド）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。 ADF からスキャンするときは、片面か両面かを選択します。
原稿サイズ	原稿サイズを指定します。
スキャンタイプ	スキャンする画像の形式を指定できます。フルカラー、グレー、白黒から選択します。
解像度	150dpi × 150dpi、300dpi × 300dpi、600dpi × 600dpi、1200dpi × 1200dpi、2400dpi × 2400dpi、4800dpi × 4800dpi から選択します。
スケール	拡大 / 縮小率を設定します。 ［解像度］が 1200dpi × 1200dpi 以上の場合は、100% 以上には設定できません。
スキャンモード	［オート］または［マニュアル］を選択します。［マニュアル］を選択すると、［明るさ / コントラスト］、［フィルタ］、［カーブ］、［レベル］、［カラーバランス］、［色相 / 彩度］を設定できます。 設定可能な項目は、選択したスキャンタイプによって異なります。スキャンタイプの設定によって、表示される詳細設定が異なります。 スキャンモードを［オート］に設定して、**原稿ガラス**から読み込む場合は、プレスキャンを実行してプレビュー画像を確認してから、スキャンを実行してください。
画像サイズ	スキャン画像のデータサイズを表示します。
回転	スキャンする画像の向きを設定します。 ［裏面反転］にチェックをすると、裏面を 180°回転してスキャンします（この設定は、［給紙方法］が［ADF（両面）］のときに設定可能です）。
自動傾き補正	原稿の傾き補正を設定するかしないか設定します。
閉じる	TWAIN ドライバーのウィンドウを閉じます。
プレスキャン	プレビュー画像の読み込みを開始します。

項目	説明
スキャン	スキャンを開始します。
オートクロップアイコン	プレビュー画像をもとに、読み込み位置を自動的に検出します。
ズームプレスキャンアイコン	プレビューウィンドウで指定した領域を再度読み込んで、ウィンドウに合わせて拡大表示します。
鏡像アイコン	プレビュー画像を左右に反転します。
階調反転アイコン	プレビュー画像の色を反転します。
クリアアイコン	プレビュー画像を消去します。
プレビューウィンドウ	プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。
色調整前 / 色調整後 (RGB)	プレビューウィンドウ上にカーソルを移動すると、カーソル位置の補正前後の色調が表示されます。
幅 / 高さ	指定領域の幅 / 高さが、選択した単位で表示されます。

7.2　WIA 対応アプリケーション

ここでは、基本的なスキャンの手順について説明します。

参照

事前に必要な設定については、4-5 ページをごらんください。

1　スキャンデータを取り込む WIA 対応のアプリケーションソフトを起動します。

2　アプリケーションソフトの設定に従って、スキャナードライバーを起動します。

3　スキャンの内容を設定し、[スキャン] をクリックします。



項目	説明
給紙方法	**原稿ガラス**（フラットベッド）と ADF（ドキュメントフィーダ）のどちらに原稿をセットするかを選択します。
カラー画像	カラーでスキャンするときに選択します。
グレースケール画像	グレースケールでスキャンするときに選択します。
白黒画像またはテキスト	白黒でスキャンするときに選択します。
カスタム設定	詳細プロパティ画面の設定値を使うときに選択します。
スキャンした画像の品質の調整	詳細プロパティ画面で［明るさ］、［コントラスト］、［解像度］、［画像の種類］を設定します。 詳細プロパティ画面で設定した内容が［カスタム設定］になります。
ページサイズ	原稿のサイズを設定します。 ［給紙方法］で［ドキュメントフィーダ］を選択している場合に有効です。
プレビューウィンドウ	プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。
プレビュー	プレビュー画像の読み込みを開始します。
スキャン	スキャンを開始します。
キャンセル	WIA ドライバーのウィンドウを閉じます。

7.3 Web サービス

ここでは、Windows フォトギャラリーからスキャンする手順を例に説明します。

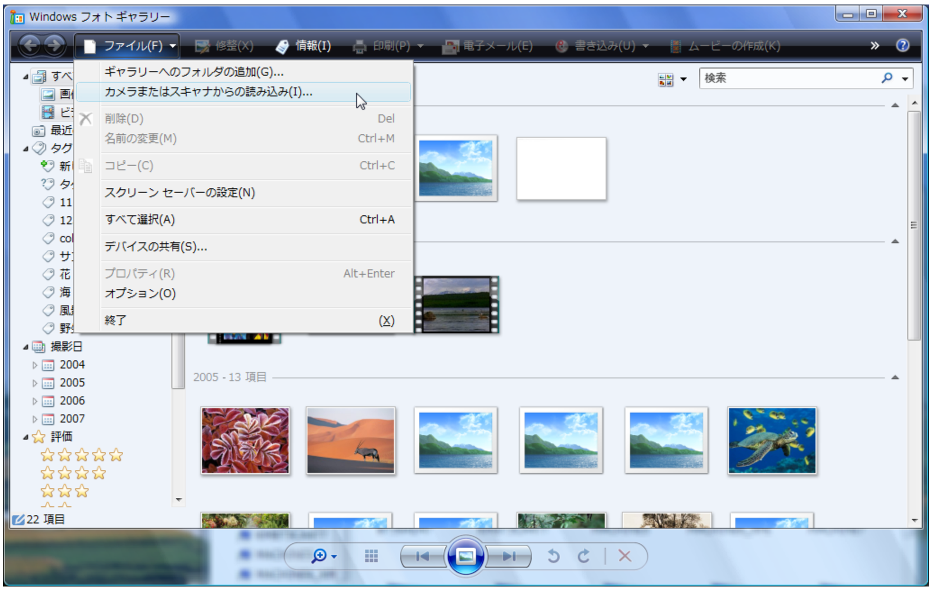
参照

事前に必要な設定については、4-14 ページをごらんください。

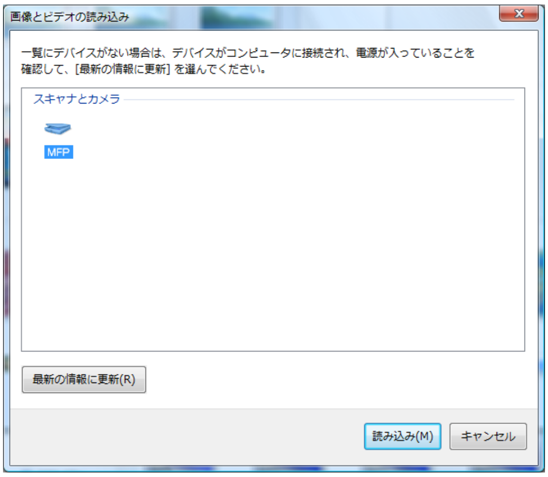
本機からスキャンを指示して、データを保存することもできます。詳しい手順は 6-13 ページをごらんください。

1 スキャンを行うことのできるアプリケーションソフトを起動します。

2 ［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選択します。



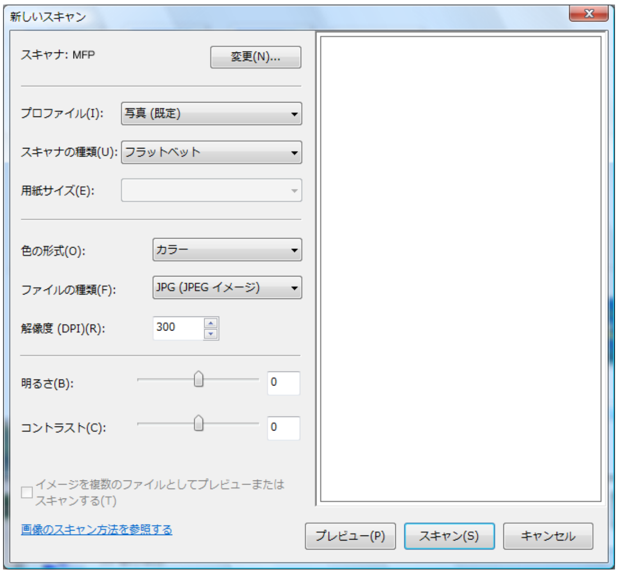
3 ［スキャナとカメラ］の一覧から本機を選択し、［読み込み］をクリックします。



［新しいスキャン］ウィンドウが起動します。

4 本機に原稿をセットします。

5　スキャンの内容を設定し、［スキャン］をクリックします。



6　［これらの画像をマーク］に保存するファイル名を入力し、［読み込み］をクリックします。
スキャンが行われ、画像の一覧にスキャンしたデータが追加されます。

8 レポート / リストの見かた

8 レポート / リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

8.1 レポート / リストの種類

本機から印刷されるレポート、リストには以下の種類があります。

8.1.1 レポート

レポートは、必要に応じてプリントの指示をします。

レポート名	説明
[スキャン送信レポート]	スキャン送信の結果をプリントできます。

8.1.2 リスト

リストは、必要に応じてプリントの指示をします。

リスト名	説明
[短縮宛先リスト]	短縮宛先の登録内容をプリントできます。
[グループ宛先リスト]	グループ宛先の登録内容をプリントできます。
[プログラム宛先リスト]	プログラム宛先の登録内容をプリントできます。

8.2 レポート

8.2.1 ［スキャン送信レポート］

送信の記録が記載されたレポートです。最大 100 通信分が記録されます。

出力例

P 1

スキャン送信レポ-ト

2011.03.24 09:26

シリアル番号 123

番号	宛先	通信開始 時刻	送信種別	送信	結果	備考
002	SKMBT_36110323100500	03-23 10:06	HDD	001	OK	SKMBT_36110323100500.pdf
012	SKMBT_36110323143500	03-23 14:35	HDD	001	OK	SKMBT_36110323143500.pdf
016	Tokyo	03-23 15:44	SMB	001	NG	SKMBT_36110323154400.pdf
060	Tokyo	03-24 09:13	E-mail	001	NG	SKMBT_36110324091200.pdf
061	SKMBT_36110324091400	03-24 09:15	HDD	001	OK	SKMBT_36110324091400.pdf

結果　OK : 通信OK終了　S-OK : 通信中止　NG : その他のエラー　メモリフル : メモリフル

プリントされる項目

項目	説明
［番号］	連番が付けられます。
［宛先］	送信した相手先が記載されます。短縮指定時は、短縮名称が記載されます。
［通信開始時刻］	通信を開始した時刻が記載されます。
［送信種別］	通信の機能が記載されます。
［送信］	通信した枚数が記載されます。
［結果］	［OK］：通信が正常に終了した場合に記載されます。 ［S-OK］：通信を中止した場合に記載されます。 ［NG］：通信エラーが発生した場合に記載されます。 ［メモリフル］：ファイルメモリーがいっぱいになって、送信できなかった場合に記載されます。 ［---］：サーバーまで送信済みの場合に記載されます。
［備考］	ファイル名が記載されます。

8.3 リスト

8.3.1 [短縮宛先リスト]

登録した短縮宛先のリストをプリントできます。出力方法については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。

出力例

P 1
2011.03.23 17:13
シリアル番号 123

短縮宛先リスト
E-mail

番号	検索文字	名前	E-mail
0005	TUV	Tokyo	tokyo@test.local
0006	MNO	Osaka	osaka@test.local
0007	MNO	Nagoya	nagoya@test.local

プリントされる項目

プリントされる項目は、短縮宛先の種類によって異なります。

E-mail

項目	説明
[番号]	短縮番号です。
[検索文字]	登録されている検索文字です。
[名前]	登録されている宛先名です。
[E-mail]	登録されている E-mail 宛先です。

FTP

項目	説明
[番号]	短縮番号です。
[検索文字]	登録されている検索文字です。
[名前]	登録されている宛先名です。
[ホストアドレス]	登録されている FTP 宛先です。
[ファイルパス]	登録されているファイルパスです。
[ユーザー ID]	登録されているユーザー ID です。
[パスワード]	登録されているパスワードです(パスワードは[********]で表示されます)。
[anonymous]	anonymous が設定されているかいないかが表示されます。
[PASV モード]	PASV が設定されているかいないかが表示されます。
[プロキシー]	プロキシーが設定されているかいないかが表示されます。
[ポート番号]	登録されているポート番号です。

WebDAV

項目	説明
[番号]	短縮番号です。
[検索文字]	登録されている検索文字です。
[名前]	登録されている宛先名です。
[ホストアドレス]	登録されている WebDAV 宛先です。
[ファイルパス]	登録されているファイルパスです。
[ユーザー ID]	登録されているユーザー ID です。
[パスワード]	登録されているパスワードです（パスワードは［********］で表示されます）。
[プロキシー]	プロキシーが設定されているかいないかが表示されます。
[SSL 設定]	SSL 設定がされているかいないかが表示されます。
[ポート番号]	登録されているポート番号です。

SMB

項目	説明
[番号]	短縮番号です。
[検索文字]	登録されている検索文字です。
[名前]	登録されている宛先名です。
[ホストアドレス]	登録されている PC(SMB) 宛先です。
[ファイルパス]	登録されているファイルパスです。
[ユーザー ID]	登録されているユーザー ID です。
[パスワード]	登録されているパスワードです（パスワードは［********］で表示されます）。

8.3.2　[グループ宛先リスト]

登録したグループ宛先のリストをプリントできます。出力方法については、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。

出力例

P 1
グループ宛先リスト
2011.03.23 17:21
シリアル番号 123

番号	名前	短縮No	番号
002	gru01	0003 0004	2
003	gru02	0005 0006	2

プリントされる項目

項目	説明
[番号]	グループ宛先番号です。
[名前]	登録されているグループ名です。
[短縮 No]	グループ宛先に登録されている短縮宛先 No. です。
[番号]	グループ宛先に登録されている短縮宛先の数です。

8.3.3 ［プログラム宛先リスト］

登録したプログラム宛先のリストをプリントできます。出力方法については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

出力例

P 1
2011.03.23 17:22
シリアル番号 123

プログラム宛先リスト

アドレス帳

番号	名前	E-mail
001	test1	0006

項目	設定
解像度	300x300dpi
ファイル形式	コンパクトPDF
ページ設定	ページ一括
件名	未定義
文字	未定義
片面/両面	片面
原稿画質	文字/写真
カラー	する
モノクロ	ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ
連続読込み設定	しない
濃度	0
下地調整	0
シャープネス	0
読込みサイズ	レター
原稿セット方向	左
原稿セット方向	自動

番号	名前	SMB
002	test2	0008

項目	設定
解像度	300x300dpi
ファイル形式	コンパクトPDF
ページ設定	ページ一括
片面/両面	片面
原稿画質	文字/写真
カラー	する
モノクロ	ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ
連続読込み設定	しない
濃度	0
下地調整	0
シャープネス	0
読込みサイズ	レター
E-mail通知	しない
原稿セット方向	左
原稿セット方向	自動

プリントされる項目

項目	説明
［番号］	プログラム宛先番号です。
［名前］	登録されているプログラム名です。
［宛先］	短縮宛先の種類と短縮宛先 No. もしくは直接入力した宛先が記載されます。

9 ユーザーモード設定

9 ユーザーモード設定

設定メニュー（ユーザーモード）で設定できるスキャン関連の機能を説明します。

9.1 ［宛先登録］

短縮宛先では最大 2000 件の宛先を登録できます。

参考

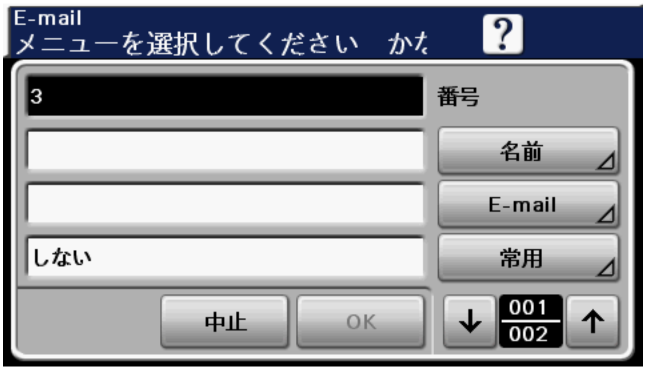
- ［管理者設定］ ▸▸ ［セキュリティ設定］ ▸▸ ［セキュリティ詳細］ ▸▸ ［登録宛先変更］が［禁止］に設定されている場合は、**操作パネル**から登録することはできません。また、PageScope Web Connection のユーザーモードからも登録することはできません。
- FTP、WebDAV の短縮宛先は PageScope Web Connection でのみ登録できます。短縮宛先の登録方法は、10-13 ページをごらんください。
- グループ宛先の登録は PageScope Web Connection で行います。グループ宛先の登録方法は、10-16 ページをごらんください。

9.1.1 E-mail

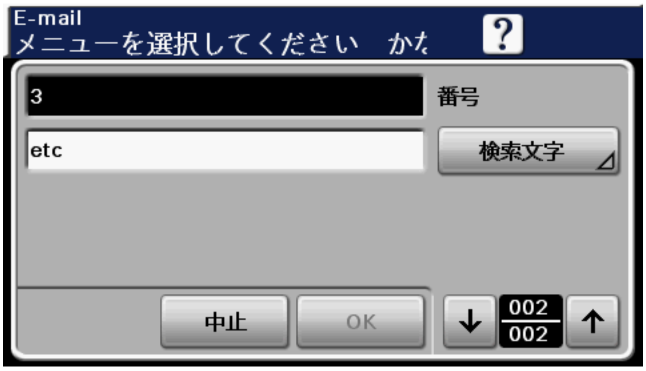
E-mail 宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ ［宛先登録］ ▸▸ ［E-mail］ ▸▸ ［新規登録］を押します。

1/2 画面



2/2 画面



項目	説明
［名前］	短縮宛先の登録名を半角 72 文字以内で入力します。
［E-mail］	送信先の E-mail アドレスを半角 320 文字以内で入力します。
［常用］	よく使用する宛先の場合は［する］に設定します。［常用］に表示されるため、検索性がよくなります。
［検索文字］	検索文字を選択します。

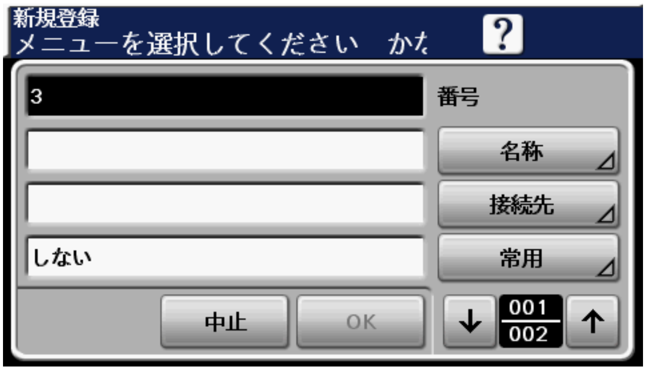
参考
- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［設定内容］▸▸［削除］を押します。

9.1.2 SMB

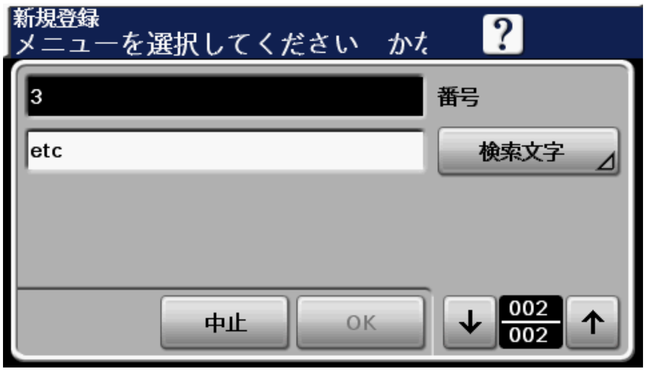
SMB の宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［宛先登録］▸▸［SMB］▸▸［新規登録］を押します。

1/2 画面



2/2 画面



項目		説明
［名称］		短縮宛先の登録名を半角 72 文字以内で入力します。
［接続先］	［ホスト名］	送信先のコンピューターのホスト名を半角文字で 255 バイト以内で入力します。 ・ ホスト名は大文字で入力します。
	［ファイルパス］	保存先のファイルパスを半角文字で 255 バイト以内で入力します。
	［ユーザー ID］	送信先のコンピューターにログインするユーザー ID を半角文字で 127 バイト以内で入力します。
	［パスワード］	送信先のコンピューターにログインするパスワードを半角文字で 127 バイト以内で入力します。
	［参照］	ネットワーク上のコンピューターを検出し、送信先として共有フォルダーを登録できます。
［常用］		よく使用する宛先の場合は［する］に設定します。［常用］に表示されるため、検索性がよくなります。
［検索文字］		検索文字を選択します。

参考
- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［設定内容］▸▸［削除］を押します。

9.1.3　プログラム宛先

頻繁に送信する宛先とスキャン送信に関する設定を組み合わせてプログラム宛先に登録できます。プログラム宛先にこれらを登録しておくと、**プログラム**を押すだけで、登録されている宛先とスキャン送信設定の機能を呼び出して使うことができます。

参考
- プログラム宛先は最大 400 件登録することができます。
- [管理者設定] ▸▸ [セキュリティ設定] ▸▸ [セキュリティ詳細] ▸▸ [登録宛先変更] が [禁止] に設定されている場合は、**操作パネル**から登録することはできません。また、PageScope Web Connection のユーザーモードからも登録することはできません。

プログラム登録

1 ホーム画面の [E-mail 送信]、[ファイル送信] または**操作パネル**の **E-mail**、**フォルダ**を押してからプログラム登録したい項目の設定を行います。

2 **プログラム**を押します。

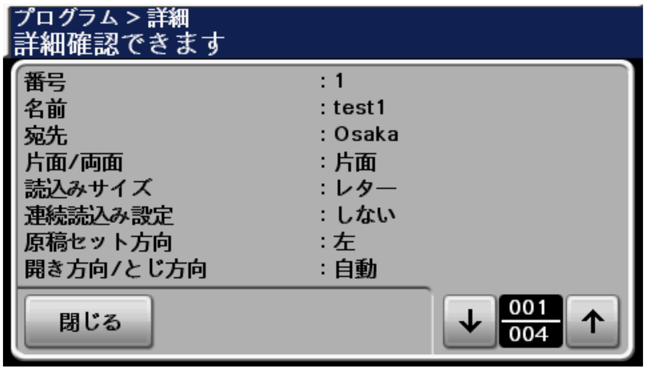
3 [登録先] を押します。
プログラム登録画面が表示されます。



項目	説明
[名前]	プログラムの登録名を半角 72 文字以内で入力します。
[宛先]	宛先を 1 か所選択できます。登録宛先から宛先を選択してください。

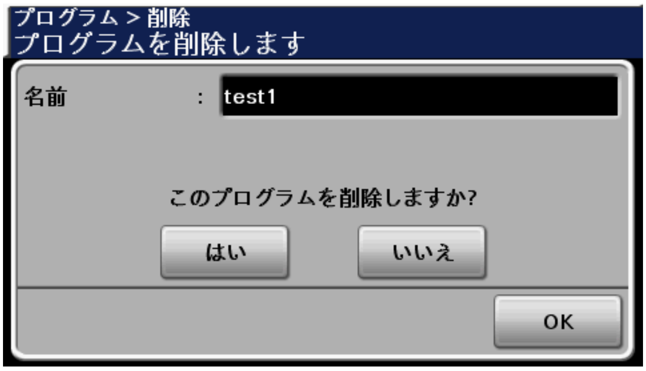
詳細

すでに登録したプログラムの内容を確認するときに押します。確認したら［閉じる］を押します。



削除

すでに登録したプログラムを削除するときに押します。削除するときは［はい］を押します。



9.2 ［ユーザー設定］

9.2.1 環境設定－オートカラーレベル

カラー原稿と白黒原稿の判定基準レベルを調整できます（初期値：2）。

［0］、［1］に設定すると白黒判定しやすい傾向になり、［3］、［4］に設定するとカラー判定しやすい傾向になります。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［環境設定］▸▸［オートカラーレベル］を押します。



9.2.2 環境設定－ E-mail 送信基本画面表示

E-mail 送信画面の初期表示を設定します（初期値：常用）。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［環境設定］▸▸［E-mail 送信基本画面表示］を押します。



9.2.3 環境設定－ファイル送信基本画面表示

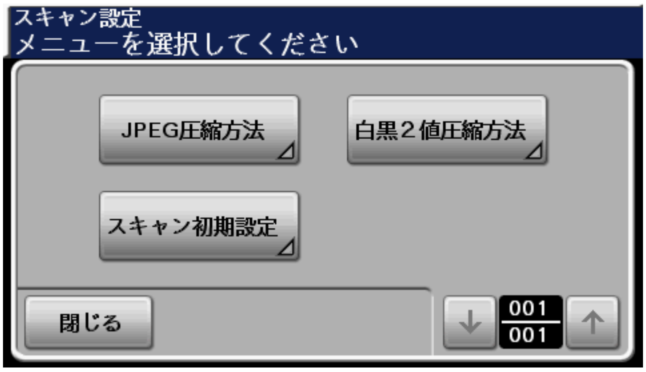
ファイル送信画面の初期表示を設定します（初期値：常用）。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [ユーザー設定] ▸▸ [環境設定] ▸▸ [ファイル送信基本画面表示] を押します。



9.2.4 スキャン設定

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [ユーザー設定] ▸▸ [スキャン設定] を押します。



項目	説明
[JPEG 圧縮方法]（E-mail/SMB/FTP/WebDAV/Web サービス）	画像をフルカラーで保存するときの圧縮方法を設定します。 ・ [高画質]：データサイズが大きくなりますが、高画質になります。 ・ [標準]（初期値）：データサイズ、画質ともに [高画質] と [高圧縮] の中間になります。 ・ [高圧縮]：データサイズが小さくなりますが、低画質になります。
[白黒 2 値圧縮方法]	画像を白黒 2 値で送信するときの符号化方式の能力を設定します。 ・ [MH]：データサイズが大きくなります。 ・ [MMR]（初期値）：データサイズが小さくなります。 保存したデータをコンピューターで開くとき、アプリケーションによっては MMR 圧縮のデータを開けないことがあります。
[スキャン初期設定]	スキャン機能の初期設定値（**リセット**を押したときの設定値）を設定します。（初期値：工場時の出荷値）

10 PageScope Web Connection

10　PageScope Web Connection

デバイス管理用ユーティリティー PageScope Web Connection の機能について説明します。

10.1　PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection は、プリンターコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。本機の**操作パネル**で行う設定を手元のコンピューターから操作でき、漢字の入力もスムーズに行うことができます。

10.1.1　動作環境

ネットワーク	Ethernet（TCP/IP）
コンピューター側のアプリケーション	Web ブラウザー： <Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 の場合 > ・　Microsoft Internet Explorer 6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） ・　Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Macintosh Mac OS X の場合 > ・　Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Linux の場合 > ・　Mozilla Firefox 3.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）

10.1.2　アクセス方法

✔　PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。

✔　ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、10-5 ページをごらんください。

✔　本機の IP アドレスの設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

1　Web ブラウザーを起動します。

2　URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力してキーボードの **Enter** を押します。http:// <本機の IP アドレス> /

（例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

- http://192.168.1.20/

IPv6 が有効に設定されていて、Internet Explorer 6 以外のブラウザーを使用している場合

- IPv6 アドレスを [ ] で囲んでアクセスします。

\- http://[本機の IPv6 アドレス]/

（例）本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

- http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]/
- IPv6 が有効に設定されていて、Internet Explorer を使用している場合は、あらかじめ hosts ファイルに「fe80::220:6bff:fe10:2f IPv6_MFP_1」といった追記をする編集をし、ホスト名による URL 指定を行います。
  ログイン画面が表示されます。

10.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

参考

- Web ブラウザーのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをごらんください。

Internet Explorer の場合

1 ［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選択します。

2 ［全般］タブで［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。

3 ［ページを表示するごとに確認する］を選択し、［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

Mozilla Firefox の場合

1 ［ツール］メニューから［オプション］を選択します。

2 ［プライバシー］をクリックし、［Firefox の終了時に履歴を消去する］にチェックを付けます。

3 ［設定］をクリックし、［履歴の消去設定］で［キャッシュ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

10.2　ログインとログアウト

10.2.1　ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザーモードと管理者モードがあります。

参考

- PageScope Web Connection にはユーザー、管理者あわせて 8 セッションが同時に接続できます。また、パブリックユーザー、レジスタユーザー、管理者とも複数同時に接続できます。
- 本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。

言語設定

PageScope Web Connection 上で表示される言語は、本機の**操作パネル**で設定されている言語と同じ言語となります。

［言語］で他の言語へ変更できます。

参考

- ［言語］で言語を変更しても、**操作パネル**で表示される言語は変更されません。



パブリックユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っていない場合や、登録されたユーザー以外のユーザーがログインする場合は、パブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で［パブリックユーザー］を選択し、［ログイン］をクリックします。



登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、ユーザー名とユーザーパスワードを利用してログインします。

➔ ログイン画面でユーザー名とユーザーパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。



参考

- 部門認証を行っている場合は、アカウント名とアカウントパスワードも入力します。
- 外部サーバー認証が設定されている場合は、外部認証サーバーを選択します。

管理者モードへログイン

システム、セキュリティー、プリント、ネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。

参照
管理者モードへのログイン方法については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

10.2.2 ログアウト

画面右上の［ログアウト］をクリックするとログイン画面に戻ります。

参考

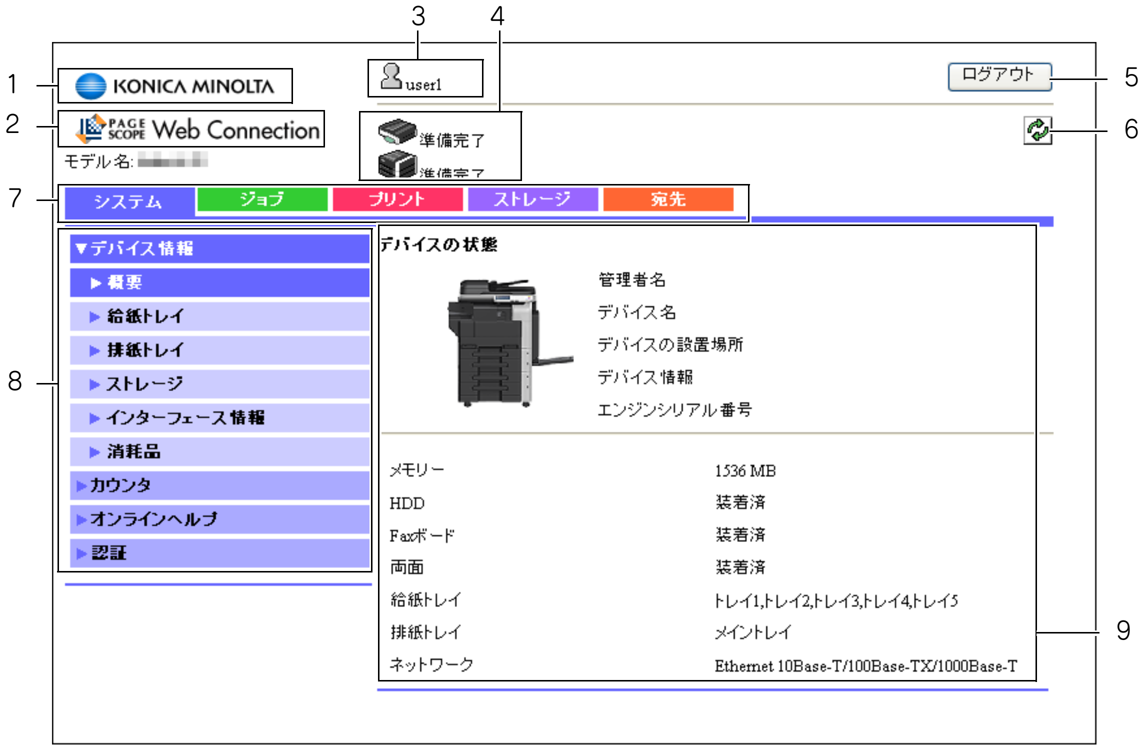
- ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなった場合や、ユーザーモードログイン中に本機の認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。

10.3 画面の構成

PageScope Web Connection にログイン後、表示される画面は、以下のように構成されています。ここでは、システムーデバイス情報ー概要画面を例に説明します。

参考

- 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。



No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://konicaminolta.com/
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードアイコンとユーザー名（パブリック、管理者、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。
4	ステータス表示	本機プリンター部分と本機スキャナー部分の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。
5	[ログアウト]	現在のモードからログアウトし、ログインしなおすときにクリックします。
6	更新	クリックすると画面の表示を更新します。
7	メインタブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザーモードと管理者モードで表示される項目が異なります。
8	メニュー	選択されたアイコンにおける情報および設定が表示されます。アイコンの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
9	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

10.4　ステータス表示

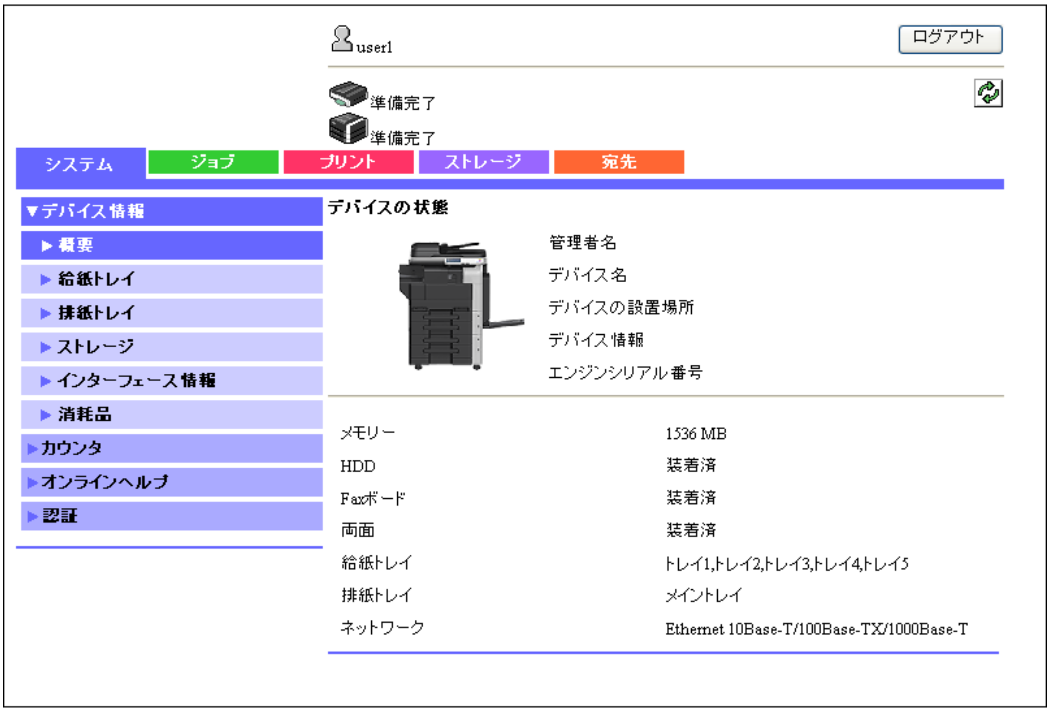
本機の現在の状態（ステータス）は、PageScope Web Connection ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明
	レディー	本機がオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。
	警告	注意が必要ですが、印刷は続行可能です。
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。
	フェイタルエラー	本機を再起動する必要があります。 再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要ですのでサービス実施店にご連絡ください。

10.5　ユーザーモードの概要

ユーザーモードにログインすると、以下の機能を確認、設定できます。

10.5.1　システム



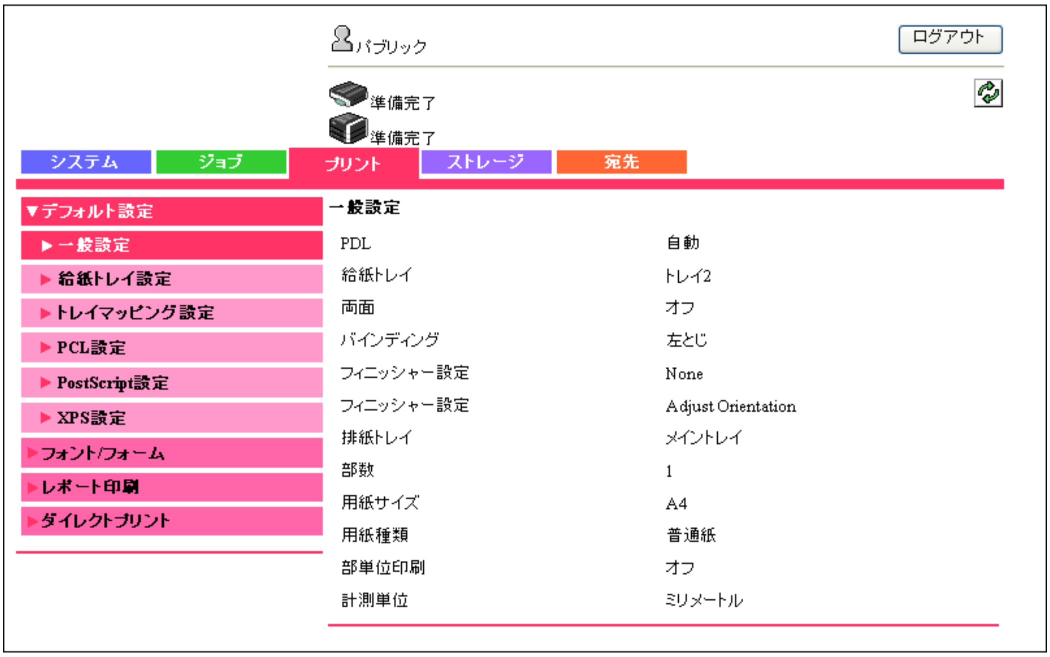
項目		説明
[デバイス情報]	[概要]	本機の構成要素、オプションの装着有無などの状態が確認できます。
	[給紙トレイ]	本機に装着されている給紙トレイと使用している用紙情報が確認できます。
	[排紙トレイ]	本機に装着されている排紙トレイと状態が確認できます。
	[ストレージ]	本機に装着されている HDD の状態が確認できます。
	[インターフェース情報]	本機で設定されているネットワーク情報が確認できます。
	[消耗品]	本機の消耗品情報が確認できます。
[カウンタ]	[トータルカウンター]	本機でこれまでに印刷した数量が機能別で確認できます。
	[用紙サイズ別カウンター]	本機でこれまでに印刷した数量が用紙サイズ別で確認できます。
	[用紙種類別カウンター]	本機でこれまでに印刷した数量が用紙種類別で確認できます。
[オンラインヘルプ]	[オンラインヘルプ]	製品に関するサポート情報を確認できます。 ユーザーモードでは設定の変更はできません。 各設定の詳細については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。
[認証]	[パスワード変更]	現在ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。 パブリックユーザーはこの機能を使用できません。
	[登録情報]	現在ログインしているユーザーの登録内容を確認できます。

10.5.2　ジョブ



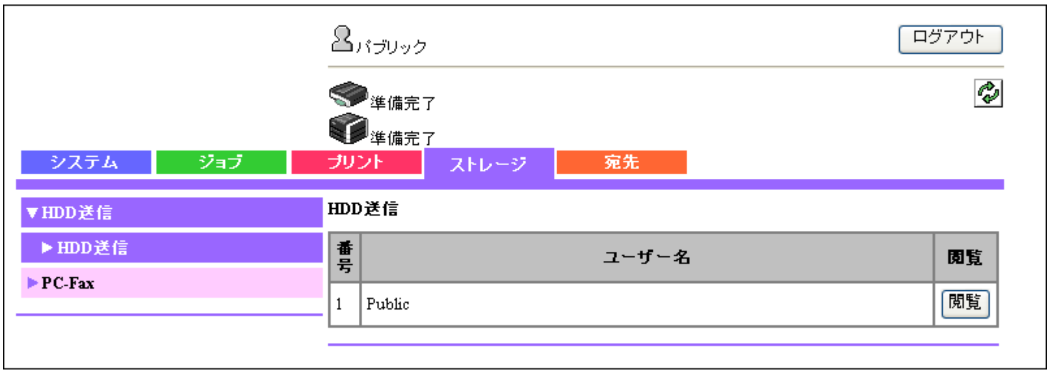
項目		説明
[処理中ジョブ]	[プリント]	本機が現在処理しているジョブが確認できます。
	[送信]	
	[受信]	
	[保存]	
[処理済ジョブ]	[プリント]	本機で処理が終了したジョブが確認できます。
	[送信]	
	[受信]	
	[保存]	
[コミュニケーションリスト]	[スキャン]	本機で処理が終了した通信リストが確認できます。
	[ファックス送信]	
	[ファックス受信]	

10.5.3 プリント



項目		説明
[デフォルト設定]	[一般設定]	プリンターに関する各種設定を確認できます。 ユーザーモードでは設定の変更はできません。 各設定の詳細については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。
	[給紙トレイ設定]	
	[トレイマッピング設定]	
	[PCL 設定]	
	[PostScript 設定]	
	[XPS 設定]	
[フォント / フォーム]	[PCL フォント]	本機にダウンロードされている PCL フォントの情報を確認できます。
	[PostScript フォント]	本機にダウンロードされている PostScript フォントの情報を確認できます。
	[フォーム]	本機にダウンロードされているフォームの情報を確認できます。
[レポート印刷]	[レポート印刷]	各種レポートの出力を行います。
[ダイレクトプリント]	[ダイレクトプリント]	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機で印刷を行うことができます。 ダイレクトプリントでは、PDF、TIFF、JPEG および XPS 形式のファイルを印刷できます。 カラーの原稿をダイレクトプリントしても、モノクロに変換してプリントします。

10.5.4　ストレージ



項目	説明
[HDD 送信]	**ハードディスク**に保存されたスキャンデータを管理することができます。
[PC-Fax]	PC-FAX 受信または強制メモリー受信により本機に保存されたデータを管理することができます。

[HDD 送信]

項目		説明
[番号]		登録されている番号が表示されます。
[ユーザー名]		登録されているユーザー名が表示されます。
[閲覧]	[番号検索]	選択した登録番号の範囲のユーザーが表示されます。
	[サムネイル]	保存されたファイルの最初のページの画像が表示されます。 画像をクリックすると、ファイル情報が表示されます。
	[ファイル名]	保存されたファイルのファイル名が表示されます。 ファイル名をクリックすると、ファイル情報が表示されます。
	[コピー]	保存されたファイルをダウンロードします。
	[削除]	本機の**ハードディスク**から保存されたファイルを削除します。

参考
- ファイル情報画面からも保存されたファイルをダウンロード、削除することができます。

[PC-Fax]

項目	説明
[番号検索]	選択した登録番号の範囲が表示されます。
[サムネイル]	保存されたファイルの最初のページの画像が表示されます。 画像をクリックすると、ファイル情報が表示されます。
[ファイル名]	保存されたファイルのファイル名が表示されます。 ファイル名をクリックすると、ファイル情報が表示されます。
[コピー]	保存されたファイルをダウンロードします。
[プリント]	保存されたファイルを印刷します。印刷が終了すると、本機からファイルは削除されます。
[削除]	保存されているファイルを削除します。

参考
- 受信パスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。
- ファイル情報画面からも保存されたファイルをダウンロード、印刷、削除することができます。

10.5.5 宛先

参考

- **操作パネル**の［管理者設定］▶▶［セキュリティ設定］▶▶［セキュリティ詳細］▶▶［登録宛先変更］が［禁止］に設定されている場合は表示されません。



項目	説明
［アドレス帳］	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。最大 2000 件の宛先を登録できます。
［グループ］	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［プログラム］	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［題名］	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録、変更できます。
［本文］	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録、変更できます。

[アドレス帳]



項目	説明
[新規登録]	新しく短縮宛先を登録します。
[番号検索]	登録番号を選択すると、選択した番号の宛先一覧が表示されます。
[インデックス検索]	検索文字を選択すると、選択した検索文字の宛先一覧が表示されます。
[番号]	登録番号が表示されます。
[機能]	登録した機能が表示されます。
[名称]	登録名称が表示されます。
[編集]	登録されている短縮宛先を編集します。設定項目は登録時と同じです。
[削除]	短縮宛先を削除します。

［新規登録］▸▸［E-mail］

項目	説明
［番号］	宛先の登録番号を指定します。
［名称］	宛先の名称を入力します。（半角 72 文字、全角 36 文字以内）
［インデックス］	宛先検索用の検索文字を選択します。 よく使う宛先は、［常用］にチェックを入れると便利です。
［E-mail アドレス］	宛先の E-mail アドレスを入力します。（半角 320 文字以内）
［S/MIME 証明書］	S/MIME 証明書が登録されているかどうかが表示されます。
［証明書の編集］	証明書情報を編集するときはチェックボックスをチェックします。 チェックをつけると、証明書の情報を編集できます。 ［証明書の登録］：証明書ファイルを指定して、証明書を登録します。 ［証明書の削除］：登録済みの証明書を削除します。 ・　証明書情報は、DER（Distinguished Encoding Rules）形式のファイルのみサポートされています。 ・　登録する宛先の E-mail アドレスと証明書の E-mail アドレスが一致しない場合は、証明書を登録できません。証明書を登録する前に E-mail アドレスが一致しているかどうか確認してください。

［新規登録］▸▸［FTP］

項目	説明
［番号］	宛先の登録番号を指定します。
［名称］	宛先の名称を入力します。（半角 72 文字、全角 36 文字以内）
［インデックス］	宛先検索用の検索文字を選択します。 よく使う宛先は、［常用］にチェックを入れると便利です。
［ホストアドレス］	宛先の FTP サーバーのアドレスを入力します。 書式：*.*.*.*（* の入力範囲：0-255） DNS サーバーを指定している場合は、ホスト名で指定できます。 ホスト名は、完全修飾ドメイン名（FQDN）で指定してください。 IPv6 を使用する場合は、IPv6 アドレスで指定できます。
［ファイルパス］	宛先のディレクトリを指定します。（全角、半角 127 バイト以内）
［anonymous］	anonymous ユーザーでもアクセスできるようにするかどうかを選択します。
［ユーザー ID］	宛先の FTP サーバーにログインするためのユーザー ID を入力します。（全角、半角 63 バイト以内）
［パスワード］	宛先の FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力します。（半角 63 バイト以内） パスワードを変更する場合は、［パスワードの変更］のチェックボックスにチェックを入れます。
［PASV モード］	PASV モードで通信を行うかどうかを選択します。
［プロキシー］	プロキシーサーバーを使用するかどうかを選択します。
［ポート番号］	ポート番号を入力します。

［新規登録］▸▸［SMB］

項目	説明
［番号］	宛先の登録番号を指定します。
［名称］	宛先の名称を入力します。（半角 72 文字、全角 36 文字以内）
［インデックス］	宛先検索用の検索文字を選択します。 よく使う宛先は、［常用］にチェックを入れると便利です。
［ホストアドレス］	宛先のコンピューターのアドレスを入力します。 書式：*.*.*.*（* の入力範囲：0-255） DNS サーバーを指定している場合は、ホスト名で指定できます。 ホスト名は、完全修飾ドメイン名（FQDN）で指定してください。 IPv6 を使用する場合は、IPv6 アドレスで指定できます。 IPv6 アドレスで SMB 送信を行う場合は、ダイレクトホスティングを有効にする必要があります。 詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
［ファイルパス］	宛先のディレクトリを指定します。（全角、半角 255 バイト以内）
［ユーザー ID］	宛先のコンピューターにログインするためのユーザー ID を入力します。（全角、半角 255 バイト以内）
［パスワード］	宛先のコンピューターにログインするためのパスワードを入力します。（半角 127 バイト以内） パスワードを変更する場合は、［パスワードの変更］のチェックボックスにチェックを入れます。

［新規登録］▸▸［WebDAV］

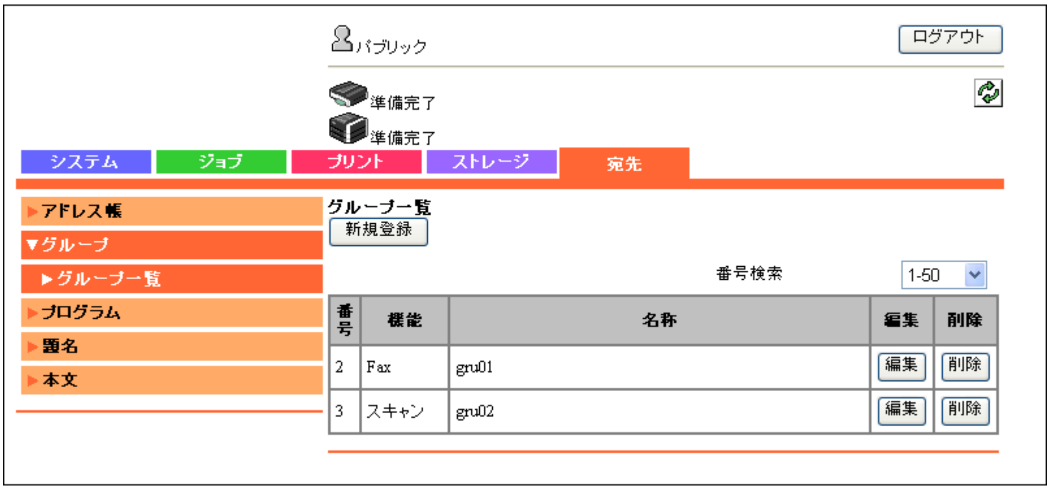
項目	説明
［番号］	宛先の登録番号を指定します。
［名称］	宛先の名称を入力します。（半角 72 文字、全角 36 文字以内）
［インデックス］	宛先検索用の検索文字を選択します。 よく使う宛先は、［常用］にチェックを入れると便利です。
［ホストアドレス］	宛先の WebDAV サーバーのアドレスを入力します。 書式：*.*.*.*（* の入力範囲：0-255） DNS サーバーを指定している場合は、ホスト名で指定できます。 ホスト名は、完全修飾ドメイン名（FQDN）で指定してください。 IPv6 を使用する場合は、IPv6 アドレスで指定できます。
［ファイルパス］	宛先のディレクトリを指定します。（全角、半角 142 バイト以内）
［ユーザー ID］	宛先の WebDAV サーバーにログインするためのユーザー ID を入力します。（全角、半角 63 バイト以内）
［パスワード］	宛先の WebDAV サーバーにログインするためのパスワードを入力します。（半角 63 バイト以内） パスワードを変更する場合は、［パスワードの変更］のチェックボックスにチェックを入れます。
［SSL］	SSL で暗号化するかどうかを選択します。
［プロキシー］	プロキシーサーバーを使用するかどうかを選択します。
［ポート番号］	ポート番号を入力します。

[グループ]

複数の短縮宛先をグループ化して、グループ宛先に登録することができます。

グループ宛先は、ファクス / スキャン機能で 100 グループまで登録できます。

ひとつのグループ宛先には短縮宛先を 500 件まで登録できます。



項目	説明
[新規登録]	新しくグループ宛先を登録します。
[番号検索]	登録番号を選択すると、選択した番号のグループ宛先一覧が表示されます。
[番号]	登録番号が表示されます。
[機能]	登録した機能が表示されます。
[名称]	登録名称が表示されます。
[編集]	登録されているグループ宛先を編集します。設定項目は登録時と同じです。
[削除]	グループ宛先を削除します。

[新規登録] ►► [スキャン]

項目		説明
[名称]		登録するグループ宛先の名称を入力します。(半角 72 文字、全角 36 文字以内)
[宛先]	[番号検索]	登録番号を選択すると、選択した番号の宛先一覧が表示されます。
	[インデックス検索]	検索文字を選択すると、選択した検索文字の宛先一覧が表示されます。
	[機能検索]	機能を選択すると、選択した機能の宛先一覧が表示されます。
[宛先一覧]		グループ宛先に追加したい宛先のチェックボックスをチェックして [適用] をクリックすると、その宛先がグループ宛先に登録されます。

[プログラム]

プログラム宛先を登録、編集できます。

プログラム宛先には、宛先情報、通信情報、原稿情報を組み合わせて登録できます。



項目	説明
[番号検索]	登録番号を選択すると、選択した番号のプログラム宛先一覧が表示されます。
[番号]	登録番号が表示されます。
[機能]	登録した機能が表示されます。
[名称]	登録名称が表示されます。
[編集]	プログラム宛先を登録または編集します。 プログラム宛先が登録されていない場合にクリックすると、[新規登録] 画面が表示されます。登録するプログラム宛先の配信方法を選択します。詳しくは、10-18 ページをごらんください。 すでにプログラム宛先が登録されている場合にクリックすると、[プログラム] 画面が表示されます。プログラム宛先の設定を編集できます。詳しくは、10-19 ページをごらんください。
[削除]	プログラム宛先を削除します。

［プログラム］（新規登録）

項目		説明
［プログラム（E-mail）］		E-mail のプログラム宛先を登録します。 宛先設定項目はアドレス帳への登録項目と同じです。 詳しくは、10-13 ページをごらんください。 宛先登録後、プログラム宛先の詳細設定を行います。
［プログラム（FTP）］		FTP のプログラム宛先を登録します。 宛先設定項目はアドレス帳への登録項目と同じです。 詳しくは、10-13 ページをごらんください。 宛先登録後、プログラム宛先の詳細設定を行います。
［プログラム（SMB）］		SMB のプログラム宛先を登録します。 宛先設定項目はアドレス帳への登録項目と同じです。 詳しくは、10-13 ページをごらんください。 宛先登録後、プログラム宛先の詳細設定を行います。
［プログラム（WebDAV）］		WebDAV のプログラム宛先を登録します。 宛先設定項目はアドレス帳への登録項目と同じです。 詳しくは、10-13 ページをごらんください。 宛先登録後、プログラム宛先の詳細設定を行います。
［プログラム（アドレス帳）］		アドレス帳のプログラム宛先を登録します。
	［番号］	プログラム宛先の登録番号が表示されます。
	［名称］	プログラム宛先の名称を入力します。
	［番号検索］	登録番号を選択すると、選択した番号の宛先一覧が表示されます。
	［インデックス検索］	検索文字を選択すると、選択した検索文字の宛先一覧が表示されます。
	［機能検索］	機能を選択すると、選択した機能の宛先一覧が表示されます。
	［宛先一覧］	追加したい宛先のラジオボタンを選択して［適用］をクリックすると、その宛先がプログラムに登録されます。
［プログラム（Group）］		グループのプログラム宛先を登録します。
	［番号］	プログラム宛先の登録番号が表示されます。
	［名称］	プログラム宛先の名称を入力します。
	［番号検索］	登録番号を選択すると、選択した番号の宛先一覧が表示されます。
	［グループ一覧］	追加したいグループのラジオボタンを選択して［適用］をクリックすると、そのグループがプログラムに登録されます。
［適用］		クリックすると、［プログラム］画面が表示され、プログラム宛先の詳細設定を行えます。詳しくは、10-19 ページをごらんください。

［プログラム］（編集）

［E-mail］

項目	説明
［宛先設定］	宛先情報を表示します。 ［編集］をクリックすると宛先情報を編集できます。
［解像度］	原稿をスキャンするときの解像度を選択します。
［ファイル種別］	スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。
［ページ設定］	スキャンしたデータを保存するときにすべてのページを 1 ファイルで保存するか、1 ページごとにファイルを分割して保存するかを選択します。
［題名］	E-mail 件名を指定します。 ［指定なし］を選択すると、デフォルトの件名を使用します。
［本文］	E-mail 本文を指定します。 ［指定なし］を選択すると、デフォルトの本文を使用します。
［両面設定］	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
［原稿画質］	文字、写真など原稿の画質を選択します。
［自動カラー設定］	原稿のカラー情報を自動的に判別して、最適な設定でスキャンを行うかどうかを設定します。
［モノトーン設定］	モノクロでスキャンする場合の設定をします。
［連続読み込み設定］	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。
［濃度］	濃度を選択します。
［下地除去］	下地の濃さを調整します。
［シャープネス］	文字のエッジを強調する調整をします。
［原稿サイズ］	原稿のサイズを選択します。 ［定型サイズ］の場合は、サイズを選択します。 ［カスタム］の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
［原稿セット方向］	原稿の天地の向きを選択します。
［原稿綴じ代］	原稿とじ位置を選択します。

［FTP］

項目	説明
［宛先設定］	宛先情報を表示します。 ［編集］をクリックすると宛先情報を編集できます。
［解像度］	原稿をスキャンするときの解像度を選択します。
［ファイル種別］	スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。
［ページ設定］	スキャンしたデータを保存するときにすべてのページを 1 ファイルで保存するか、1 ページごとにファイルを分割して保存するかを選択します。
［両面設定］	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
［原稿画質］	文字、写真など原稿の画質を選択します。
［自動カラー設定］	原稿のカラー情報を自動的に判別して、最適な設定でスキャンを行うかどうかを設定します。
［モノトーン設定］	モノクロでスキャンする場合の設定をします。
［連続読み込み設定］	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。

項目	説明
［濃度］	濃度を選択します。
［下地除去］	下地の濃さを調整します。
［シャープネス］	文字のエッジを強調する調整をします。
［原稿サイズ］	原稿のサイズを選択します。 ［定型サイズ］の場合は、サイズを選択します。 ［カスタム］の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
［E-mail 通知］	スキャンデータの保存先の URL を E-mail で通知するかどうかを設定します。 通知する場合は、通知先アドレスを指定します。
［原稿セット方向］	原稿の天地の向きを選択します。
［原稿綴じ代］	原稿とじ位置を選択します。

［SMB］

項目	説明
［宛先設定］	宛先情報を表示します。 ［編集］をクリックすると宛先情報を編集できます。
［解像度］	原稿をスキャンするときの解像度を選択します。
［ファイル種別］	スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。
［ページ設定］	スキャンしたデータを保存するときにすべてのページを 1 ファイルで保存するか、1 ページごとにファイルを分割して保存するかを選択します。
［両面設定］	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
［原稿画質］	文字、写真など原稿の画質を選択します。
［自動カラー設定］	原稿のカラー情報を自動的に判別して、最適な設定でスキャンを行うかどうかを設定します。
［モノトーン設定］	モノクロでスキャンする場合の設定をします。
［連続読み込み設定］	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。
［濃度］	濃度を選択します。
［下地除去］	下地の濃さを調整します。
［シャープネス］	文字のエッジを強調する調整をします。
［原稿サイズ］	原稿のサイズを選択します。 ［定型サイズ］の場合は、サイズを選択します。 ［カスタム］の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
［E-mail 通知］	スキャンデータの保存先の URL を E-mail で通知するかどうかを設定します。 通知する場合は、通知先アドレスを指定します。
［原稿セット方向］	原稿の天地の向きを選択します。
［原稿綴じ代］	原稿とじ位置を選択します。

［WebDAV］

項目	説明
［宛先設定］	宛先情報を表示します。 ［編集］をクリックすると宛先情報を編集できます。
［解像度］	原稿をスキャンするときの解像度を選択します。
［ファイル種別］	スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。
［ページ設定］	スキャンしたデータを保存するときにすべてのページを 1 ファイルで保存するか、1 ページごとにファイルを分割して保存するかを選択します。
［両面設定］	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
［原稿画質］	文字、写真など原稿の画質を選択します。
［自動カラー設定］	原稿のカラー情報を自動的に判別して、最適な設定でスキャンを行うかどうかを設定します。
［モノトーン設定］	モノクロでスキャンする場合の設定をします。
［連続読み込み設定］	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。
［濃度］	濃度を選択します。
［下地除去］	下地の濃さを調整します。
［シャープネス］	文字のエッジを強調する調整をします。
［原稿サイズ］	原稿のサイズを選択します。 ［定型サイズ］の場合は、サイズを選択します。 ［カスタム］の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
［E-mail 通知］	スキャンデータの保存先の URL を E-mail で通知するかどうかを設定します。 通知する場合は、通知先アドレスを指定します。
［原稿セット方向］	原稿の天地の向きを選択します。
［原稿綴じ代］	原稿とじ位置を選択します。

［アドレス帳］

項目	説明
［宛先設定］	宛先情報を表示します。 ［編集］をクリックすると宛先情報を編集できます。
［解像度］	原稿をスキャンするときの解像度を選択します。
［ファイル種別］	スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。
［ページ設定］	スキャンしたデータを保存するときにすべてのページを 1 ファイルで保存するか、1 ページごとにファイルを分割して保存するかを選択します。
［題名］	E-mail 件名を指定します。 ［指定なし］を選択すると、デフォルトの件名を使用します。
［本文］	E-mail 本文を指定します。 ［指定なし］を選択すると、デフォルトの本文を使用します。
［両面設定］	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
［原稿画質］	文字、写真など原稿の画質を選択します。
［自動カラー設定］	原稿のカラー情報を自動的に判別して、最適な設定でスキャンを行うかどうかを設定します。
［モノトーン設定］	モノクロでスキャンする場合の設定をします。
［連続読み込み設定］	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。

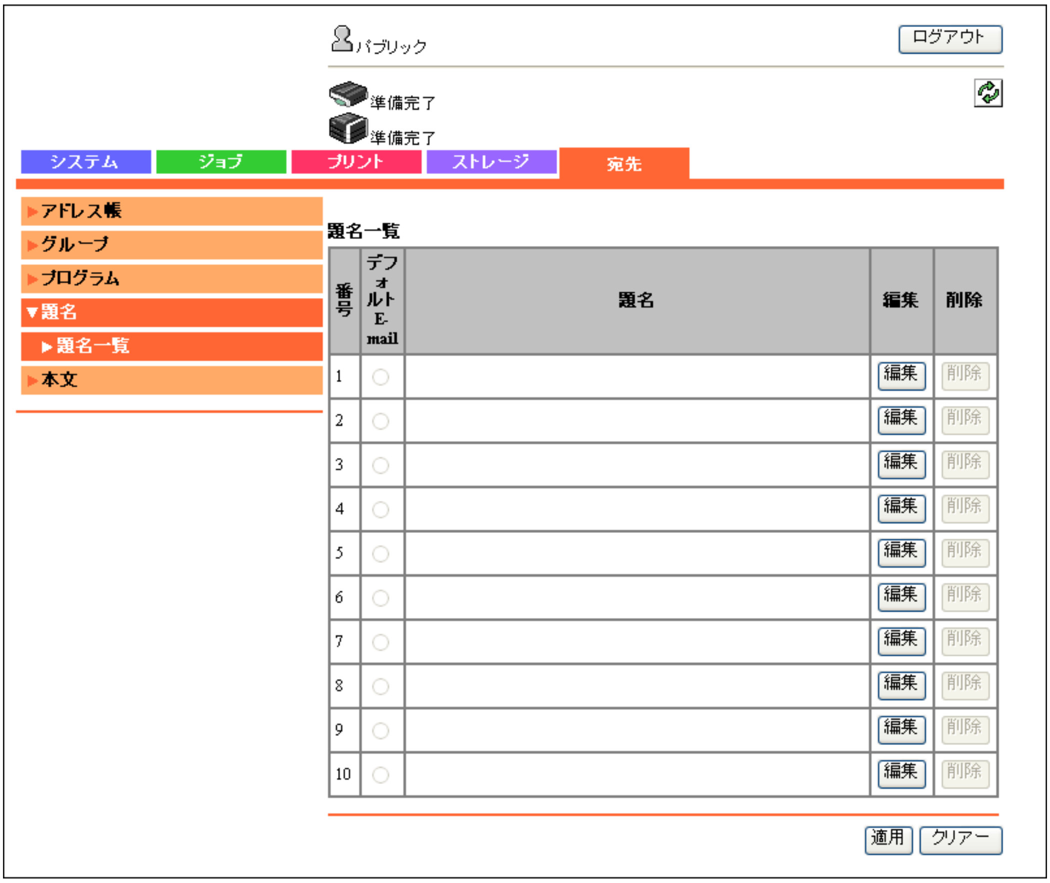
項目	説明
［濃度］	濃度を選択します。
［下地除去］	下地の濃さを調整します。
［シャープネス］	文字のエッジを強調する調整をします。
［原稿サイズ］	原稿のサイズを選択します。 ［定型サイズ］の場合は、サイズを選択します。 ［カスタム］の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
［E-mail 通知］	スキャンデータの保存先の URL を E-mail で通知するかどうかを設定します。 通知する場合は、通知先アドレスを指定します。
［原稿セット方向］	原稿の天地の向きを選択します。
［原稿綴じ代］	原稿とじ位置を選択します。

［グループ］

項目	説明
［宛先設定］	宛先情報を表示します。 ［編集］をクリックすると宛先情報を編集できます。
［解像度］	原稿をスキャンするときの解像度を選択します。
［ファイル種別］	スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。
［ページ設定］	スキャンしたデータを保存するときにすべてのページを 1 ファイルで保存するか、1 ページごとにファイルを分割して保存するかを選択します。
［題名］	E-mail 件名を指定します。［指定なし］を選択すると、デフォルトの件名を使用します。
［本文］	E-mail 本文を指定します。 ［指定なし］を選択すると、デフォルトの本文を使用します。
［両面設定］	原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかを選択します。 また、原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンすることもできます。
［原稿画質］	文字、写真など原稿の画質を選択します。
［自動カラー設定］	原稿のカラー情報を自動的に判別して、最適な設定でスキャンを行うかどうかを設定します。
［モノトーン設定］	モノクロでスキャンする場合の設定をします。
［連続読み込み設定］	原稿を複数回に分割して読込むかどうかを選択します。
［濃度］	濃度を選択します。
［下地除去］	下地の濃さを調整します。
［シャープネス］	文字のエッジを強調する調整をします。
［原稿サイズ］	原稿のサイズを選択します。 ［定型サイズ］の場合は、サイズを選択します。 ［カスタム］の場合は、主走査方向および副走査方向のサイズを指定します。
［E-mail 通知］	スキャンデータの保存先の URL を E-mail で通知するかどうかを設定します。 通知する場合は、通知先アドレスを指定します。
［原稿セット方向］	原稿の天地の向きを選択します。
［原稿綴じ代］	原稿とじ位置を選択します。

［題名］

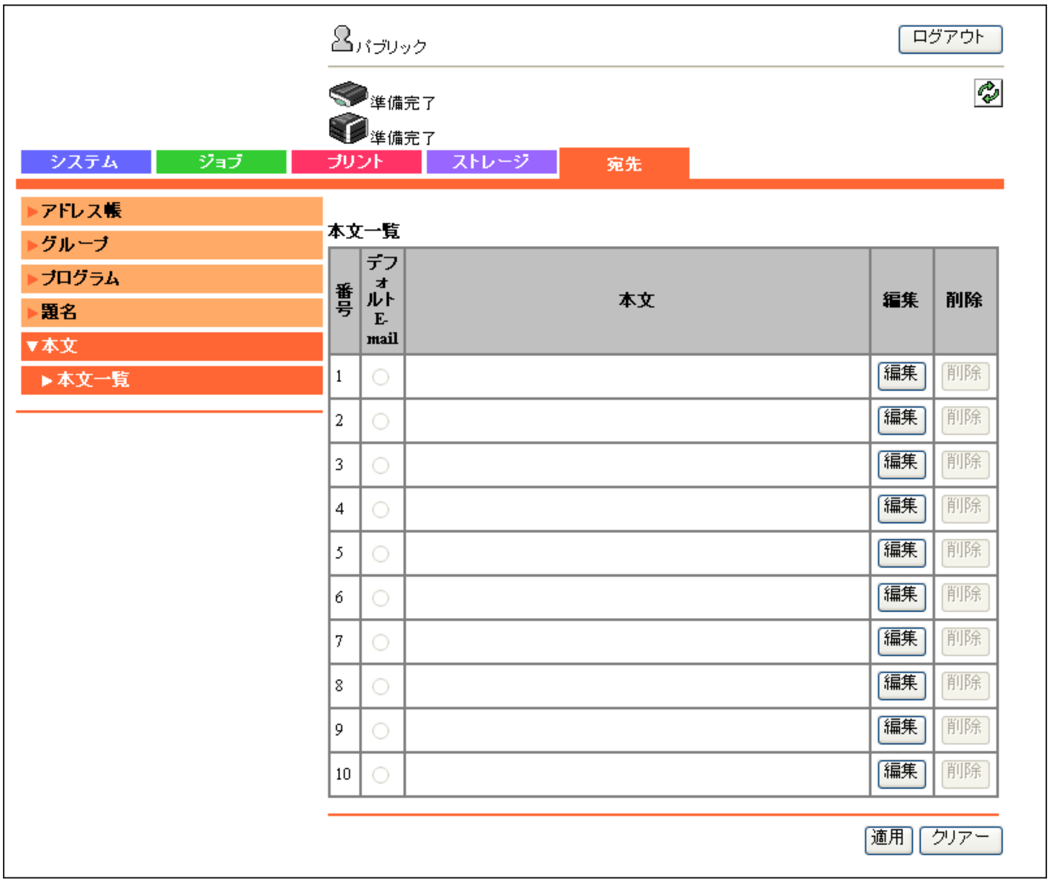
E-mail やインターネットファクスの送信時に使用する件名を登録できます。



項目		説明
［番号］		登録番号が表示されます。
［デフォルト E-mail］		初期値として使用される E-mail の件名を選択します。
［題名］		E-mail の件名が表示されます。
［編集］	［番号］	登録番号が表示されます。
	［題名］	E-mail 件名を登録します（半角 64 文字、全角 32 文字以内）。
［削除］		E-mail の件名を削除します。

［本文］

E-mail やインターネットファクスの送信時に使用する本文を登録できます。



項目		説明
［番号］		登録番号が表示されます。
［デフォルト E-mail］		初期値として使用される E-mail の本文を選択します。
［本文］		E-mail の本文が表示されます。
［編集］	［番号］	登録番号が表示されます。
	［本文］	E-mail 本文を登録します（半角 256 文字、全角 128 文字以内）。
［削除］		E-mail の本文を削除します。

10.6 管理者モード

参照

管理者モードの詳細については、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください

11 スキャン機能で困ったとき

11　スキャン機能で困ったとき

ここでは、スキャンを使用しているときに起きる現象や対処方法について説明しています。ここに記載されていない現象が起きたときや、問題が解決しないときはサービス実施店にお問合わせください。

11.1　送信できない

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

エラーメッセージについては、11-3 ページをごらんください。

原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

11.1.1　ネットワークスキャン送信

E-mail/SMB/FTP/WebDAV/Web サービス機能使用時に送信できない場合、以下を確認してください。

チェックポイント	処置
送信しようとしている電子メール容量が SMTP サーバー容量を超えていませんか？	SMTP サーバー容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーとなり送信できません。SMTP サーバー容量の設定については、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認してもう一度送信してください。送信の手順については 5-2 ページ、6-2 ページをごらんください。
ネットワークの設定や接続は正しいですか？	ネットワークの設定や接続を確認してください。ネットワークの設定については［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
本機のメールアドレスは設定されていますか？	本機の E-mail アドレスを確認し、設定してください。E-mail アドレスの設定については［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。
ケーブル類が正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルなどの接続が正しいか確認してください。
相手のアドレスは正しいですか？短縮宛先やプログラム宛先は正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、アドレスの登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストやプログラム宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているか確認してください。

参考

- 送信結果画面やレポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面やレポートに表示される「----」は、サーバーまで正常に送信できたことを示すものです。

11.2　エラーメッセージ

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

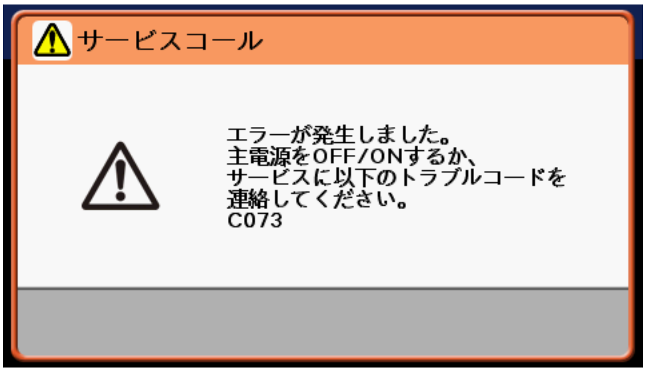
処置をしても正常に通信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	処理のしかた
[ジョブ登録数オーバー] [ジョブの登録が上限値です 登録中のジョブが終了するまでしばらくお待ちください]	登録されているジョブの上限をこえています。	終了するまで待つか、現在のジョブを削除してください。
[メモリーフル（スキャン）] [メモリーが足りません ジョブをキャンセルします]	原稿読込中に、メモリーがいっぱいになりました。	原稿を減らしてください。
[HDD 容量オーバー] [HDD の空き容量が足りません 不要なファイルを削除してください ジョブをキャンセルします]	**ハードディスクドライブ**の容量がいっぱいです。	必要に応じて**ハードディスクドライブ**に保存されているデータを削除してください。
[文書登録数オーバー] [フォルダ内に登録しているドキュメント数が上限値です ジョブをキャンセルします]	登録できるジョブの上限をこえています。	必要に応じて**ハードディスクドライブ**に保存されているデータを削除してください。
[スキャン送信できませんでした] [送信に失敗しました ジョブはキャンセルされます]	スキャン送信に失敗しました。	しばらく待った後、ジョブをキャンセルしてください。
[接続に失敗しました] [宛先が正しいか、確認してください ジョブはキャンセルされます]	接続できませんでした。	宛先が正しく登録されているか、確認してください。
[書き込み中にエラーが発生しました] [書き込み禁止になっていないか、空き容量が不足していないか確認してください]	USB メモリーへの保存中にエラーが発生しました。	ジョブをキャンセルし、USB メモリーが書き込み可能か確認してください。
[未対応の USB デバイスを検出しました] [USB 機器の接続をはずしてください。]	USB ポートに未対応のデバイスが接続されました。	未対応のデバイスは接続できません。
[USB 接続エラー] [同じ種類の USB 機器が接続されています。 接続をすべてはずしてください。]	同じ種類の USB 機器が本機に複数接続されています。	接続されている USB 機器をすべてはずしてください。再度接続する場合は、同じ種類の USB 機器は複数接続できません。

11.3 ［サービスコール］と表示されたら

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、［サービスコール］というメッセージが画面上に表示されます。

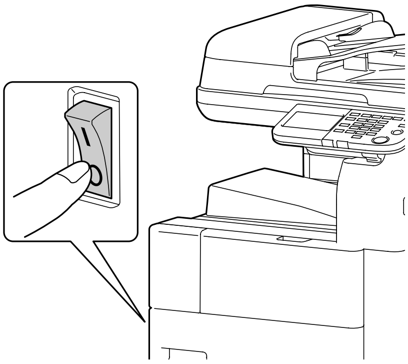
ここでは、サービス実施店にトラブルを知らせる手順を説明します。



⚠ 注意

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。

- トラブルコード番号を書き留めます。
- **電源スイッチ**を OFF にします。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。
- サービス実施店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。



12 付録

12 付録

12.1 製品仕様

12.1.1 スキャナー機能

項目	仕様
スキャン速度	30 枚 / 分（A4、300 dpi）、31 枚 / 分（レター、300 dpi）
スキャン可能範囲	最大 リーガル（215.9 mm × 355.6 mm）
機能	E-mail 送信 FTP 送信 SMB 送信 HDD 保存 USB メモリー保存 WebDAV 送信 Web サービス
スキャナー解像度	150/200/300/600 dpi
読込可能な用紙サイズ	A4 、B5 、A5 、B6 、A6 、リーガル、レター、Statement、エグゼクティブ、16K、G. レター、SP Folio、UK Quarto、G. リーガル *、Folio*、8-1/8 × 13-1/4* 、Foolscap*、8-1/2 × 13-1/2*、220mm × 330mm*、はがき、往復はがき、4 × 6、10 × 15cm、E サイズ、L サイズ、3 × 5、2-1/4 × 3-1/4、13 × 18cm、9 × 13cm *Foolscap には、G. リーガル、Folio、8-1/8 × 13-1/4 、Foolscap、8-1/2 × 13-1/2、220mm × 330mm の 6 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービスエンジニアにおたずねください。

12.2 用語集

	用語	説明
アルファベット	10Base-T/ 100Base-TX/ 1000Base-T	Ethernet の規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。
	Active Directory	Microsoft が提供するネットワーク上に存在するサーバー、クライアント、プリンターなどのハードウェア資源や、それらを使用するユーザーの属性、アクセス権などの情報を一元管理することができるサービスのこと。
	Adobe® Flash®	Adobe Systems 社（旧 Macromedia 社）の開発した、ベクターグラフィックのアニメーションや音声を組み合わせたコンテンツを作成するソフト、またはそのファイル形式。 キーボードやマウスからの入力により、双方向性を持たせたコンテンツを扱える。ファイル容量を比較的小さく抑えることができ、ウェブブラウザーに専用のプラグインを導入して閲覧できる。
	anonymous FTP	通常は、アカウントとパスワードによって保護される FTP サイトを、アカウント名に anonymous（匿名）と入力することでパスワードが不要になり、誰でも利用できるようになる FTP サイトのこと。
	APOP	Authenticated Post Offic e Protocol の略。通常の POP が電子メールの受信に使われるパスワードを暗号化しないのに対して、パスワードを暗号化することで安全性が向上した認証方法のこと。
	AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
	Auto IP	自動で IP アドレスを取得する機能。DHCP による IP アドレス取得に失敗した場合、「169.254.0.0」のアドレス空間から任意の IP アドレスを取得する。
	bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
	BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
	Bonjour	ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術。以前は Rendezvous と呼ばれていたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更された。
	Byte	コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte = 8bit で構成される。
	CSV	Comma Separated Values の略。データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する形式の 1 つ（拡張子は .csv）。データをカンマ（区切り符号）で仕切ることで、異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。
	Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルータなどの機器のこと。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。 DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

用語	説明
DNS	Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。
DPI（dpi）	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
Dynamic 認証（LDAP 設定）	MFP から LDAP サーバーに接続する際の、認証方法オプションのひとつ。宛先情報を LDAP サーバーから参照するときに、LDAP サーバーへのログイン名とパスワードをユーザーに毎回入力させたい場合、このオプションを選択する。
FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
GSS-SPNEGO/Simple/Digest MD5	LDAP サーバーへのログオン時の認証形式。LDAP サーバーは使用するサーバーやサーバーの設定により認証形式が異なり、GSS-SPNEGO/Simple/Digest MD5 という認証形式がある。
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント（Web ブラウザーなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
ICM	Image Color Management の略。Windows で使用されているカラーマネジメントシステムのこと。ディスプレイ・スキャナー・プリンターなどの入出力デバイスによる色の違いを調節し、どのデバイスでも同じ色に近づけるよう再現する。
IMAP	Internet Message Access Protocol の略。サーバー上のメールボックスの管理機能を持つ電子メール受信用のプロトコルのこと。現在は IMAP のバージョン 4 である IMAP4 が主に使われている。
IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
IPsec	TCP/IP で使用されているセキュリティー技術の名称。送信するパケットの暗号化や認証に関するプロトコルを決めることによって、セキュリティーを強化したサービス提供が可能となる。
IPv6	Internet Protocol version 6 の略。インターネットを使用する機器の増加に伴い、現在使用されている IPv4 に代わるものとして準備が進められてきたプロトコルの名称。IP アドレスの 128 ビット化、セキュリティー機能の追加などが追加されている。
IPX	NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
Java	Sun Microsystems 社が開発したプログラミング言語。ハードウェアや OS に依存せずに動作する。ただし、Java アプリケーションを動作させるためには、JavaVirtual Machine（Java VM）と呼ばれる動作環境が必要である。

用語	説明
Kerberos	Windows2000 以降で使用されているネットワーク認証システムの一つ。Active Directory の認証に使用される。ネットワーク内に信頼できるサイトを配置し、このサイトでユーザーのログオンと各種ネットワーク・リソース利用という 2 段階のフェーズで認証を行うことにより、ユーザーを安全かつ効率的に認証することができる。
LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
LPD	Line Printer Daemon の略。TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割り当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割り当てる番号である。
MH	Modified Huffman の略。ファクス用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、10 分の 1 程度に圧縮される。
MIB	Management Information Base の略。TCP/IP 通信において、SNMP を用いて収集されるネットワーク機器の管理情報フォーマットを定義したもの。メーカー独自のプライベート MIB と、標準化されたスタンダード MIB の 2 種がある。
MMR	Modified Modified Read の略。ファクス用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、20 分の 1 程度に圧縮される。
NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピューター名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
NTLM	NT LAN Manager の略。Windows NT 以降で共通して使用されるユーザー認証方式。MD4 または MD5 という暗号方法でパスワードを暗号化する。
NTP	Network Time Protocol の略。コンピューターの内部時計を、ネットワークを介して正しく調整するプロトコルのこと。階層構造を持ち、最上位のサーバーが GPS 等を利用して正しい時刻を得、下位のホストはそれを参照する事で時刻を合わせる。
OCR	Optical Character Reader の略。手書き文字や印字された文字を光学的に読み取り、前もって記憶されたパターンとの照合によって文字を特定し、文字データに変換する装置またはソフトウェアのこと。
OS（オーエス）	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。

用語	説明
PASV	PASsiVe の略。ファイアウォール内部から FTP サーバーに接続するモード。このモードに設定していないとファイアウォールが不正アクセスと見なし、接続を遮断してしまうため、ファイル転送をすることができなくなる。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
POP	Post Office Protocol の略。メールサーバーから電子メール受信を行うためのプロトコルのこと。現在は POP のバージョン 3 である POP3 が主に使われている。
POP Before SMTP	電子メールを送信する際の、ユーザー認証方法のひとつ。まず受信動作を行い、POP サーバーにてユーザー認証を行う。その後、POP サーバーにユーザー認証を通過した IP アドレスに対して、SMTP サーバーの利用を許可する。メールサーバーの利用権のない第三者が、不正にメールを送信するのを防ぐ。
Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティーを確保するために設置されるサーバーのこと。
Raw ポート番号	Windows 等の TCP 印刷で Raw プロトコルを選択した場合に使う TCP ポート番号のこと。通常の番号は 9100。
realm（IPP 設定）	セキュリティー機能を実現するための領域。ユーザー名とパスワードなどの認証情報を組織化し、領域内のセキュリティー原則を定義する。
referral 設定（LDAP 設定）	宛先を検索した LDAP サーバーに該当するデータが無かった場合、次にどの LDAP サーバーを検索するべきか、LDAP サーバーが指示を行う。この指示された LDAP サーバーを、MFP が検索するかどうかの設定。
Samba	SMB（Server Message Block）を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。
SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスや、クライアントの自動検索を行う。
S/MIME	Secure/Multipurpose Internet Mail Extensions の略。MIME（E-mail の操作）に暗号化や電子署名などの機能を追加するプロトコル。 暗号化には、暗号化と復号化で異なる鍵を使う公開鍵方式が利用されている。
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信 / 転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Security の略。Web サーバーとブラウザー間で安全にデータ通信するための暗号化方式のこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
TCP Socket	TCP/IP において利用するネットワーク用 API のことを指す。このソケットを使って通信路を開いて、通常のファイル入出力を行う。
TIFF	Tagged Image File Format の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .tif）。データの型を表す「タグ」によって、1 つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できる。

	用語	説明
	TWAIN	スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェースに関する規格のこと。TWAIN 対応機器を使用するためには、TWAIN ドライバーが必要である。
	USB	Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンター等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
	WINS	Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピューター名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼び出すためのサービス。
	Zone	AppleTalk ネットワークに付ける名前。AppleTalk ネットワーク上の複数の機器をグループ分けするために使用する。
あ行	アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
	イーサネット（Ethernet）	LAN の伝送路に関する規格のこと。
	インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
	ウェブブラウザー	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。 Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
か行	画素	画像を構成する最小単位のこと。
	解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
	階調	画像の濃淡の段階のこと。数が大きいほど、滑らかな濃度変化を再現できる。
	拡張子	ファイルの保存形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。ピリオドに続けて表記される。「.bmp」や「.jpg」など。
	クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
	グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
	ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
	コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差（明暗の差）のこと。明暗の差が少ない画像を「コントラストが低い画像」、明暗の差が大きい画像を「コントラストが高い画像」という。
	コンパクト PDF	カラー文書をデータ化する際に、PDF 形式を利用して容量を小さく抑える圧縮技術。 文字領域とイメージ領域を認識し、それぞれの領域に最適な圧縮方法、解像度を適用することで、高い圧縮性能を実現する。 本機では、スキャン機能により文書をデータ化する際に、コンパクト PDF を選択することができる。
さ行	サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
	サムネイル	画像ファイルや文書ファイルの内容（ファイルを開いたときのイメージ）を小さく表示する機能のこと。
	シングルページ TIFF	1 つのファイルが 1 ページだけの TIFF ファイルのこと。
	線数	画像を形成する網点が、どれだけの密度で使われるかを示した数のこと。

	用語	説明
	走査（scan）	スキャナーの読み取り動作で、一列に並んだイメージセンサを少しずつ移動させながら画像を読み取っていくこと。イメージセンサを移動させる方向を主走査方向といい、イメージセンサが一列に並んでいる方向を副走査方向という。
た行	デフォルト	初期設定値のこと。**電源スイッチ**をオンにしたときに、あらかじめ選択されている設定。または、ある機能をオンにしたときにあらかじめ選択されている設定。
	ドライバー	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
な行	濃度	画像の濃さを表す量のこと。
は行	ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。電源を OFF しても、データが保持される。
	ハーフトーン	画像の各部分の濃淡を、黒または白の点の大小で表現する方法のこと。
	ピア・ツー・ピア	専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
	ピクセル	画素のこと。画像を構成する最小単位。
	プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
	プレビュー	印刷 / スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
	プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
	プロパティ	属性情報のこと。プリンタードライバーを使用する際は、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
	ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
	ポート番号	ネットワーク上のコンピューター内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使用することはできない。
ま行	メモリー	データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。

13 索引

13 索引

13.1 項目別索引

13.2　キー索引

ま行

や行

ら行

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名 ______

電話番号 ______

担当部門 ______

担当者 ______

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL ______

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 **http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00〜12:00 / 13:00〜17:00）

KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

A3EW-9552NS-12

2011. 10